

令和2年度  
第2回 葛飾区区民モニター  
アンケート調査

報 告 書

- －「図書館での学習について」－
- －「生涯学習について」－
- －「区民モニター調査について」－

令和3年3月



# 目 次

I	調査概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査のテーマ	1
3.	調査の設計	1
4.	調査機関	1
5.	報告書の表記について	1
II	回答者の属性	2
III	調査結果の詳細	6
1.	図書館での学習について	6
(1)	区立図書館の利用の有無	6
(2)	閲覧室や閲覧席の利用しやすさ	8
(3)	図書館でのパソコンやスマートフォン・タブレット端末の利用状況	10
(4)	図書館を利用する主な目的	12
(5)	学習や研究の資料の充実	14
(6)	図書館を利用していない理由	15
(7)	レファレンスサービスの利用状況	16
(8)	レファレンスカウンターでのサービスの満足度	18
(9)	レファレンスサービスを利用していない理由	19
(10)	図書館の月曜定休について	20
(11)	図書館の開館時間	22
(12)	図書館に導入を希望するサービス	24
(13)	図書館の学習に関する改善点やご要望	26
(14)	図書館のサービス全般に関するご意見	28
2.	生涯学習について	30
(15)	1年以内の生涯学習の有無	30
(16)	自宅での生涯学習の方法	32
(17)	自宅以外で生涯学習を行う場所や方法	33
(18)	インターネット（Web）等を活用した自宅での講座の受講	34
(19)	インターネット（Web）を活用した受講しやすい配信方法	36
(20)	インターネット（Web）を活用した受講しやすい時間	38

(21)	オンライン講座への参加に必要なアプリ利用講座への参加意向	40
(22)	学習で得た知識や技能の活用	42
(23)	学習で得た知識の活用の場	44
(24)	生涯学習や区の実施する講座等に関するご意見	46
(25)	葛飾区の文化財でイメージするもの	48
(26)	葛飾区にある文化財の認知度	50
(27)	文化財の認知度向上に必要なこと	52
(28)	埋もれたままの文化財の活用	54
(29)	文化財を次世代へと伝えていくための課題	56
(30)	「葛飾区の文化財」全般に関するご意見・ご要望	58
3.	区民モニター調査について	60
(31)	区民モニター調査の感想	60
(32)	各回の調査テーマ	62
(33)	2年間の任期	65
(34)	調査頻度	67
(35)	記念品の必要性	69
(36)	記念品に適していると思う品物	71
(37)	区民モニター活動による区政への関心の変化	73
(38)	過去の区政への参加	75
(39)	各回の設問数	77
(40)	設問や選択肢の文章のわかりやすさ	79
(41)	報告書の取扱	81
(42)	区民モニター調査の回答方法	83
(43)	今後の改善点や取りあげてほしいテーマと全体を通しての感想	85

# I 調査概要

## 1. 調査の目的

区が実施している施策や区が発信している情報等について、公募で募った「区民モニター」から、適時かつ具体的なご意見を収集することにより、区政への活用を図るもの。

## 2. 調査のテーマ

- (1) 図書館での学習について
- (2) 生涯学習について
- (3) 区民モニター調査について

## 3. 調査の設計

- |           |                              |
|-----------|------------------------------|
| (1) 調査対象  | 区民モニター200名                   |
| (2) 調査方法  | 郵送での調査の配付・回収（インターネット回答併用）    |
| (3) 調査期間  | 令和2年12月1日（火）～12月18日（金）       |
| (4) 有効回収数 | 156名（郵送回収：99名、インターネット回答：57人） |

## 4. 調査機関

株式会社都市計画 2 1

## 5. 報告書の表記について

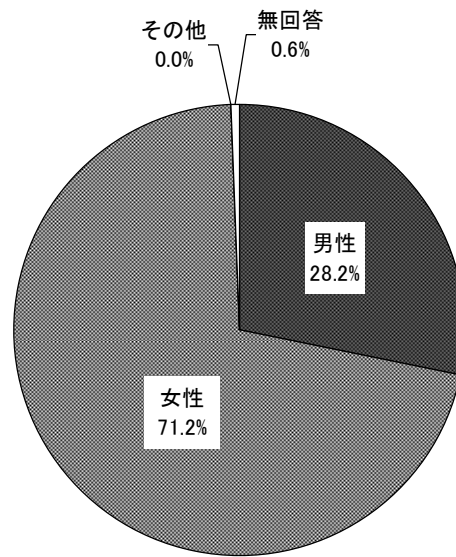
- (1) 比率は全て百分率で表記し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。そのため、四捨五入によって生じる誤差により、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- (2) “n”は各設問の回答数を示している。比率はnを母数として、算出している。
- (3) 複数回答の設問では、1人が複数の回答を選択可能なため、各選択肢における回答数の合計が100%を超過している。
- (4) 年齢層・年代別の20歳代には、18歳・19歳を含んでいる。

※この報告書は、区公式ホームページ（<http://www.city.katsushika.lg.jp/>）に掲載している。

（トップページ>区政情報>統計・調査>調査）

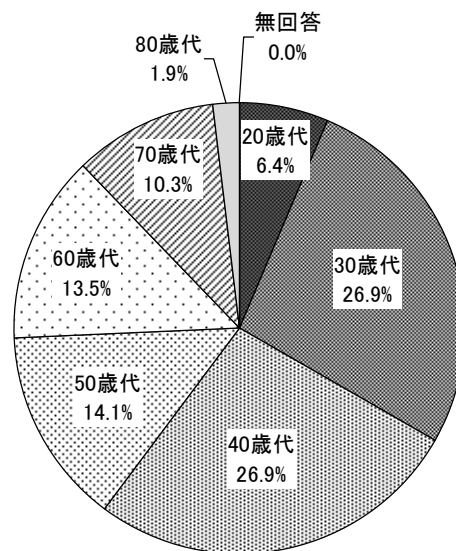
## Ⅱ 回答者の属性

### (1) 性別



n=156

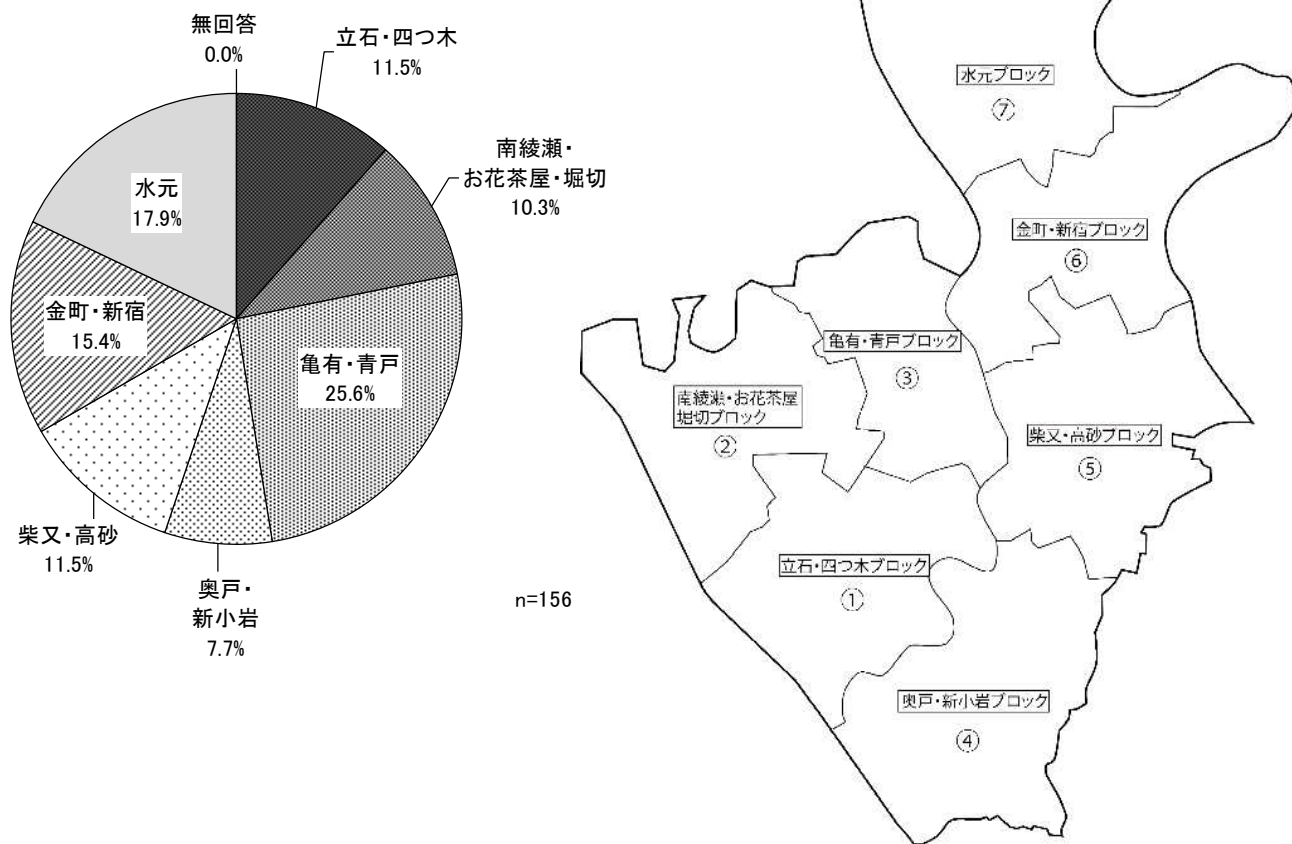
### (2) 年齢層



n=156

(3) 居住地域 (7区分)

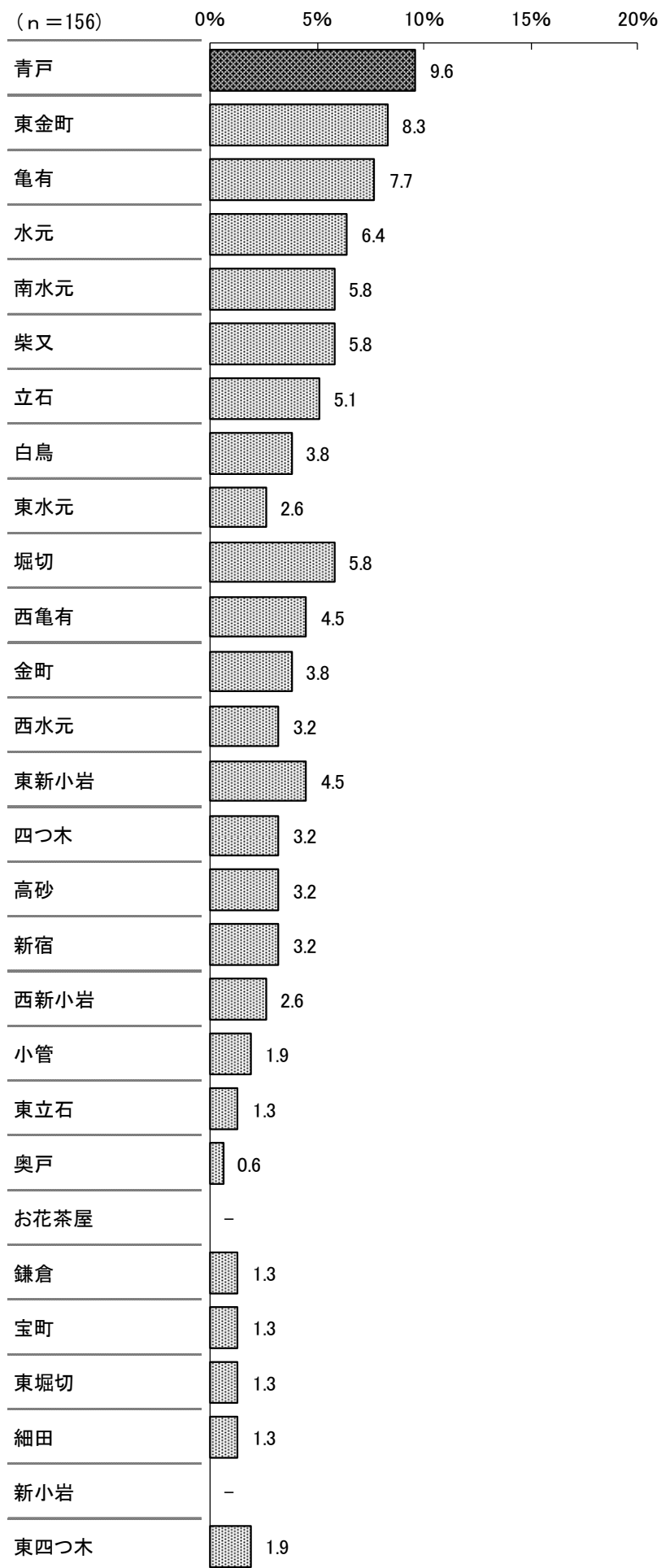
〔居住地域区分図〕



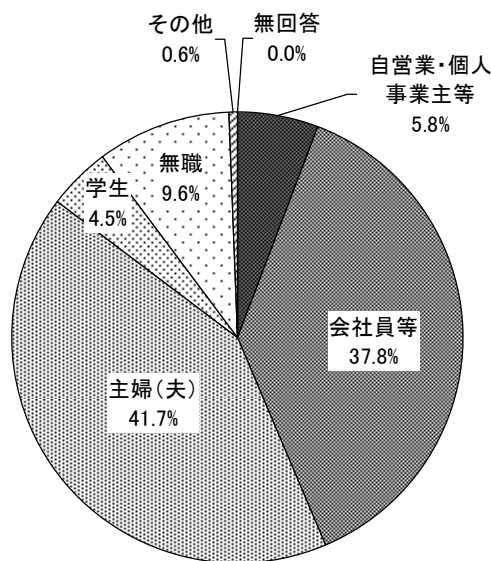
〔居住地域区分表〕

	ブロック名	町名
1	立石・四つ木ブロック	立石・東立石・四つ木・東四つ木
2	南綾瀬・お花茶屋・堀切ブロック	お花茶屋・小菅・宝町・堀切・東堀切
3	亀有・青戸ブロック	青戸・亀有・西亀有・白鳥
4	奥戸・新小岩ブロック	奥戸・新小岩・西新小岩・東新小岩
5	柴又・高砂ブロック	鎌倉・柴又・高砂・細田
6	金町・新宿ブロック	金町・東金町・新宿
7	水元ブロック	水元・西水元・東水元・南水元

(4) 居住地域 (28区分)

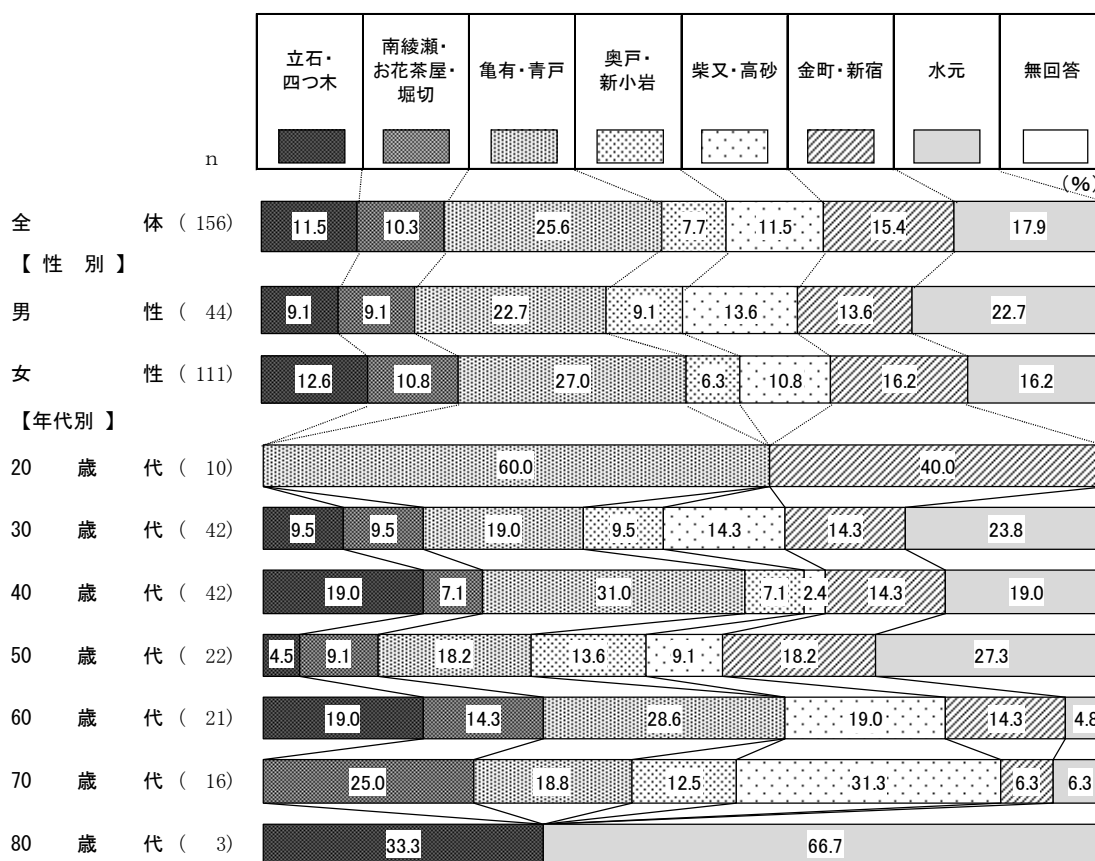


(5) 職業



n=156

(6) 居住地域別 (7区分) × 性別・年代別





### Ⅲ 調査結果の詳細

#### 1. 図書館での学習について

現在、区内には12か所の区立図書館があり、教養、調査研究、レクリエーションなど様々な用途で、日々、多くの区民の皆様にご利用いただいています。このような中、区では一部の図書館で会議室を学生のための学習スペースとして開放するなど、より多くの方に図書館を利用していただけるよう取り組んでいます。

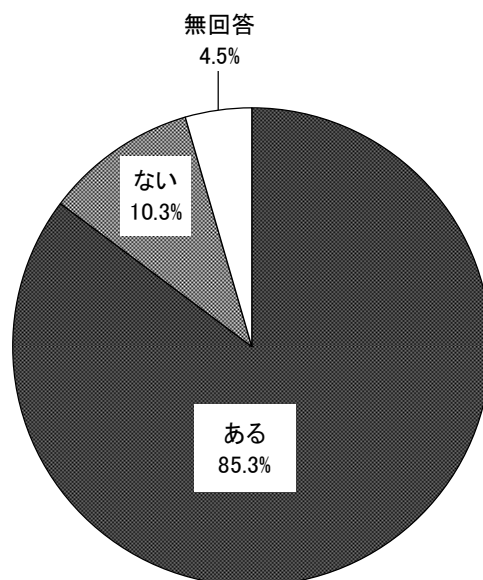
今後、さらに満足いただける図書館づくりを進めていくために区民モニターの皆様のご意見をお聞きします。

#### (1) 区立図書館の利用の有無

問1 区立図書館を利用したことはありますか。(○は1つ)

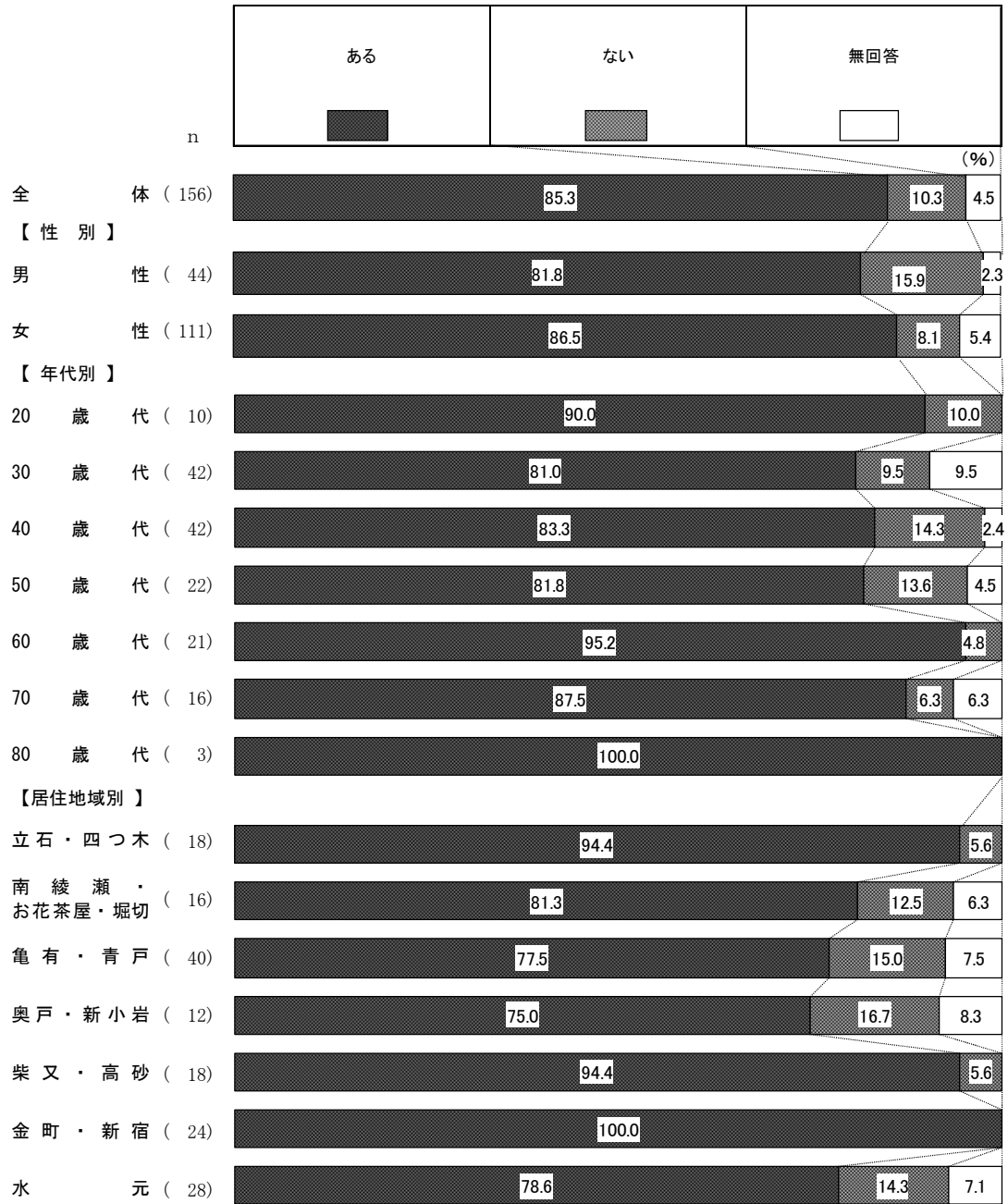
区立図書館の利用の有無については、85.3%の方が「ある」と回答している。年代別でみると、「ある」は、全ての年代で8割以上となっている。

図表－1 区立図書館の利用の有無（全体）



n=156

図表－２ 区立図書館の利用の有無  
 (全体・性別・年代別・居住地域別)



## (2) 閲覧室や閲覧席の利用しやすさ

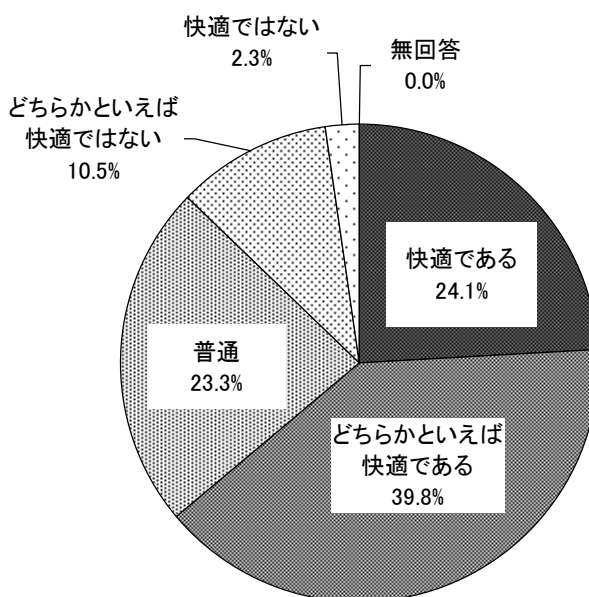
問1で「1 ある」と答えた方のみ回答

問2 図書館の閲覧室や閲覧席は利用しやすいですか。(○は1つ)

閲覧室や閲覧席の利用しやすさは、「どちらかといえば快適である」が39.8%で最も高く、「快適である」と合わせた【快適である(計)】は、63.9%となっている。

年代別でみると、【快適である(計)】は、40歳代で68.6%と最も高く、全ての年代で5割以上となっている。

図表-3 閲覧室や閲覧席の利用しやすさ(全体)



### <回答の主な改善点>

#### 1, 快適である

- ・テーブル席を増やしてほしい ・清潔感がある
- ・自宅のパソコンから、蔵書一覧をみることができると良い

#### 2, どちらかといえば快適である

- ・新宿図書センターに学習スペースを作してほしい ・子供の閲覧場所に除菌スプレーがほしい
- ・閲覧席を増やし、時間制にするなど公平に使える工夫が必要 ・静かで落ちついていて良い
- ・PC用の電源がほしい ・本を探しやすい工夫をしてほしい

#### 3, 普通

- ・本を増やしてほしい ・ゆったりした椅子にしてほしい ・地区図書館も祝日開館してほしい
- ・入り口が狭いように感じる ・隣の衝突がほしい ・閲覧席を広く、座席を多くしてほしい

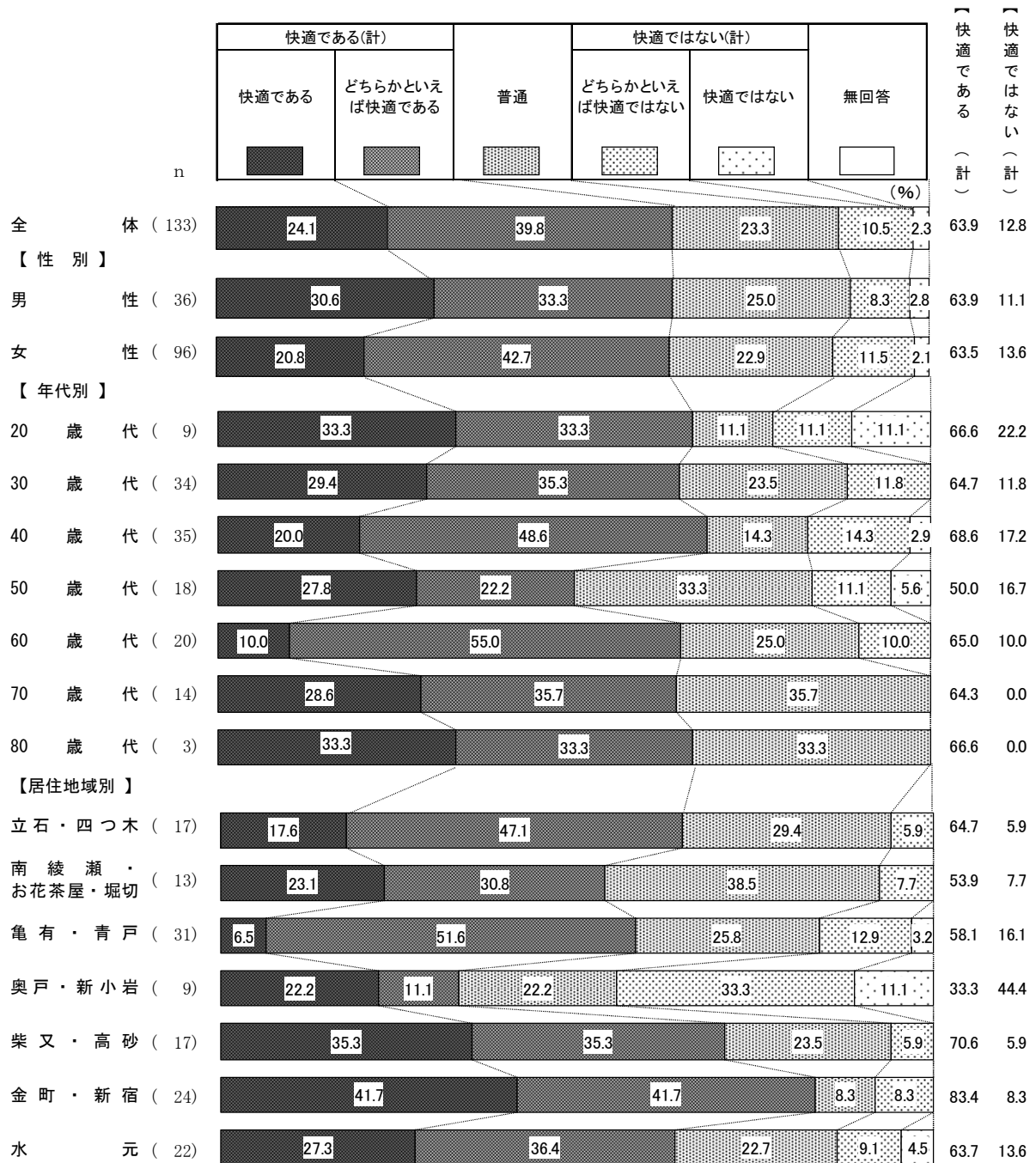
#### 4, どちらかといえば快適ではない

- ・古い ・足音が響く ・長時間占拠する人がいて利用しづらい
- ・手にした本を直ぐに閲覧できる工夫をしてほしい。 ・学習スペースは仕切りを付けてほしい。
- ・カフェ等とコラボした魅力的な複合施設化にしてほしい

#### 5, 快適ではない

- ・座席が空いていない ・古い、暗い雰囲気 ・トイレマナーが悪い

図表－４ 閲覧室や閲覧席の利用しやすさ  
(全体・性別・年代別・居住地域別)



### (3) 図書館でのパソコンやスマートフォン・タブレット端末の利用状況

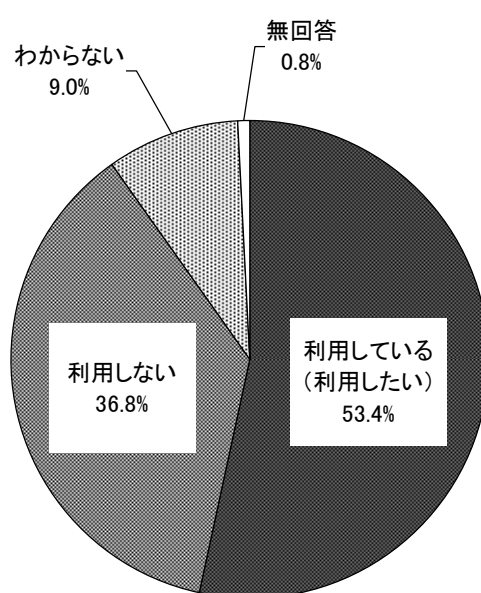
#### 問1で「1 ある」と答えた方のみ回答

問3 図書館での学習や調べものにパソコンやスマートフォン・タブレット端末を利用していますか。また、利用したいと思いませんか。(○は1つ)

図書館でのパソコンやスマートフォン・タブレット端末の利用状況は、「利用している(利用したい)」が53.4%で最も高く、「利用しない」は36.8%となっている。

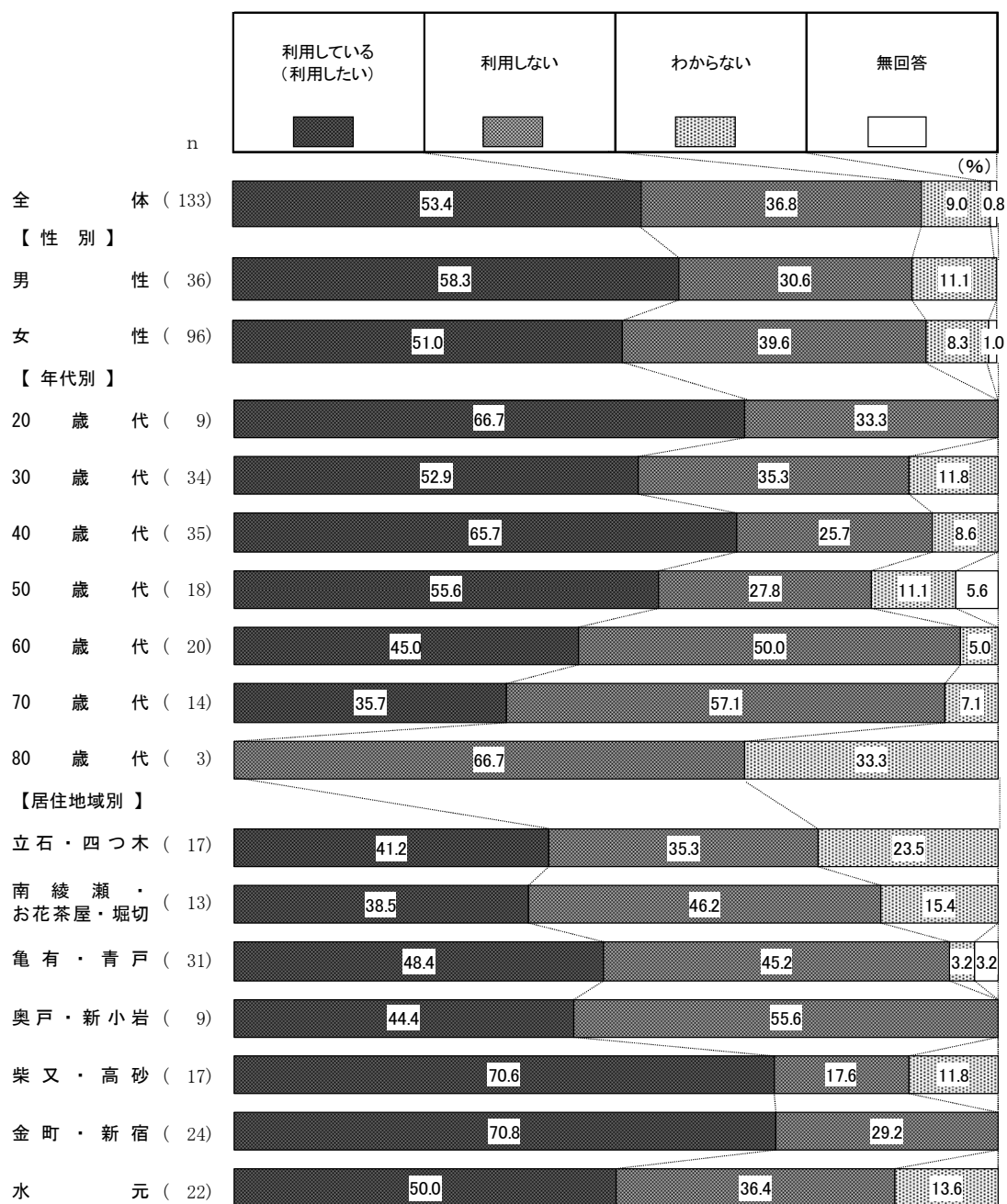
年代別でみると「利用している(利用したい)」は、20歳代で66.7%、40歳代で65.7%と、それぞれ6割以上を占めている。「利用しない」は、60歳代以上の年代で半数以上を占めている。

図表-5 図書館でのパソコンやスマートフォン・タブレット端末の利用状況(全体)



n=133

図表－6 図書館でのパソコンやスマートフォン・タブレット端末の利用状況  
(全体・性別・年代別・居住地域別)



#### (4) 図書館を利用する主な目的

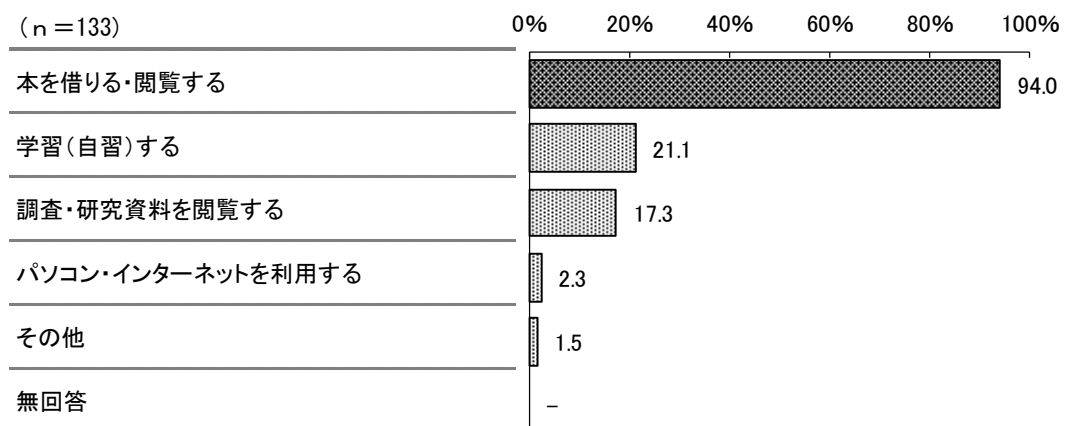
##### 問1で「1 ある」と答えた方のみ回答

問4 図書館を利用する主な目的をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

図書館を利用する主な目的は、「本を借りる・閲覧する」が94.0%で最も高く、次いで「学習(自習)する」が21.1%、「調査・研究資料を閲覧する」が17.3%となっている。

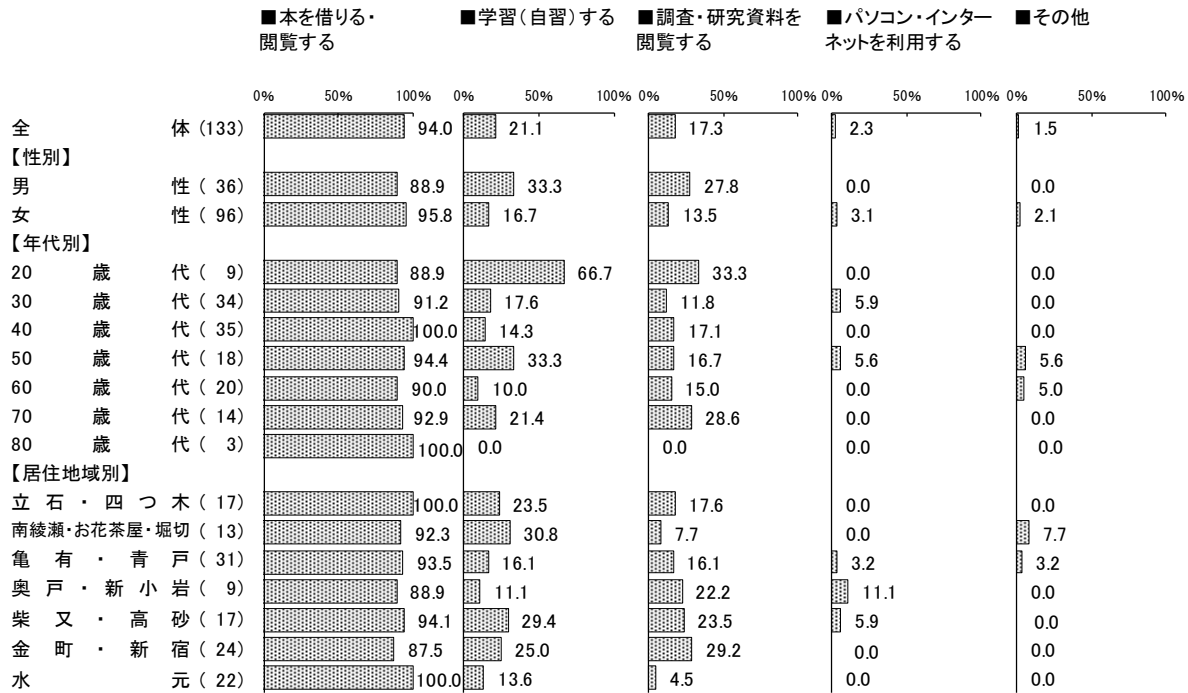
その他の意見としては、「新聞を読む」、「トイレを利用する」などがある。

図表-7 図書館を利用する主な目的(全体)



年代別でみると、「本を借りる・閲覧する」は、20歳代を除く全ての年代で9割以上となっている。「学習（自習）する」は、20歳代で66.7%と最も高くなっている。「調査・研究資料を閲覧する」は20歳代で33.3%と最も高く、次いで70歳代で28.6%となっている。

図表－8 図書館を利用する主な目的  
(性別・年代別・居住地域別)





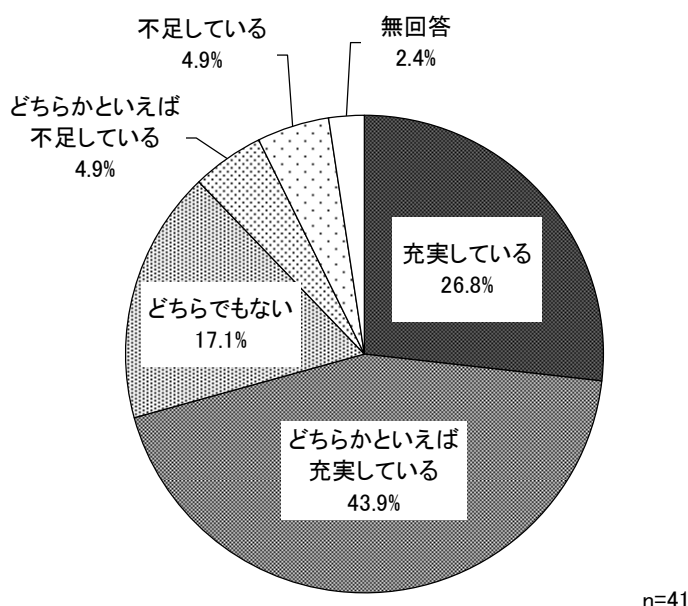
## (5) 学習や研究の資料の充実

問4で「1 学習する」、「2 調査・研究資料を閲覧する」と答えた方のみ回答

問5 学習や研究の資料は充実していると思いますか。(〇は1つ)

学習や研究の資料は充実しているかについては、「どちらかといえば充実している」が43.9%で最も高く、次いで「充実している」が26.8%、「どちらでもない」が17.1%となっている。

図表－9 学習や研究の資料の充実（全体）



### <回答の主な改善点>

#### 2, どちらかといえば充実している

- ・ CD、DVD、マンガを増やしてほしい
- ・ パソコン用の資料が古い
- ・ 図書館統合により書物の集約化、効率化を図ると良い
- ・ 充分です
- ・ 最新の図書の充実
- ・ 資料の検索方法を工夫してほしい
- ・ 郷土資料が不足している
- ・ 蔵書数を増やしてほしい

#### 3, どちらでもない

- ・ 専門書や新しい書籍がほしい
- ・ 分野によって資料が不足する
- ・ 学習環境を整えてほしい

#### 4, どちらかといえば不足している

- ・ 資格試験を受検する際の参考書が無かった

#### 5, 不足している

- ・ 専門的な図書が少ない
- ・ 持込み PC を使える机が少なすぎる

## (6) 図書館を利用していない理由

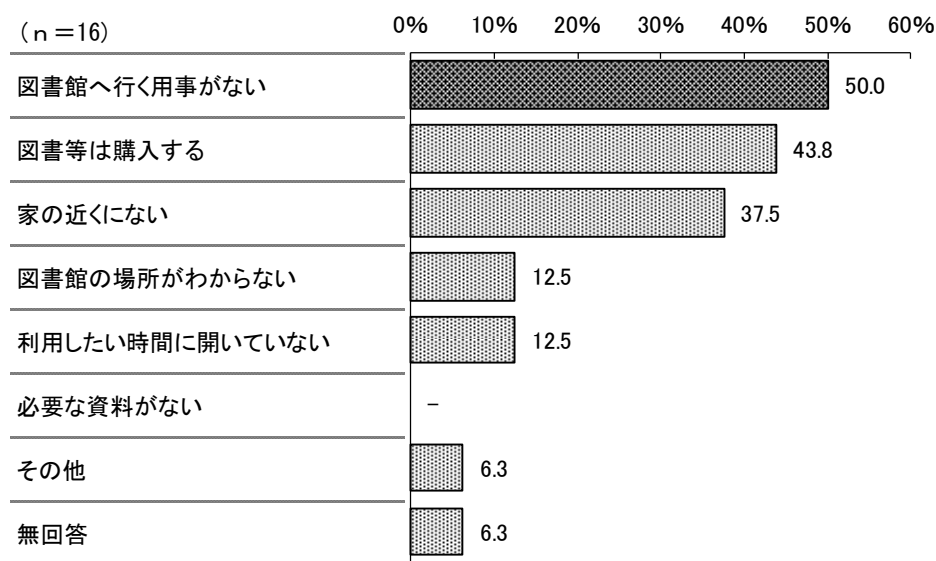
### 問1で「2 ない」と答えた方のみ回答

問6 図書館を利用していない理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

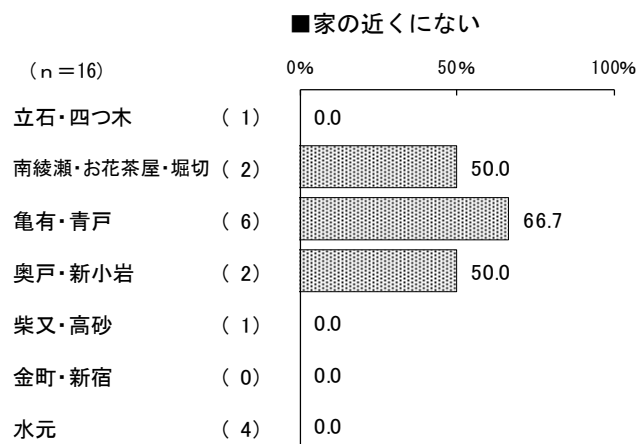
図書館を利用していない理由は、「図書館へ行く用事がない」が50.0%で最も高く、次いで「図書等は購入する」が43.8%、「家の近くがない」が37.5%となっている。

地区別にみると、「家の近くがない」は亀有・青戸が66.7%で最も高く、南綾瀬・お花茶屋・堀切と奥戸・新小岩でも50.0%となっている。

図表-10 図書館を利用していない理由（全体）



図表-11 図書館を利用していない理由（地区別）



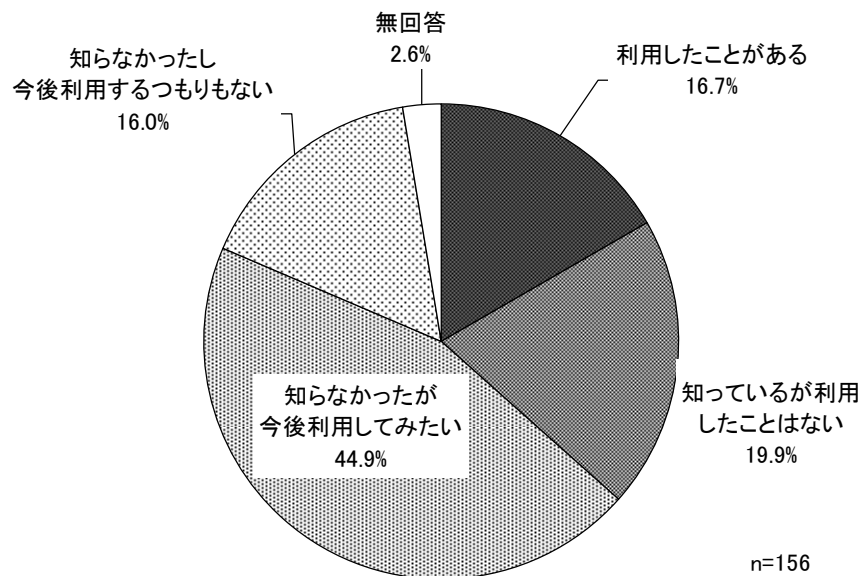
## (7) レファレンスサービスの利用状況

問7 区立図書館では、調べものや資料探しの手助けなどをする、レファレンスサービスを行っています。レファレンスサービスを利用したことがありますか。(○は1つ)

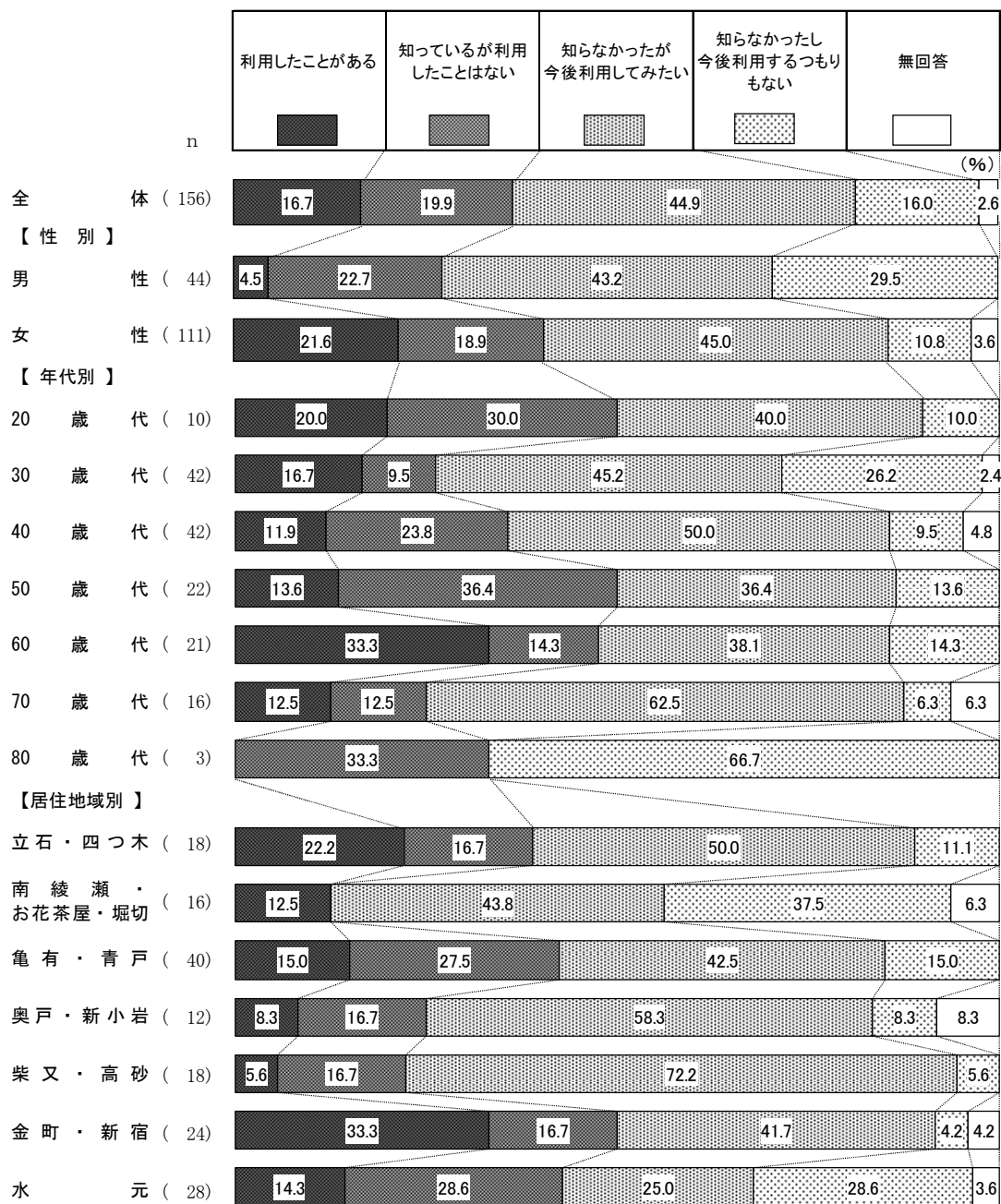
レファレンスサービスの利用状況は、「知らなかったが今後利用してみたい」が44.9%で最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」が19.9%、「利用したことがある」が16.7%となっている。

年代別でみると、「利用したことがある」は60歳代で33.3%と最も高く、「知っているが利用したことはない」は、50歳代、80歳代、20歳代の順に高く、それぞれ3割台となっている。「知らなかったが今後利用してみたい」は、70歳代で62.5%と最も高くなっている。

図表-12 レファレンスサービスの利用状況（全体）



図表-13 レファレンスサービスの利用状況  
(全体・性別・年代別・居住地域別)



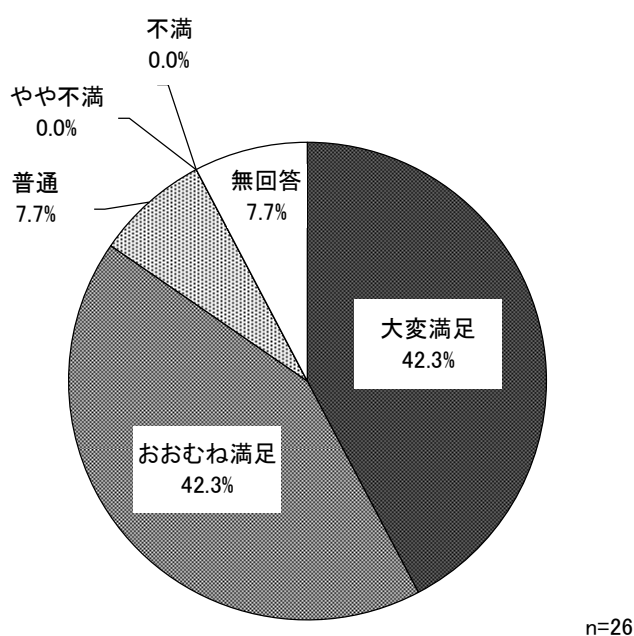
## (8) レファレンスカウンターでのサービスの満足度

問7で「1 利用したことがある」と答えた方のみ回答

問8 レファレンスカウンターでのサービスはいかがでしたか。(○は1つ)

レファレンスカウンターのサービスの満足度については、「大変満足」と「おおむね満足」を合わせた【満足である(計)】が84.6%となっている。また、「やや不満」と「不満」を合わせた【不満である(計)】は0.0%となっている。

図表-14 レファレンスカウンターでのサービスの満足度(全体)



### <回答の主な改善点>

#### 1. 大変満足

- ・とても親切で毎回助かっている
- ・閉架も含めて何冊も探し出してくれて満足した

#### 2. おおむね満足

- ・親切に対応して頂いたが、必要な図書がないことがあり、不便を感じた

## (9) レファレンスサービスを利用していない理由

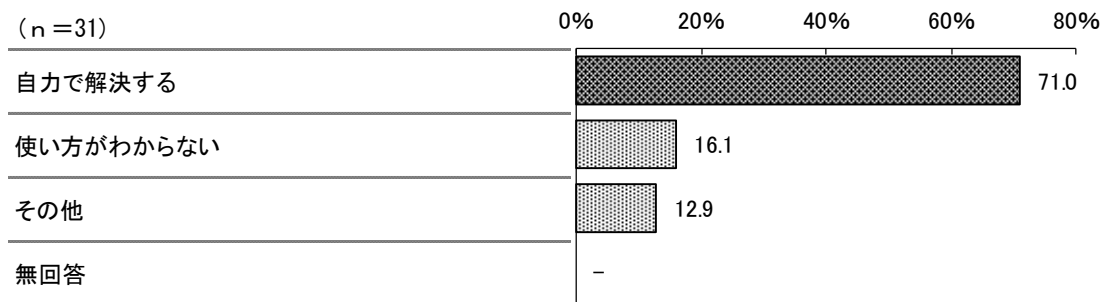
問7で「2 知っているが利用したことはない」と答えた方のみ回答

問9 レファレンスサービスを利用していない理由をお聞かせください。(○は1つ)

レファレンスサービスを利用していない理由については、「自力で解決する」が71.0%で最も高く、「使い方がわからない」は16.1%となっている。

その他の意見としては、「スマホで調べる」、「調べる内容を知られたくない」などがある。

図表-15 レファレンスサービスを利用していない理由（全体）



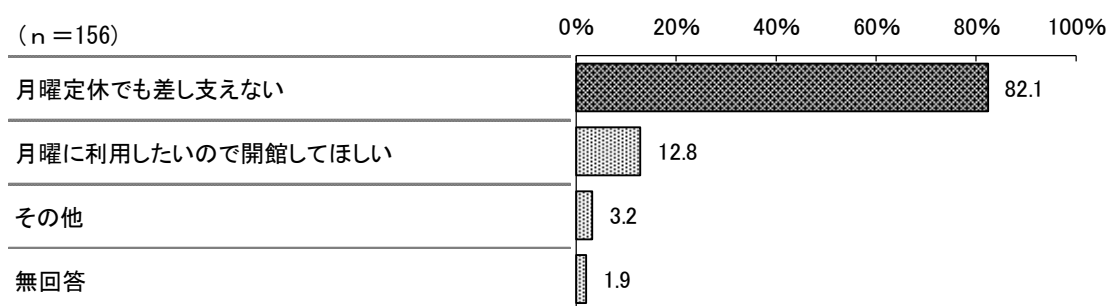
## (10) 図書館の月曜定休について

問 10 現在、図書館は月曜定休（中央図書館、立石図書館の2館は平日毎日開館）としています。月曜定休についてお聞かせください。（○は1つ）

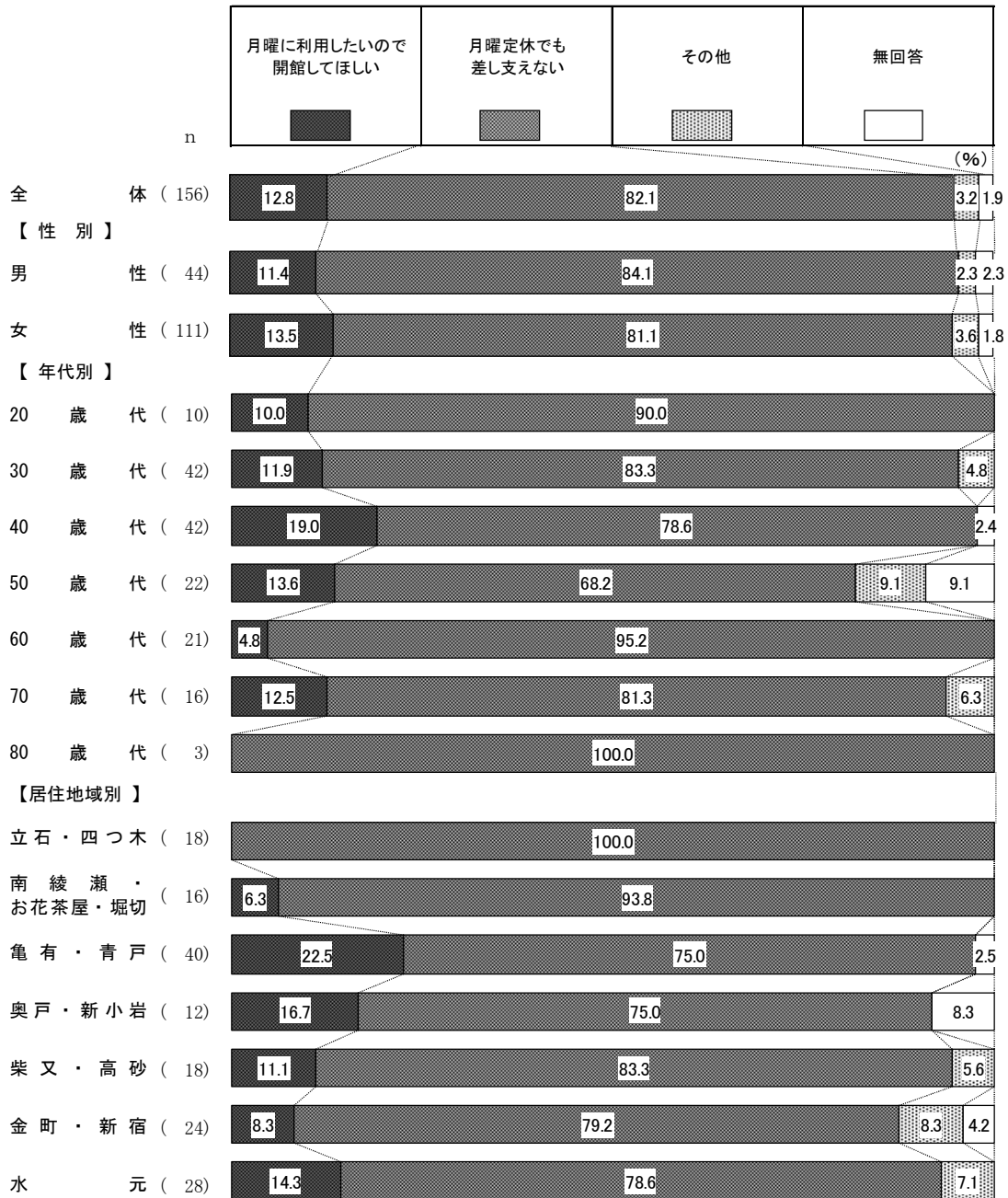
図書館の月曜定休については、「月曜定休でも差し支えない」が82.1%で最も高くなっている。一方で「月曜に利用したいので開館してほしい」は、12.8%にとどまっている。

年代別でみると、「月曜定休でも差し支えない」は全ての年代で6割以上となっており、40歳代と50歳代を除く年代では、8割以上となっている。「月曜に利用したいので開館してほしい」は、40歳代が19.0%で最も高くなっている。

図表-16 図書館の月曜定休について（全体）



図表-17 図書館の月曜定休について  
(全体・性別・年代別・居住地域別)





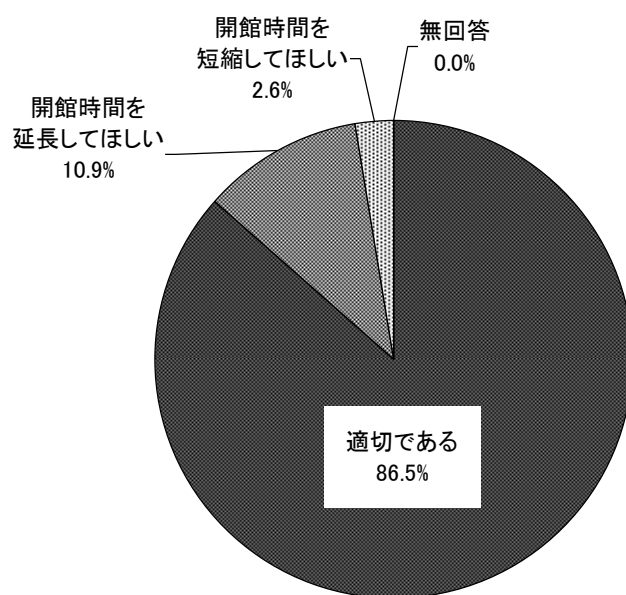
## (11) 図書館の開館時間

問 11 現在、図書館は午前 9 時から午後 8 時まで（一部は午後 10 時まで）開いています。  
開館時間についてお聞かせください。（〇は 1 つ）

開館時間については、「適切である」が 86.5% で最も高く、「開館時間を延長してほしい」が 10.9% となっている。

年代別でみると、「適切である」は、50 歳代を除く全ての年代で 8 割を超えている。「開館時間を延長してほしい」は、50 歳代で 27.3% となっている。

図表－18 図書館の開館時間（全体）



n=156

### <回答の主な理由>

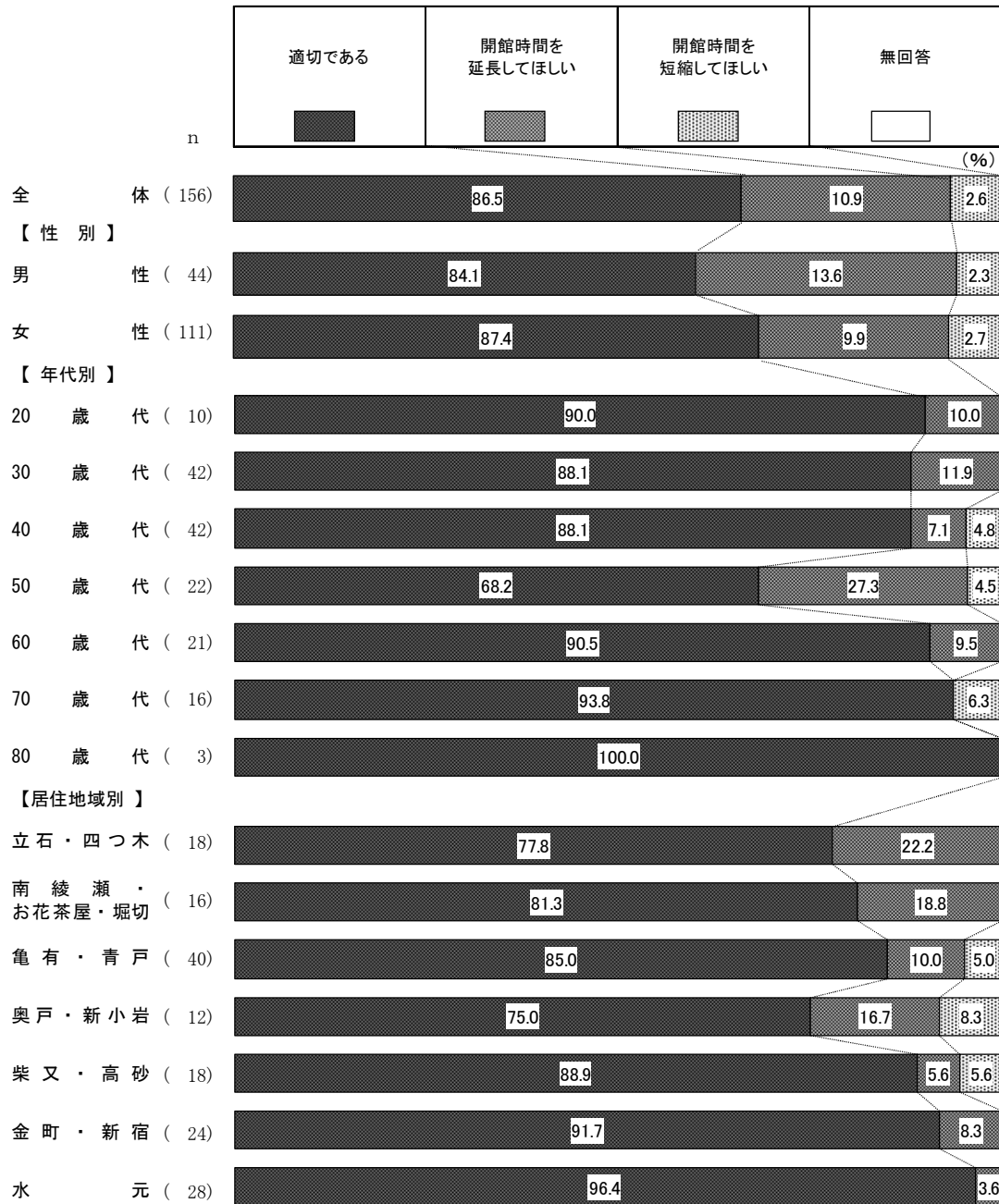
#### 2. 開館時間を延長してほしい

- ・週に 1 日で良いから夜延長してほしい
- ・月一回か二回午前 8 時開館してほしい
- ・夏時間を新設し、延長してほしい
- ・午前 7 時ころから開館してほしい
- ・子どもは午後 6 時、大人は午後 8 時にしてほしい
- ・朝 6 時代に利用したい
- ・学校に行く前に学習できるよう、朝の開館を早めてほしい
- ・23 時までにしてほしい

#### 3. 開館時間を短縮してほしい

- ・図書館で働いている人が夜遅くまで大変なため
- ・労働時間短縮になる
- ・税金の節約
- ・早く閉館しても問題ないと思う

図表-19 図書館の開館時間  
(全体・性別・年代別・居住地域別)



## (12) 図書館に導入を希望するサービス

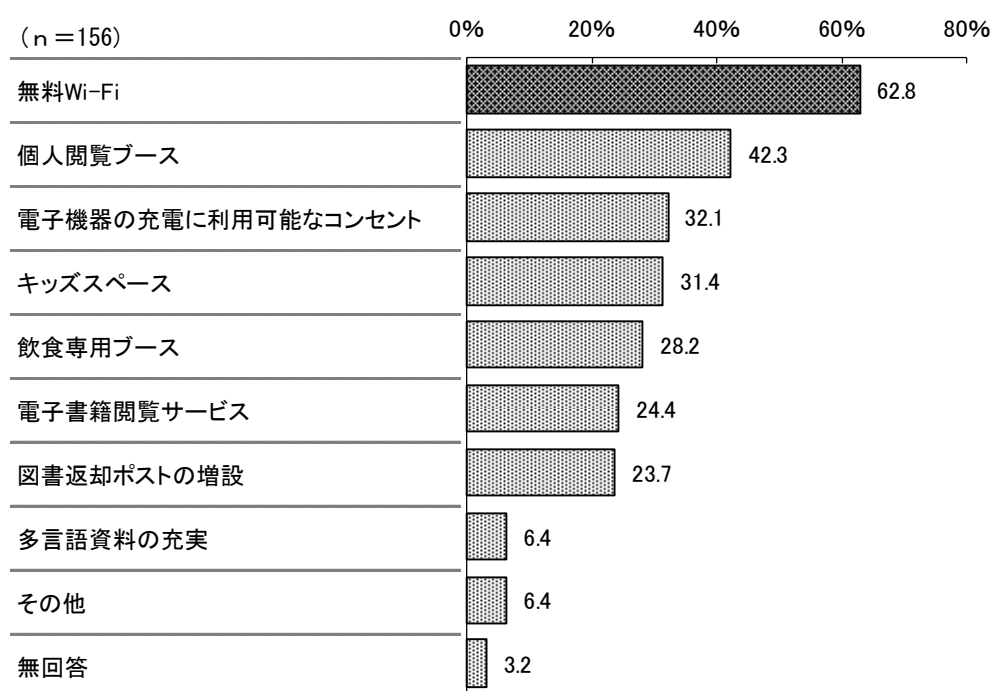
問 12 今後、図書館に導入を希望するサービスをお聞かせください。

(あてはまるものすべてに○)

図書館に導入を希望するサービスについては、「無料 Wi-Fi」が 62.8%で最も高く、次いで「個人閲覧ブース」が 42.3%、「電子機器の充電に利用可能なコンセント」が 32.1%となっている。

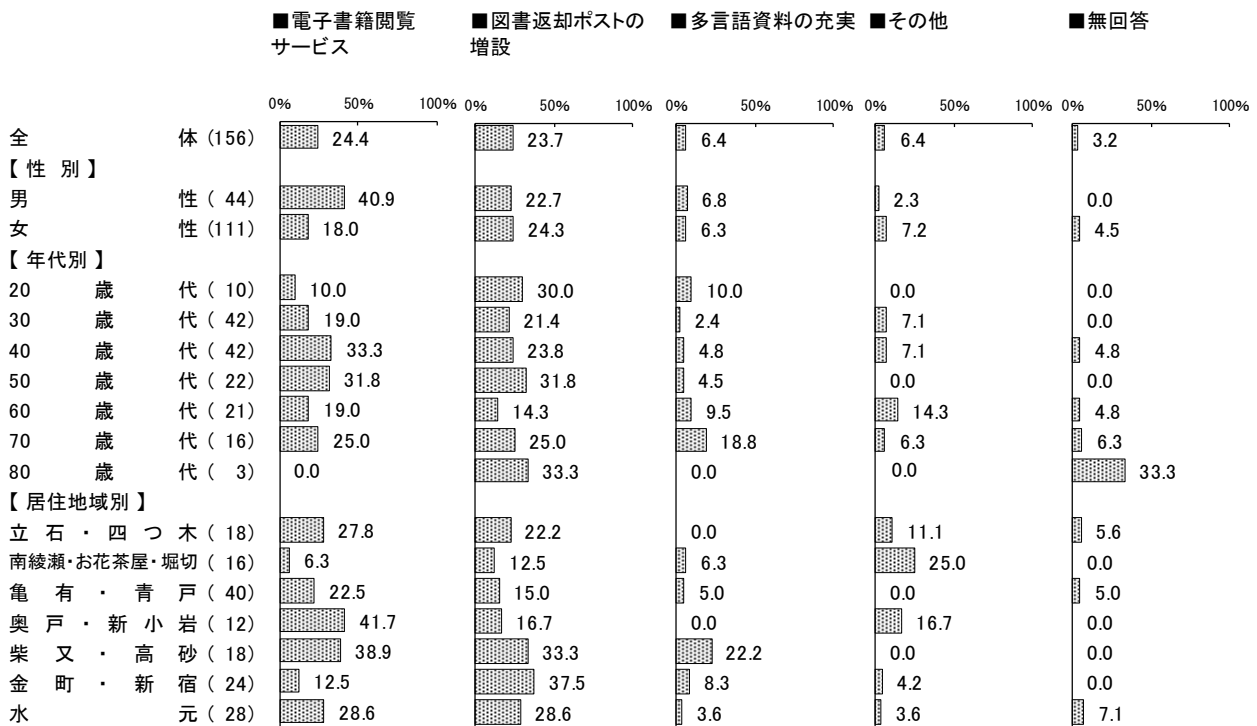
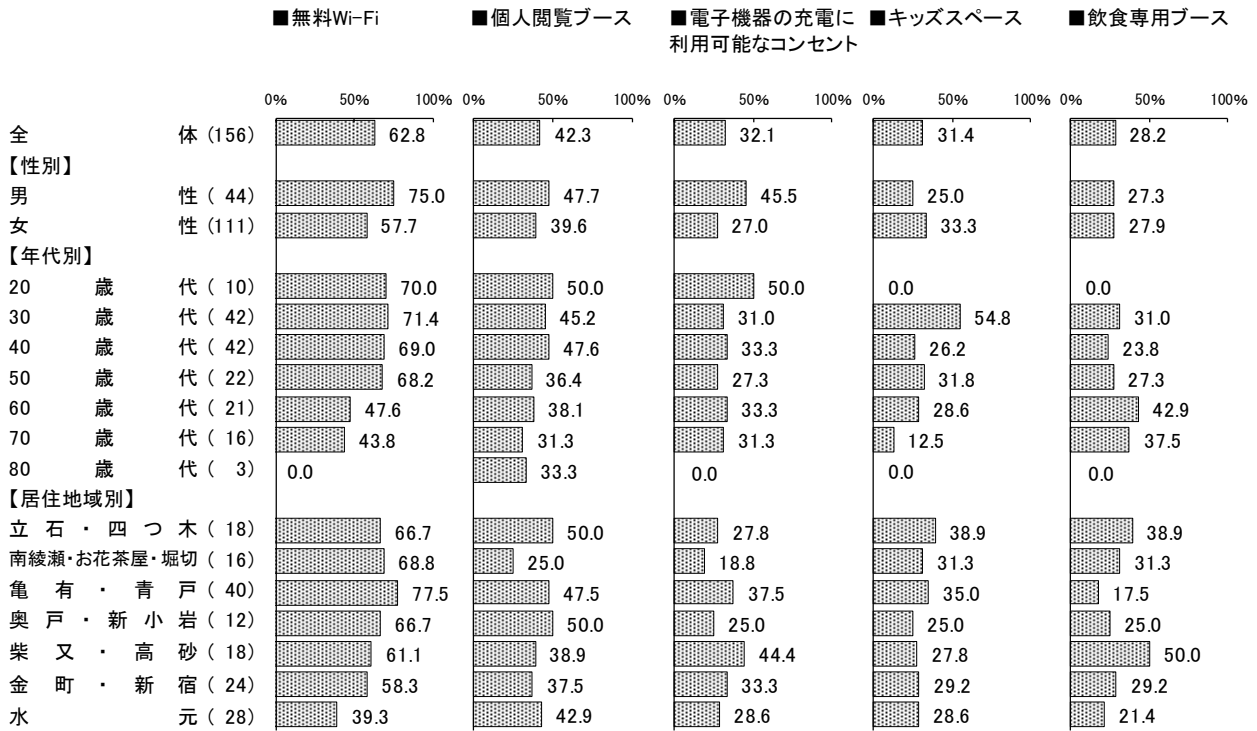
その他の意見としては、「(中央図書館にある) 図書殺菌 BOX」、「座席の増設」、「郷土資料」、「授乳室」、「(非対面) 無人貸出しサービス」、「地域の障害者施設による常設販売ブースや軽食スペース」などがある。

図表-20 図書館に導入を希望するサービス (全体)



年代別でみると、「無料Wi-Fi」は、50歳代以下の年代で約7割と高くなっている。「個人閲覧ブース」と「電子機器の充電に利用可能なコンセント」は、いずれも20歳代で50.0%と高く、「キッズスペース」は30歳代で54.8%と高くなっている。

図表-21 図書館に導入を希望するサービス  
(性別・年代別・居住地域別)



## (13) 図書館の学習に関する改善点やご要望

問 13 図書館で学習するにあたり、改善点やご要望等がありましたらご記入ください。

(自由記述)

### (具体的な記述内容)

#### <環境>

- ・コロナ対策として、席に仕切りをしてほしい。(同様の意見：他 2 件)
- ・机、椅子を利用しやすい(高さや座りやすい)ものにしてほしい。(同様の意見：他 1 件)
- ・冷暖房の調整をしてほしい。(同様の意見：他 1 件)
- ・清潔感・静かさ・広い個人スペース・快適な椅子や机。

#### <設備>

- ・明るい清潔的な館内にしてほしい。
- ・タブレットなどの端末を利用できると良い。
- ・イヤフォンを利用できるようにしてほしい。
- ・中央図書館(歩くと床が音がする。ジュウタンなどにしてほしい。)
- ・古い図書館が多く、バリアフリーになっていない。
- ・駐車場の施設が増えたらありがたい。

#### <座席・個人ブース>

- ・席が空いていないので席を増やしてほしい。(同様の意見：他 4 件)
- ・個人ブースの確保。(同様の意見：他 3 件)

#### <スペースがほしい>

- ・スペースを増やしてほしい。
- ・学習スペースを増やしてほしい。(同様の意見：他 3 件)
- ・図書館にある資料から知識を得る為の模写等の作業が出来るスペースがほしい。
- ・子供(幼児乳児)スペースがほしい。(同様の意見：他 1 件)
- ・一日ゆっくり、本を読んだり、調べものをしたりできるような空間を作してほしい。
- ・子どもが宿題をしたり、本を読んだり、くつろげるスペースづくりをしてほしい。
- ・パーソナルスペースの拡大。(同様の意見：2 件)
- ・1 日利用したい人のために食事ができるスペースがあると良い。(同様の意見：1 件)

#### <備品等>

- ・コピー機が増えると良い。
- ・入り口以外にも各部屋に手指消毒液を置いてほしい。

#### <サービス>

- ・本や資料を探してくれるスタッフの方が居てほしい。(同様の意見：他 1 件)
- ・混雑時の利用時間制限を行ってほしい。(同様の意見：他 1 件)
- ・満席かどうかわかったり、順番待ちができるようなサービスがあれば良い。
- ・開館時間の延長。
- ・利用制限が厳しい。

### <図書/資料の充実>

- ・資料をもう少し充実してほしい。
- ・鉄道、船舶など交通関係の蔵書を増やしてほしい。

### <管理体制>

- ・居眠りをしている人が席を専有していることがある。積極的に注意してほしい。(同様の意見:他1件)
- ・特定の利用者に偏らないように、公平な機会を与える工夫をしてほしい。
- ・長時間利用している方に、混んでいる場合は離席してもらえよう促してほしい。

## (14) 図書館のサービス全般に関するご意見

問 14 図書館のサービス全般について、ご意見等がありましたらご記入ください。

(自由記述)

### (具体的な記述内容)

#### <運営体制>

- ・利用のためのPRをもっとするべき、活用しないのはもったいない。
- ・新しい企画や発信をしてほしい。
- ・イベント等の広報が不足している。
- ・チラシをもっと見やすくしてほしい。世代別や、開催日、期間などの見出しを作るなど、分類されていたら、興味のある情報をすぐに見つけて便利だと思う。
- ・子ども向けのイベントを行ってほしい。(同様の意見：他1件)
- ・平日の利用時間を延長してほしい。
- ・日曜8時まで開館してほしい。
- ・コロナ自粛の期間利用できないのは残念だった。短時間でも利用できるようにしてほしい。
- ・他の行政サービス(地区センター等)施設との統合を図り大型化と組織のスリム化(効率化)を図るべき。

#### <図書館の場所>

- ・高砂付近に図書館がないため、ほとんど利用できていません。
- ・青戸地区の図書館が小さいのでもう少し大きくなるとありがたい。
- ・JRや私鉄の高架下を利用して図書館をもっと便利なところに作ってほしい。(同様の意見：他1件)

#### <施設サービス>

- ・返却ポストを増やしてほしい。駅やスーパー、ショッピングセンターなど生活の動線に有ると良い。(同様の意見：3件)
- ・本以外も返却できる返却ポストがほしい。
- ・水分補給のための自動販売機や、飲食スペースがほしい。(同様の意見：他1件)
- ・不特定多数の方が利用するので清潔を保ってほしい。(同様の意見：他1件)
- ・持込みPCの設備もあり良いと思う。
- ・椅子・卓が少ないと思う。
- ・図書館により暗いと感じる施設がある。
- ・返却ポストの入口がせまい。

#### <人的サービス>

- ・優しい人も多いが少し対応を改善してくれたら、利用しやすくなると思う。(同様の意見：他3件)
- ・警備員の方の役割がいまいちわからない。

#### <利用ルール>

- ・椅子が予約制とは知らなかった。予約はどこでするのか分からない。
- ・予約した本をまとめて借りられるようにしたい。

- ・開館時間内は、カウンター返却となっているが、開館時間内でもポスト返却可能にしてほしい。
- ・著名作家の新刊は予約が殺到するので、状況改善のためには一定期間は貸し出ししないなどの工夫が必要だと思う。
- ・返却期間を3週間にしてほしい。
- ・他の人と重なる場合、最後まで読む事が出来ずルールがあると良い。

### **<蔵書内容>**

- ・点訳本や多国語で書かれている本は少ないと思うが、リクエストがあれば対応して貰えるのか。
- ・映像や音楽の資料の整備を行ってほしい。必要なもののアンケートを実施して各年代に喜ばれるものを揃えてほしい。
- ・雑誌、新聞類も種類が豊富になっていた。また、書籍も最新刊などが増えている感じがあった。

### **<環境>**

- ・勉強・仕事のしやすいブースがほしい。
- ・自由におしゃべりできるフリースペースがあったら息抜きができると思う。喫煙スペースもあれば良いのでは（離れた場所に）。

### **<その他>**

- ・靴音が響くので、靴音注意ポスターがほしい。
- ・図書館の職員さんの本を読んだ感想コーナーがほしい。
- ・子供が小さいうちはゆっくり絵本を選べないので、今後はネット予約などを活用したい。



## 2. 生涯学習について

生涯学習とは、皆様が生涯にわたって行う、学校教育、家庭教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動など、いつでも、どこでも、自由に行う学習活動です。

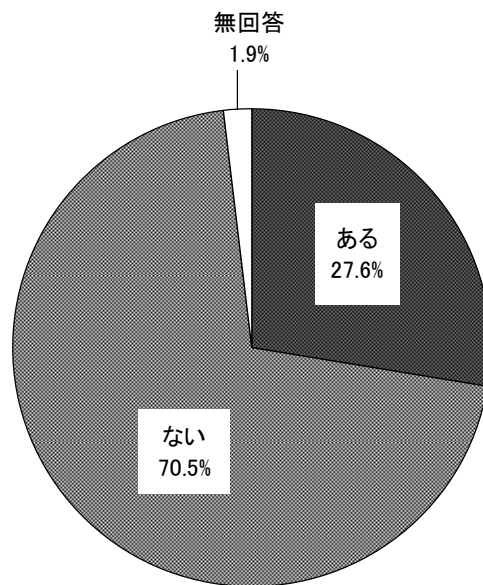
生涯学習に取り組むことができる環境を整えるために区民モニターの皆様のご意見をお聞きます。

### (15) 1年以内の生涯学習の有無

問 15 区では多様な学びと交流の機会を支援するため、講座などの開催や区民の自主的な学習の支援を行っています。また、企業やNPOなどでも学びの場が提供されています。自宅での学習も含めて、この1年間に生涯学習を行ったことはありますか。(〇は1つ)

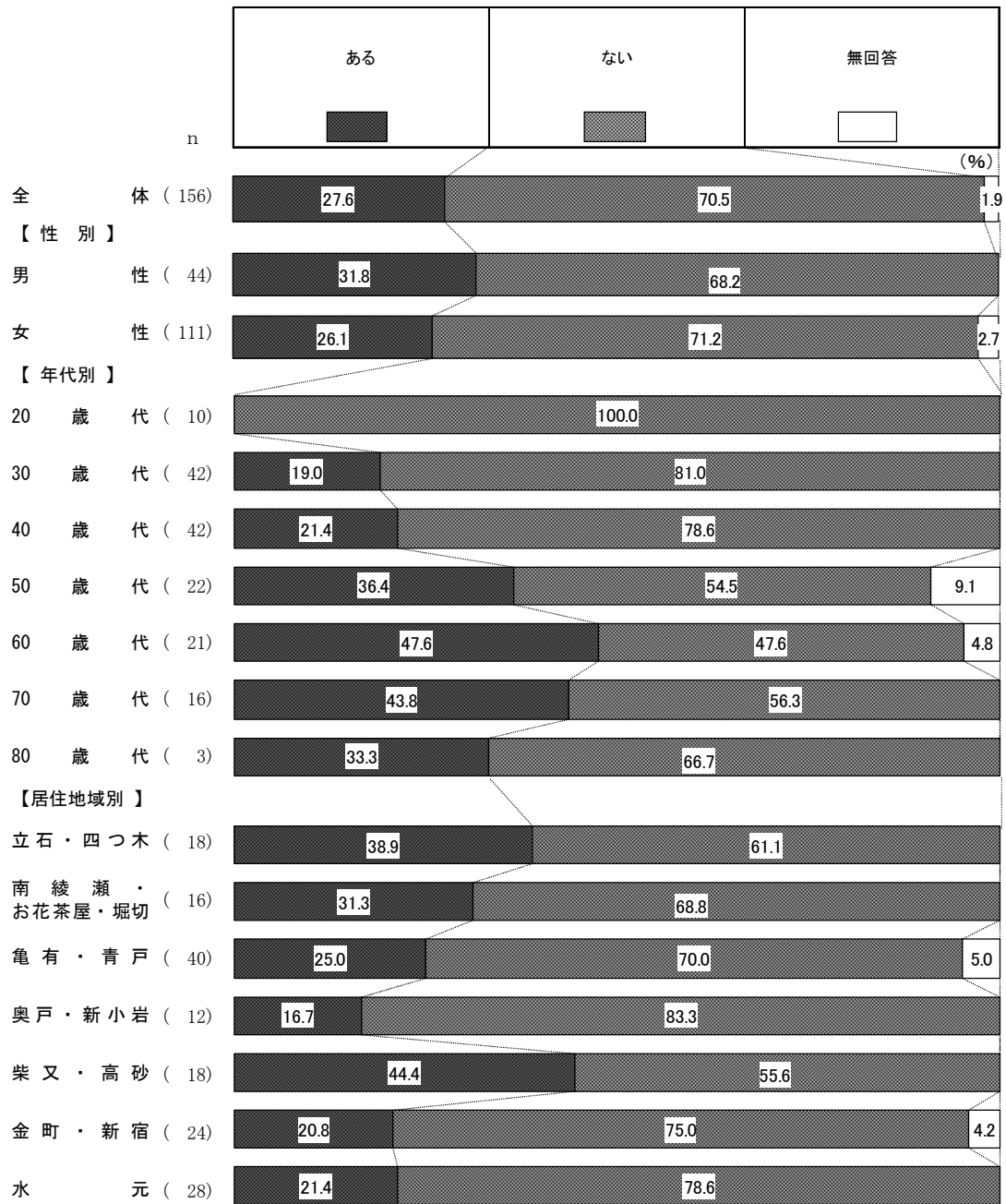
この1年間に生涯学習を行ったことはあるかについて、「ない」が70.5%となっている。年代別で見ると、「ある」は60歳代、70歳代で4割台と高くなっている。

図表-22 1年以内の生涯学習の有無（全体）



n=156

図表-23 1年以内の生涯学習の有無  
(全体・性別・年代別・居住地域別)



## (16) 自宅での生涯学習の方法

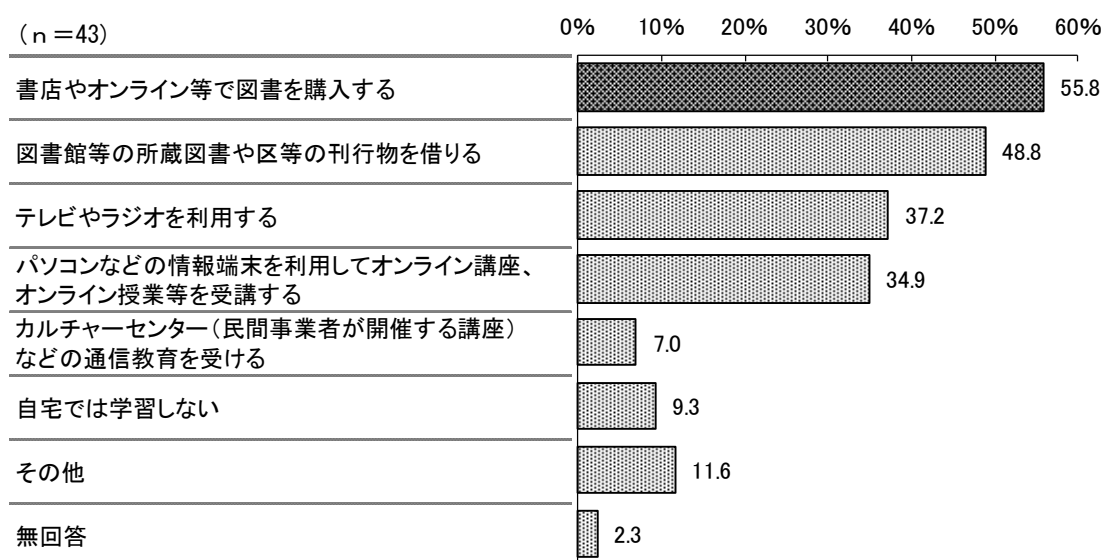
問 15 で「1 ある」と答えた方のみ回答

問 16 自宅ではどのような方法で生涯学習を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

自宅での生涯学習の方法としては、「書店やオンライン等で図書を購入する」が、55.8%で最も高く、次いで「図書館等の所蔵図書や区等の刊行物を借りる」が、48.8%、「テレビやラジオを利用する」が37.2%、「パソコンなどの情報端末を利用してオンライン講座、オンライン授業等を受講する」が34.9%となっている。

その他の意見としては、「ゲーム機を利用している」などがある。

図表-24 自宅での生涯学習の方法（全体）



## (17) 自宅以外で生涯学習を行う場所や方法

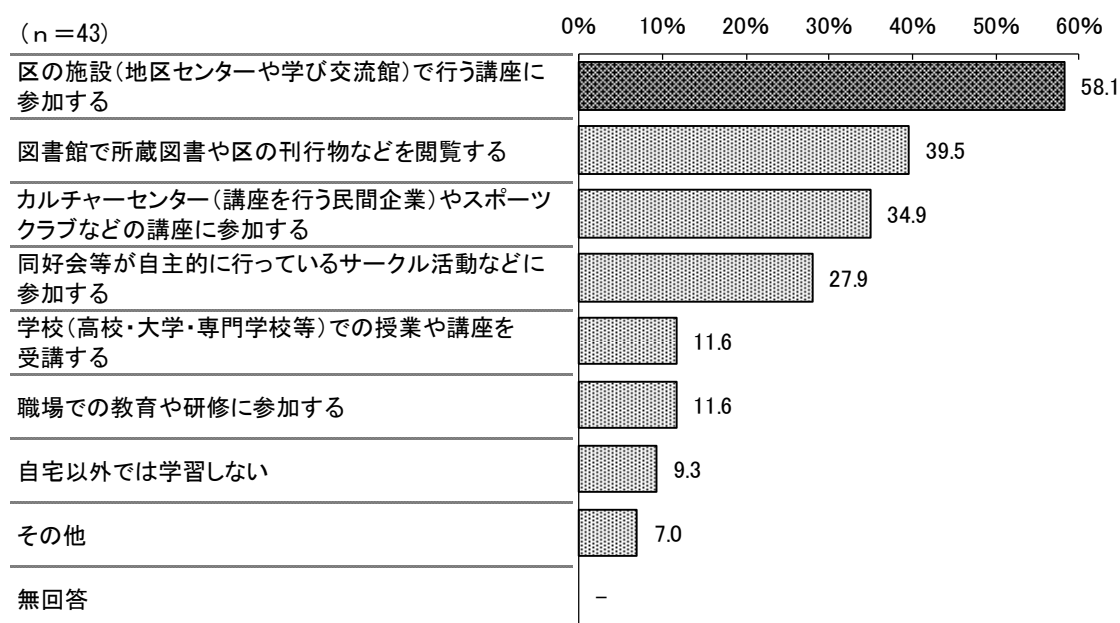
### 問15で「1 ある」と答えた方のみ回答

問17 自宅以外ではどのような場所や方法で生涯学習を行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

自宅以外で生涯学習を行う場所や方法については、「区の施設（地区センターや学び交流館）で行う講座に参加する」が58.1%で最も高く、次いで「図書館で所蔵図書や区の刊行物などを閲覧する」が39.5%、「カルチャーセンター（講座を行う民間企業）やスポーツクラブなどの講座に参加する」が34.9%となっている。

図表-25 自宅以外で生涯学習を行う場所や方法（全体）



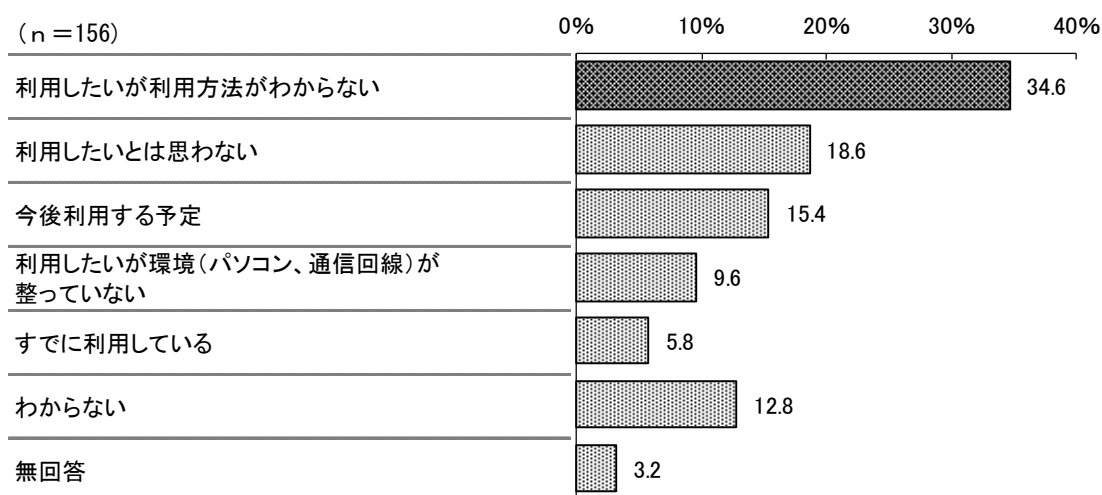
## (18) インターネット（Web）等を活用した自宅での講座の受講

問 18 区では区民の皆様がいつでもどこでも学ぶことができるようインターネット（Web）等を活用した生涯学習の充実に取組んでいきたいと考えています。あなたはインターネット（Web）などを利用して自宅で講座を受講できる場合に利用したいですか。（○は1つ）

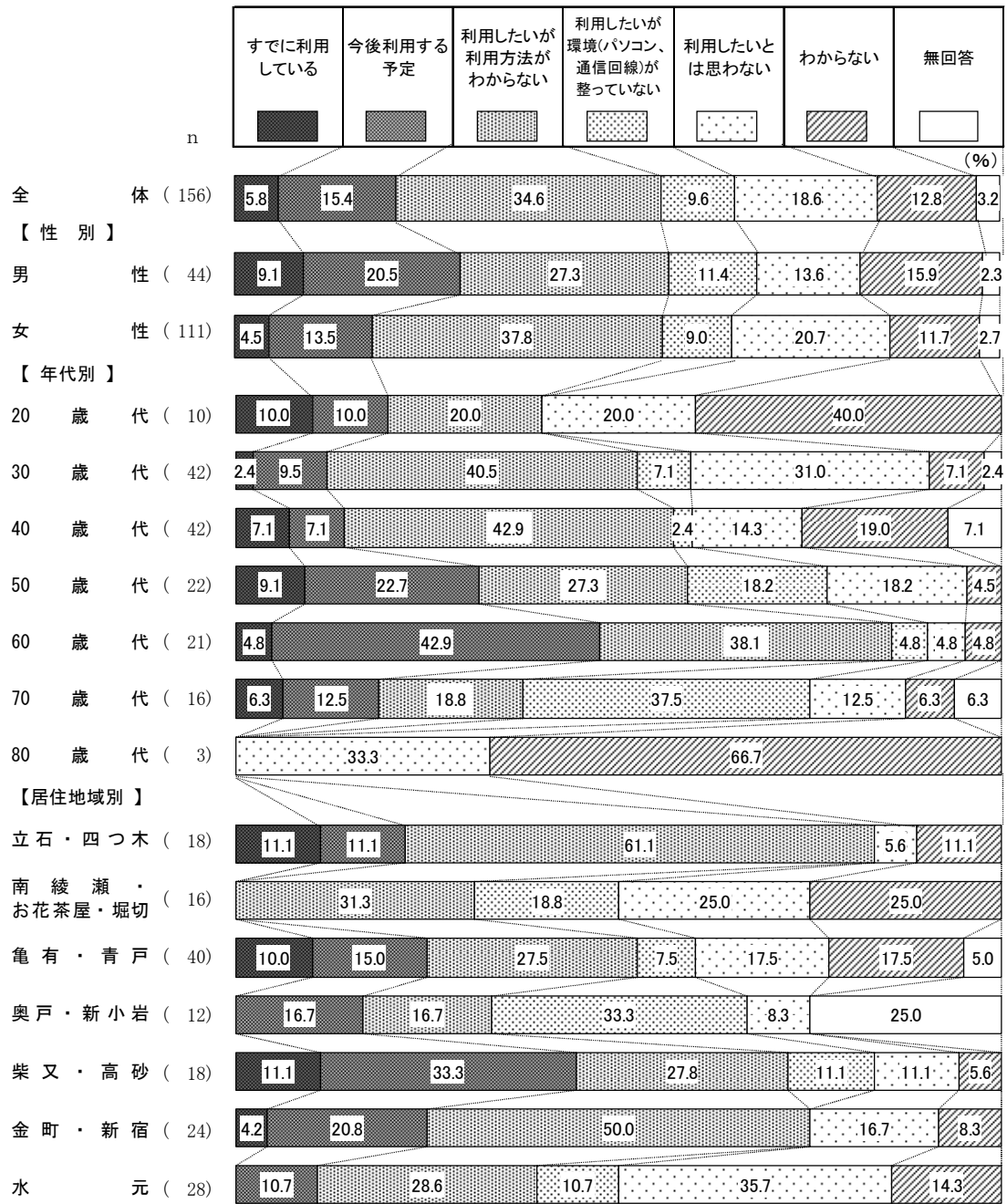
インターネット（Web）等を活用した自宅での講座の受講については、「利用したいが利用方法がわからない」が34.6%で最も高くなっている。一方、「利用したいとは思わない」は18.6%となっている。

年代別でみると、「すでに利用している」は全ての年代で1割以下となっている。「今後利用する予定」は60歳代が42.9%で最も高く、「利用したいが利用方法がわからない」は30歳代と40歳代で4割台となっている。

図表-26 インターネット（Web）等を活用した自宅での講座の受講（全体）



図表-27 インターネット（Web）等を活用した自宅での講座の受講  
（全体・性別・年代別・居住地域別）



### (19) インターネット（Web）を活用した受講しやすい配信方法

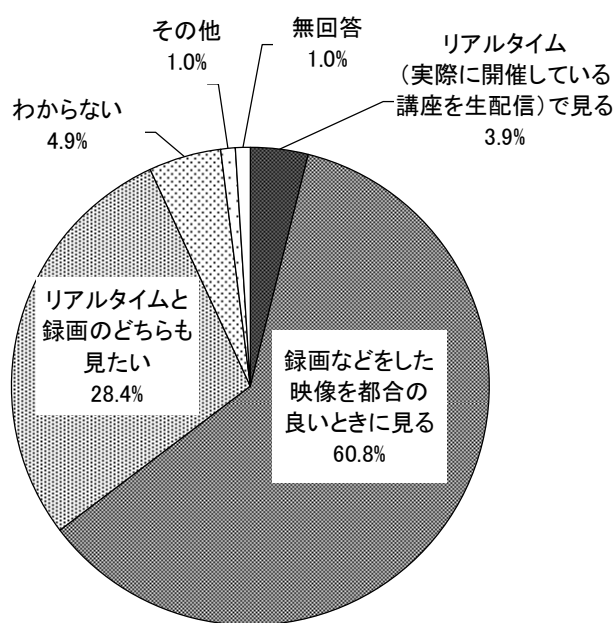
問 18 で「1 すでに利用している」、「2 今後利用する予定」、「3 利用したいが利用方法がわからない」、「4 利用したいが環境が整っていない」と答えた方のみ回答

問 19 インターネット（Web）を活用して講座を受講する際にどのような配信方法が受講しやすいですか。（○は1つ）

インターネット（Web）を活用した受講しやすい配信方法としては、「録画などをした映像を都合の良いときに見る」が60.8%と約6割を占めている。

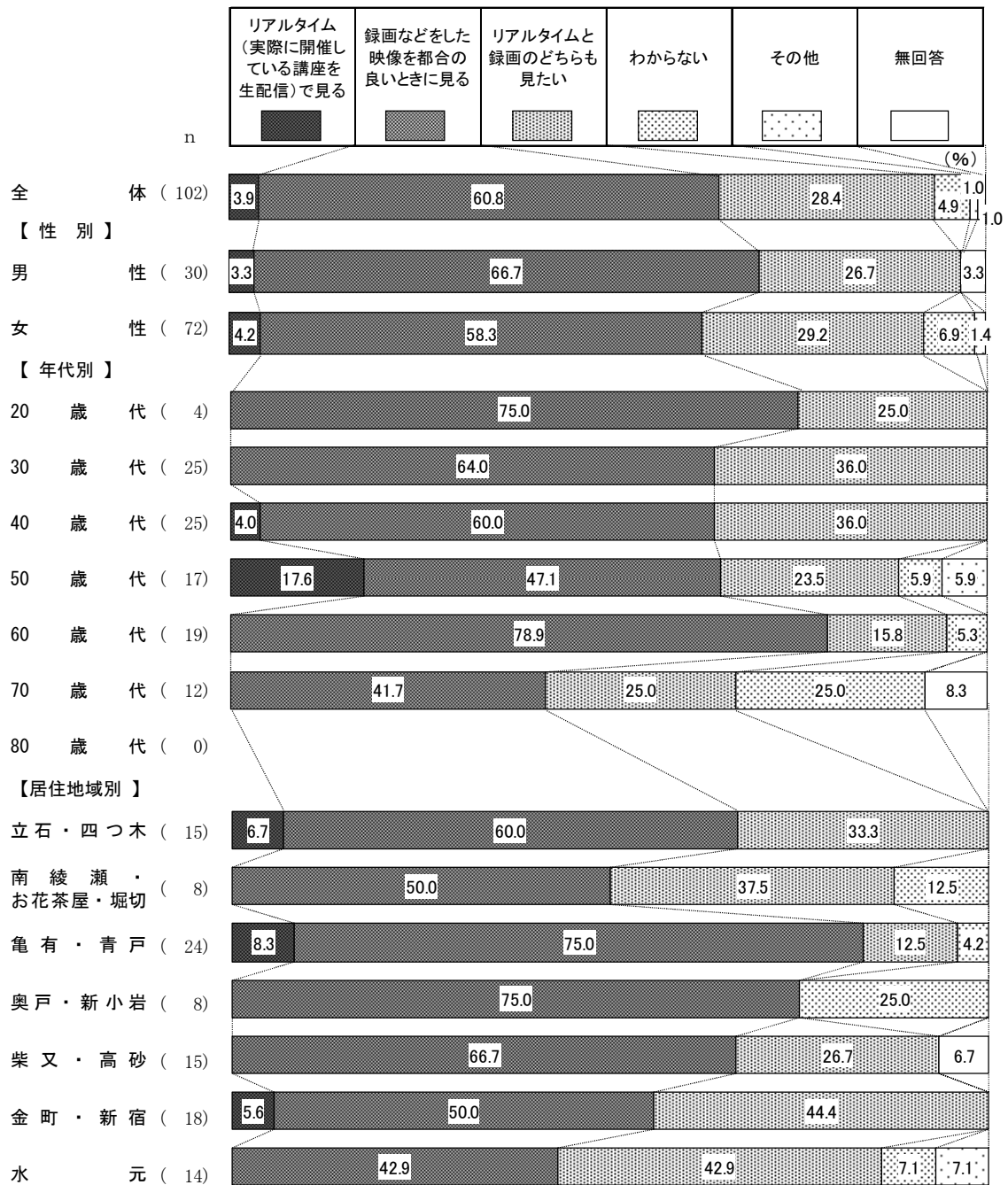
年代別で見ると、「録画などをした映像を都合の良いときに見る」は、60歳代、20歳代の順に高く、それぞれ7割台となっている。「リアルタイムと録画のどちらも見たい」は、30歳代と40歳代でそれぞれ36.0%となっている。

図表-28 インターネット（Web）を活用した受講しやすい配信方法（全体）



n=102

図表-29 インターネット（Web）を活用した受講しやすい配信方法  
（全体・性別・年代別・居住地域別）





## (20) インターネット（Web）を活用した受講しやすい時間

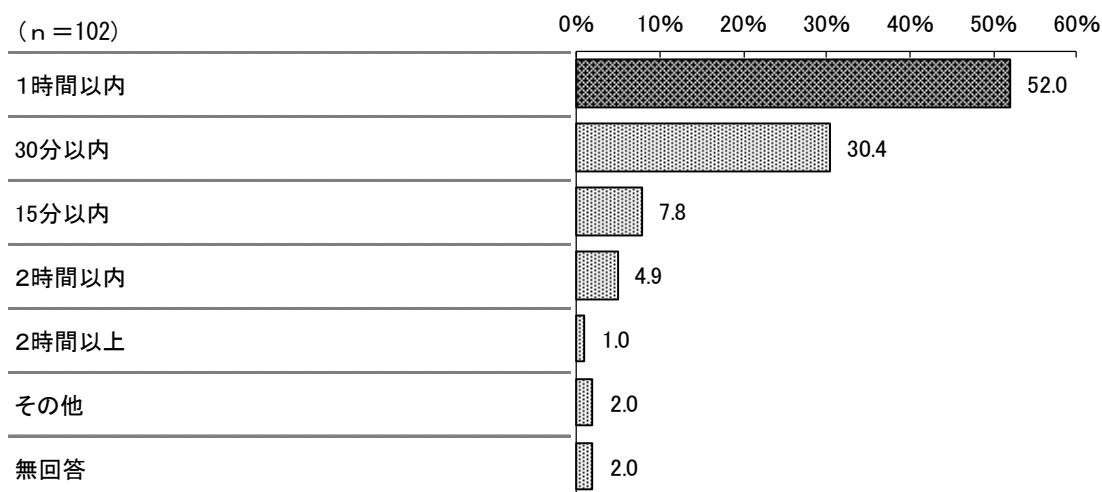
問 18 で「1 すでに利用している」、「2 今後利用する予定」、「3 利用したいが利用方法がわからない」、「4 利用したいが環境が整っていない」と答えた方のみ回答

問 20 インターネット（Web）などで講座を受講する場合にどの程度の時間が受講しやすいですか。（○は1つ）

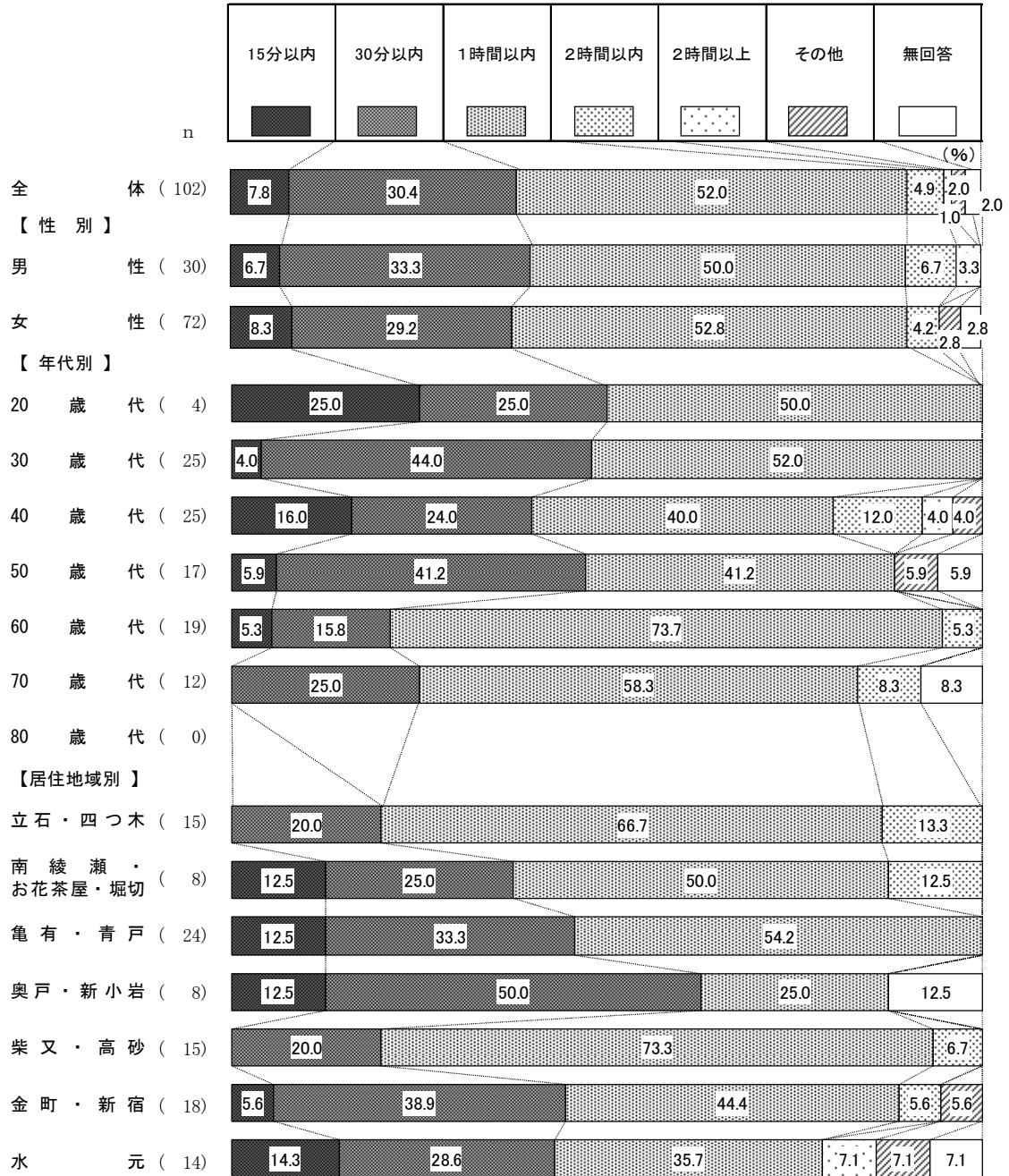
インターネット（Web）を活用した受講しやすい時間としては、「1時間以内」が52.0%で最も高く、次いで「30分以内」が30.4%となっています。

年代別で見ると、「15分以内」は20歳代が25.0%で最も高く、「30分以内」は30歳代、50歳代で4割台となっている。「1時間以内」は全ての年代で4割以上となっており、60歳代で73.7%と最も高くなっている。

図表-30 インターネット（Web）を活用した受講しやすい時間（全体）



図表-31 インターネット（Web）を活用した受講しやすい時間  
（全体・性別・年代別・居住地域別）



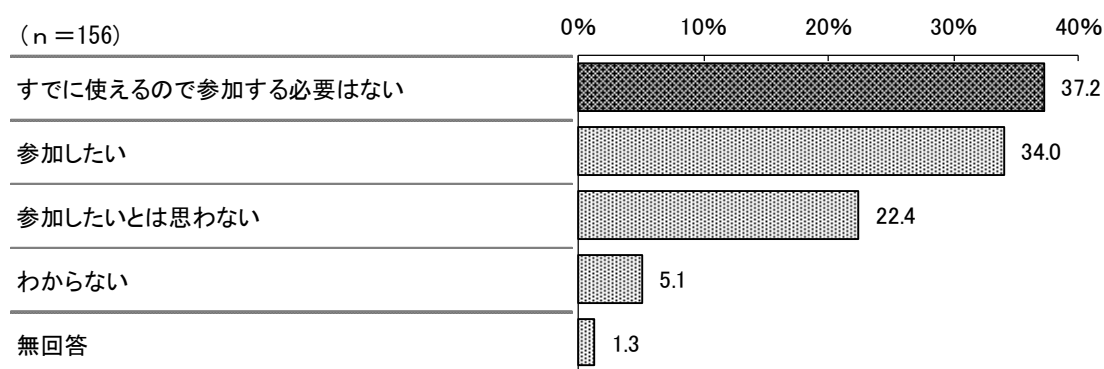
## (21) オンライン講座への参加に必要なアプリ利用講座への参加意向

問 21 パソコンやスマートフォンなどを活用してオンライン講座に参加するためにはユーチューブ (YouTube) やズーム (Zoom) などのアプリケーションの利用が必要です。アプリの使い方を学ぶ講座があれば参加したいですか。(〇は1つ)

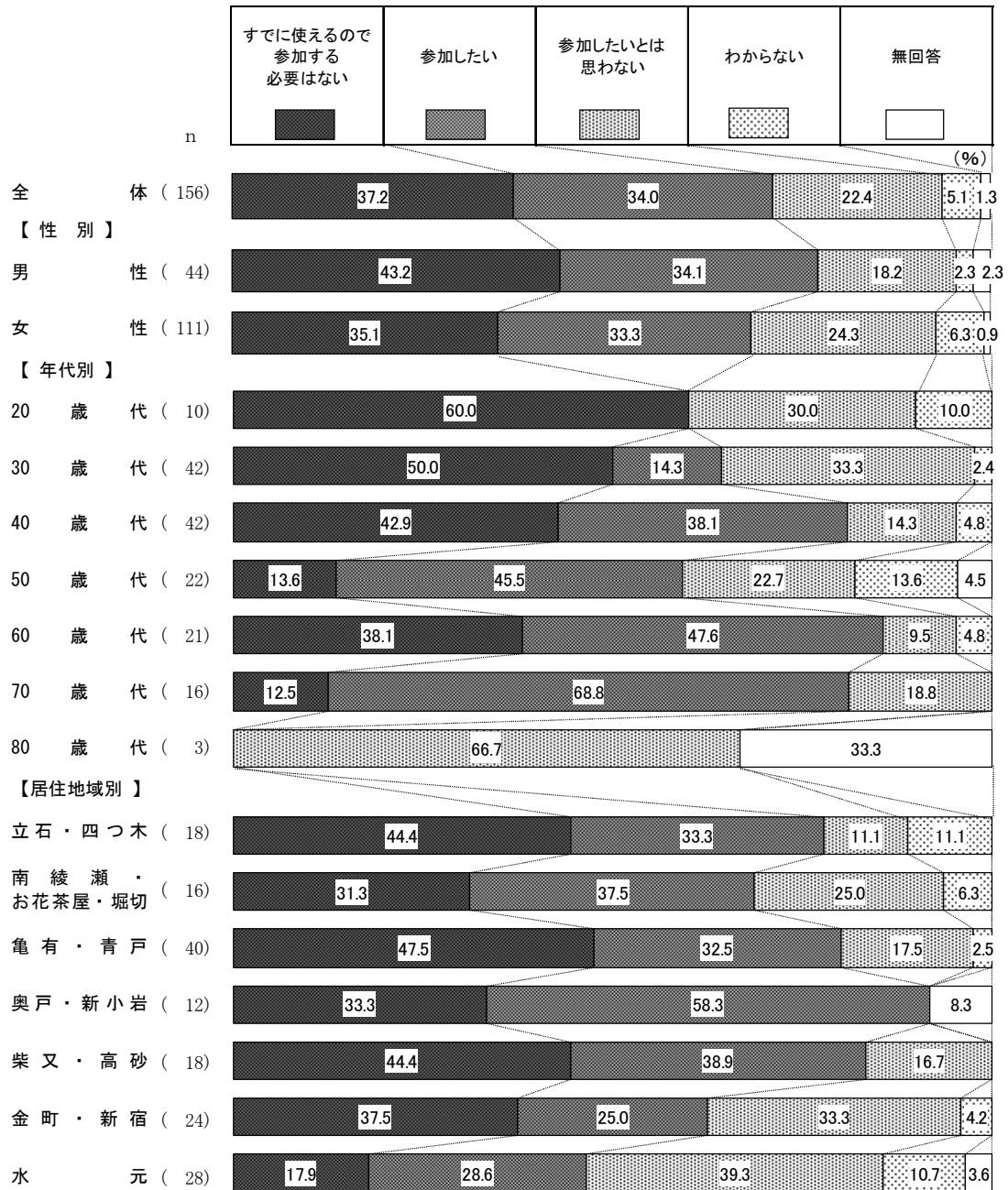
アプリ利用講座への参加意向としては、「すでに使えるので参加する必要はない」が 37.2%で最も高く、「参加したい」は 34.0%となっている。

年代別でみると、「すでに使えるので参加する必要はない」は、20 歳代が 60.0%で最も高く、次いで 30 歳代で 50.0%、40 歳代で 42.9%となっている。「参加したい」は、70 歳代で 68.8%と 7 割近くを占めており、50 歳代、60 歳代でも 4 割台となっている。

図表-32 アプリ利用講座への参加意向 (全体)



図表-33 アプリ利用講座への参加意向  
(全体・性別・年代別・居住地域別)



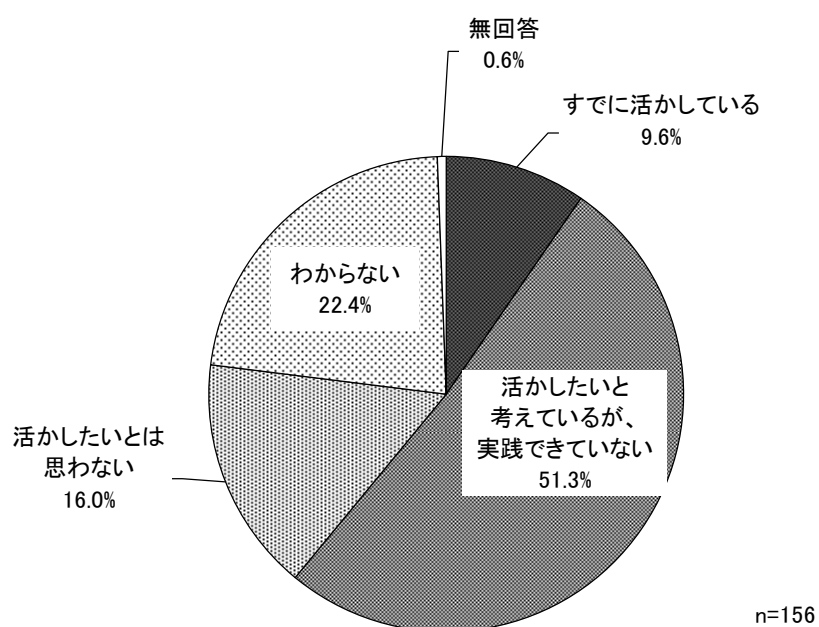
## (22) 学習で得た知識や技能の活用

問 22 学習で得た知識や技能を地域や社会で活かしたいと思いませんか。(○は1つ)

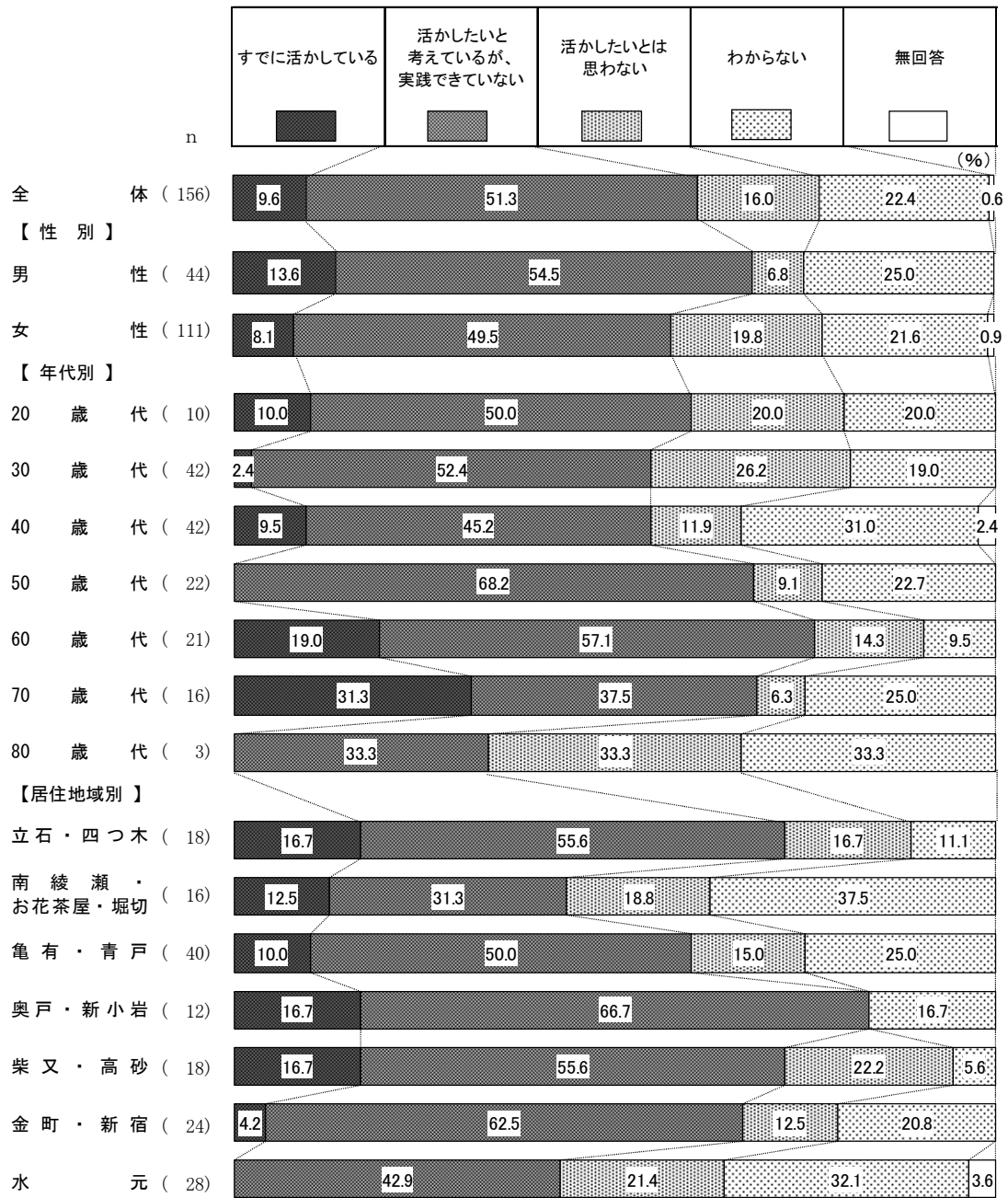
学習で得た知識や技能の活用については、「活かしたいと考えているが、実践できていない」が51.3%と過半数を占めており、「すでに活かしている」は9.6%にとどまっている。

年代別でみると、「すでに活かしている」は70歳代が31.3%で最も高く、次いで60歳代で19.0%となっている。「活かしたいと考えているが、実践できていない」は、50歳代で68.2%と最も高く、20歳代、30歳代、60歳代でも5割台となっている。

図表-34 学習で得た知識や技能の活用（全体）



図表－35 学習で得た知識や技能の活用  
(全体・性別・年代別・居住地域別)



### (23) 学習で得た知識の活用の場

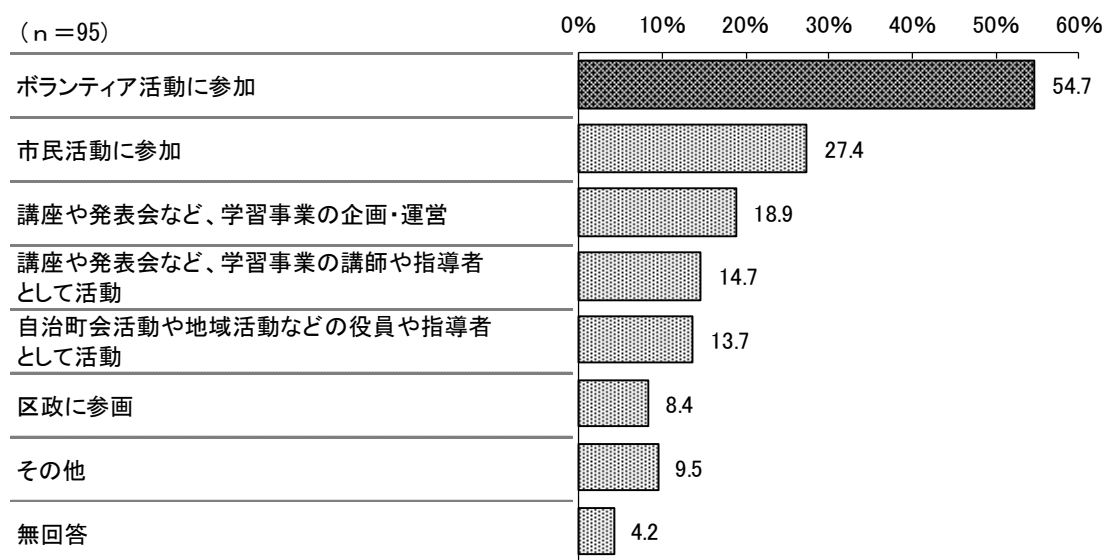
問 22 で「1 すでに活かしている」、「2 活かしたいと考えているが、実践できていない」と答えた方のみ回答

問 23 学習で得た知識をどのような活動に活かしていますか。または、活かしたいと考えていますか。(あてはまるものすべて○)

学習で得た知識の活用の場については、「ボランティア活動に参加」が 54.7%で最も高く、次いで「市民活動に参加」が 27.4%、「講座や発表会など、学習事業の企画・運営」が 18.9%となっている。

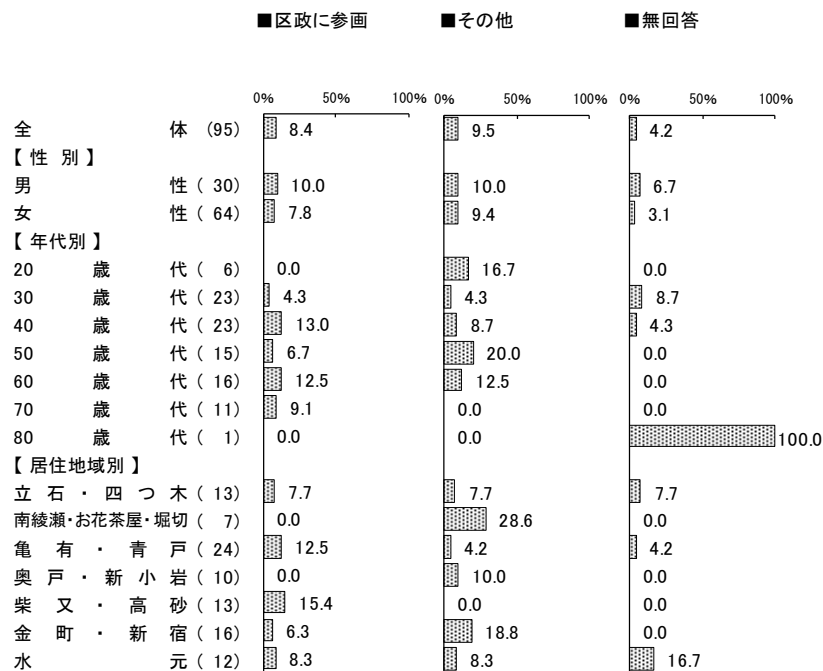
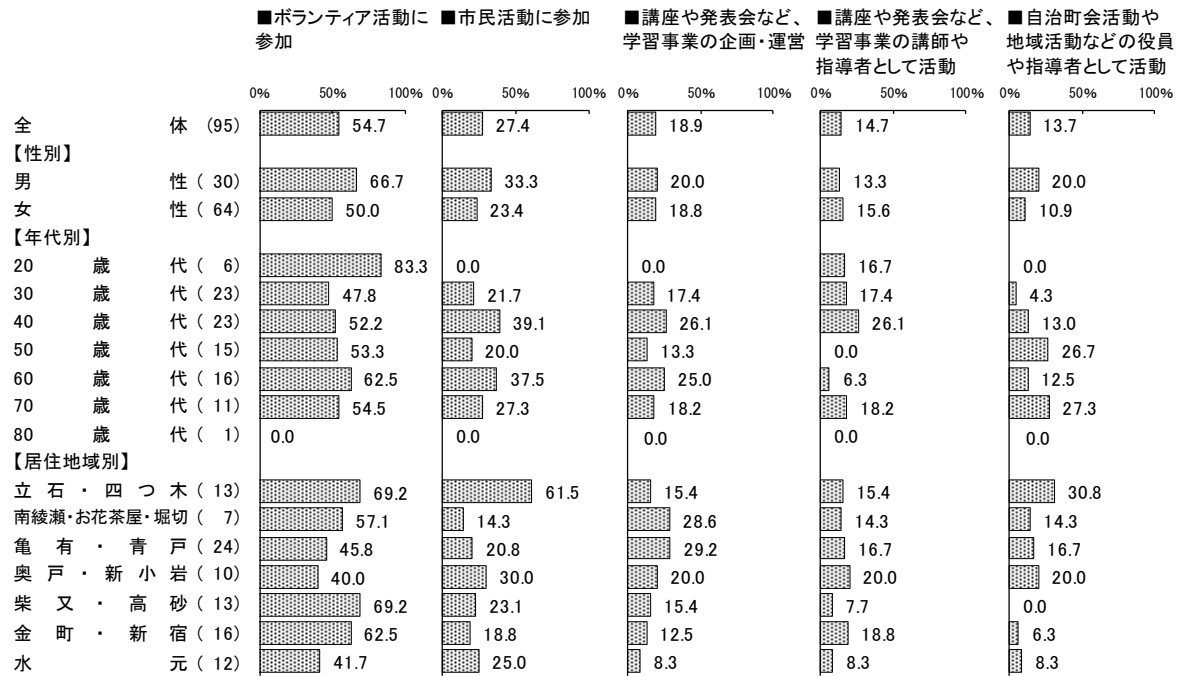
その他の意見としては、「仕事」、「日常生活や親の介護」、「活用の機会を見つけるのは非常に難しい」などがある。

図表-36 学習で得た知識の活用の場（全体）



年代別でみると、「ボランティア活動に参加」は20歳代で83.3%と最も高く、次いで60歳代で62.5%となっている。「市民活動に参加」は40歳代と60歳代で約4割となっている。

図表-37 学習で得た知識の活用の場  
(性別・年代別・居住地域別)





## (24) 生涯学習や区の実施する講座等に関するご意見

問 24 生涯学習や区で実施する講座等についてご意見・ご要望などがございましたらご記入ください。(自由記述)

### (具体的な記述内容)

#### <講座について>

- ・今後も継続してもらおうとともに、更に講座を増やすなど充実してほしい。
- ・「公の観念を身につける」ための教養講座を新設してほしい。
- ・ニーズに合った内容の講座を提供してほしい。(同様の意見：他2件)
- ・子育て世帯とシニア向けの講座が多いように感じた。
- ・シニア向けが多いので、内容によっては、全世代向けに開放してほしい。
- ・子育て講座があると良い。
- ・ベビーマッサージ・キッズヨガのような親子向け講座を行ってほしい。
- ・スマートフォンの使い方講座を行ってほしい。設定の仕方も教えてもらいたい。(同様の意見：他1件)
- ・介護系の講座を充実させてほしい。介護する側・される側に役に立つ講座があれば尚良い。
- ・簿記講座など安価でやっていて余裕があればやってみたいと思う。
- ・就活に使える資格が取得出来るような講座がほしいです。(同様の意見：他1件)
- ・障害者の学習について文科省で提言されています。区でも取組を期待します。
- ・何度か区が実施する講座に参加しましたが、無料では申し訳ないと思うくらい濃い内容で高いレベルの講座もありました。これからも期待しています。

#### <講座の開催方法(場所・時間・Web開催等)>

- ・Zoom等であれば人数制限もなく多くの人に参加できると思う。
- ・生涯学習や講座は定員があり、抽選で外れることもあるので、インターネットで視聴できると良い。体験した方が良い場合は(体操や料理など)会場を借りて定員制限をして実施してほしい。
- ・映像配信をあわせて行い、遠方の方や事情があって参加しにくい人も参加できるようにしてほしい。
- ・集会所を利用する講座は人数制限があり、場所が離れていると参加できない。Web版が工夫できるなら新規の要素を盛り込むより先に、現行の弱点を補うようにしてほしい。
- ・ZOOMやYouTube配信があると良い。
- ・講座は土日祝日の昼間に開催があると参加しやすい。
- ・定員が少ない。

#### <情報発信>

- ・講座がどこで行っているか、情報を一元化して、一か所ですべてが選べると良い。(同様の意見：他1件)
- ・広報等で講座開催の案内を見ても、どんな事をやるのか分からない。作品や活動の写真をのせるなど、分かりやすくすると参加したい人が増えると思う。(同様の意見：他1件)

### <利用料金>

- ・生涯学習講座等の料金が高い。他区では無料が多い。
- ・現在区が無料で講座をやっていただいている、また趣味を復活する足掛かりができ、感謝しています。

### <その他>

- ・講座に参加する予定が都合で行けなくなった時等、講演内容を知る事が出来たら良い。
- ・区で実施する講座等について、受講証明書を発行できるように制度を改善して頂きたい。
- ・町内会の方々と共有できると良い。特に高齢者が苦手なデジタルのことなど。
- ・参加しやすい、短期のものなど、見やすく分かりやすい一覧のようなものはあるのか。興味はあっても年齢の幅が高齢だったりするのもなんだか難しい。
- ・公民館の利用はいろいろ制限があるので借りられない為、自宅を開放して学習したいので雑費を負担してほしい。

## (25) 葛飾区の文化財でイメージするもの

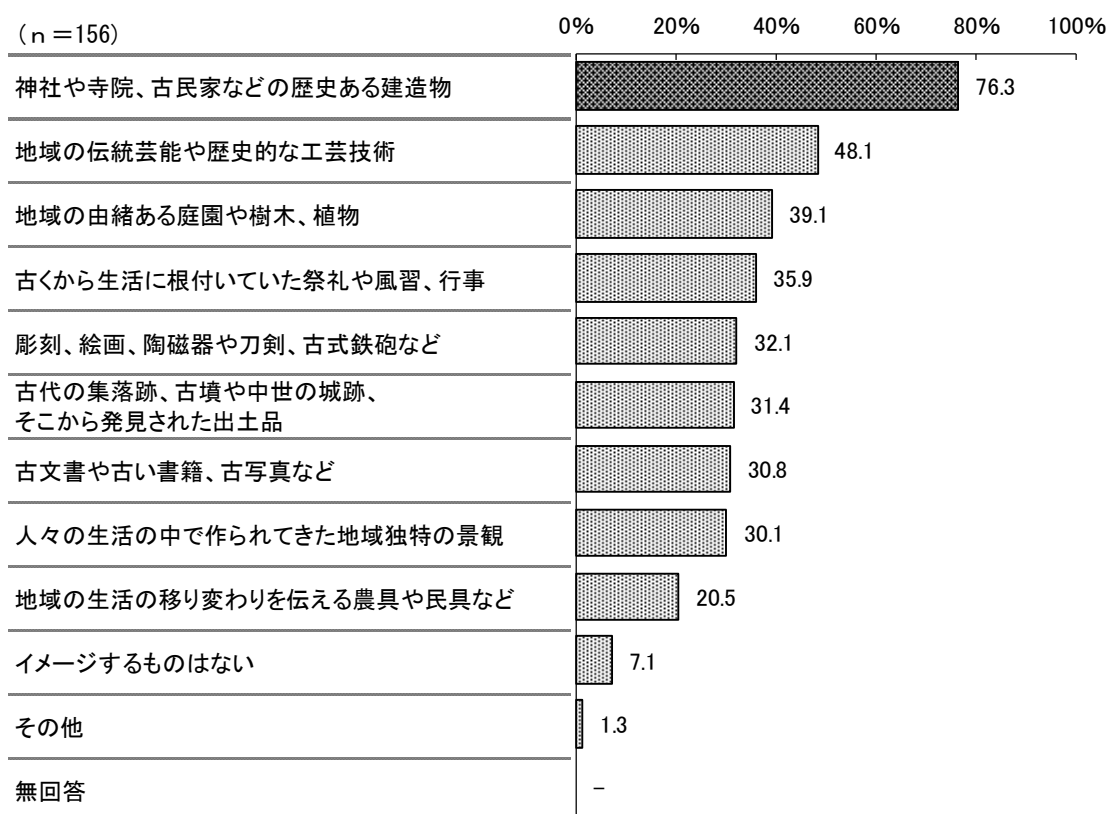
問 25 「葛飾区の文化財」という言葉でイメージするものは何ですか。

(あてはまるものすべて○)

葛飾区の文化財でイメージするものは、「神社や寺院、古民家などの歴史ある建造物」が76.3%で最も高く、次いで「地域の伝統芸能や歴史的な工芸技術」が48.1%、「地域の由緒ある庭園や樹木、植物」が39.1%となっている。

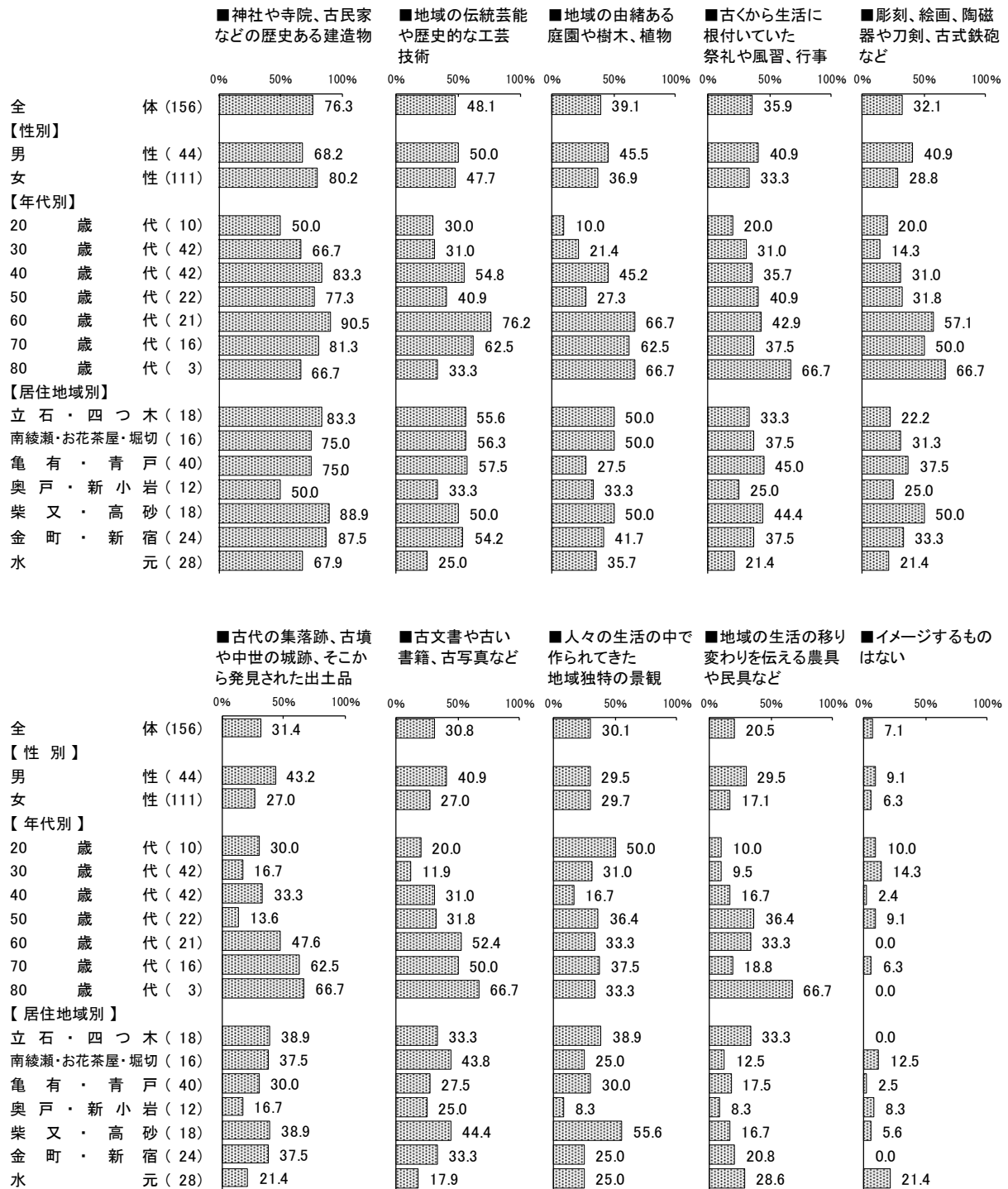
その他の意見としては、「寅さん」、「こちら葛飾区亀有公園前派出所」などがある。

図表-38 葛飾区の文化財でイメージするもの（全体）



年代別でみると、「神社や寺院、古民家などの歴史ある建造物」は、全ての年代で5割を超え、60歳代では90.5%となっている。「地域の伝統芸能や歴史的な工芸技術」は、60歳代で76.2%、70歳代で62.5%と高くなっている。「地域の由緒ある庭園や樹木、植物」は、60歳代以上の年代で6割台と高くなっている。

図表-39 葛飾区の文化財でイメージするもの  
(性別・年代別・居住地域別—上位10項目)



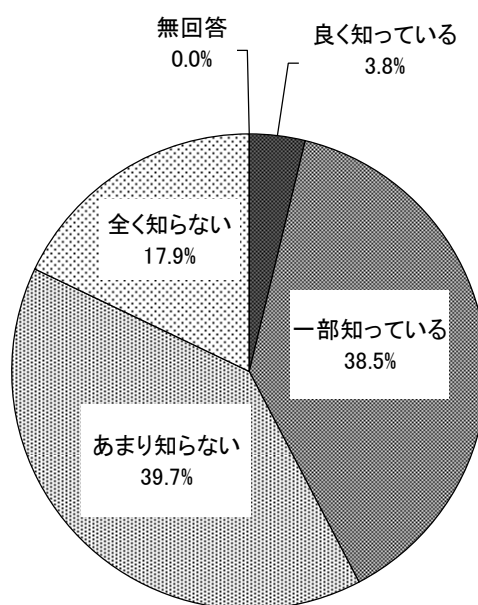
## (26) 葛飾区にある文化財の認知度

問 26 葛飾区内には区が指定・登録した文化財が約 200 件あるほか、国や東京都から指定・登録されている文化財があります。区内に文化財があることを知っていますか。(○は1つ)

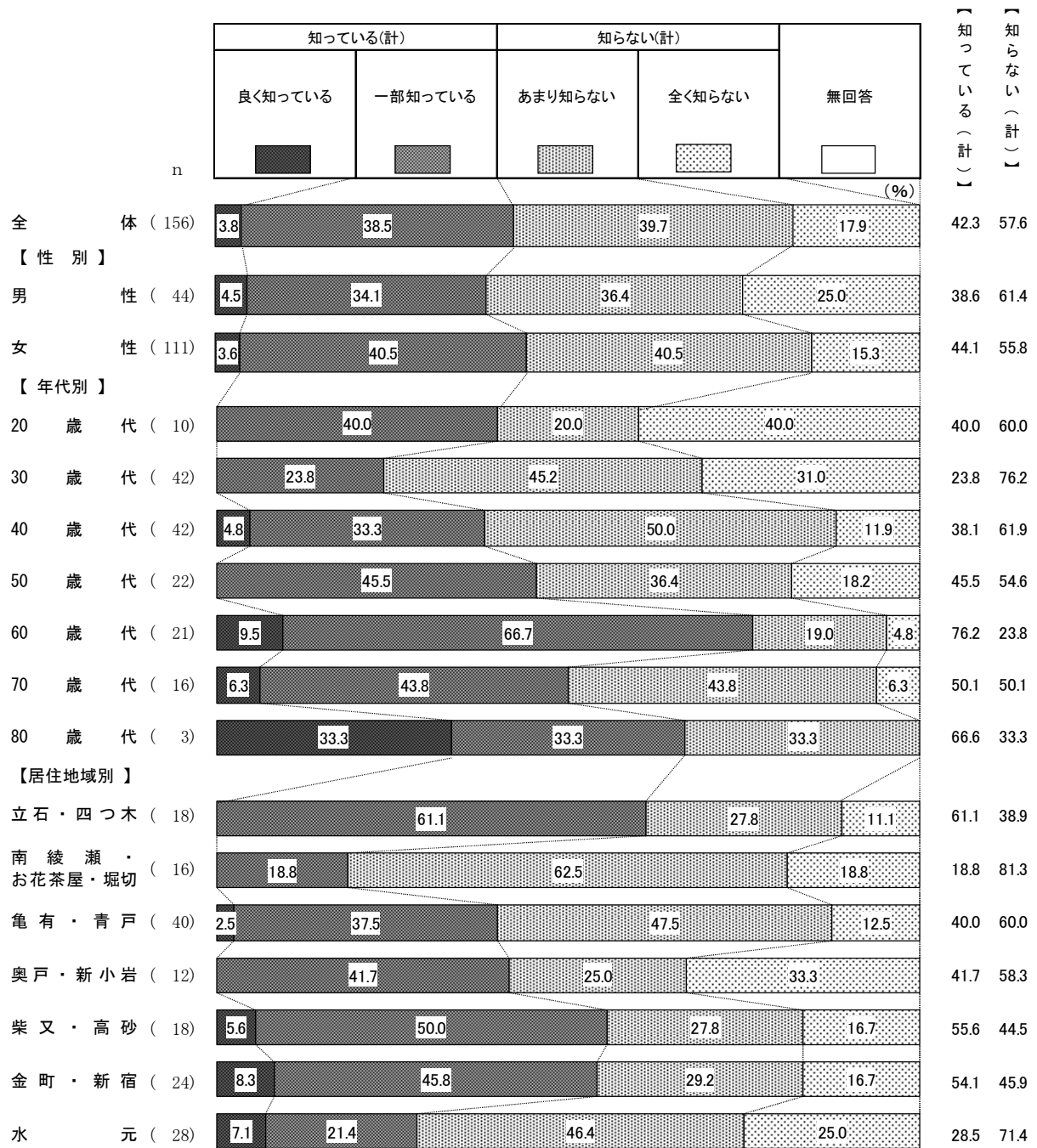
葛飾区にある文化財の認知度については、「良く知っている」と「一部知っている」を合わせた【知っている(計)】は42.3%となっている。一方、「あまり知らない」と「全く知らない」を合わせた【知らない(計)】は57.6%と半数以上を占めている。

年代別でみると、【知っている(計)】は60歳以上の年代で5割以上となっており、60歳代が76.2%で最も高くなっている。【知らない(計)】は30歳代で76.2%と最も高くなっている。

図表-40 葛飾区にある文化財の認知度(全体)



図表-41 葛飾区にある文化財の認知度  
(全体・性別・年代別・居住地域別)



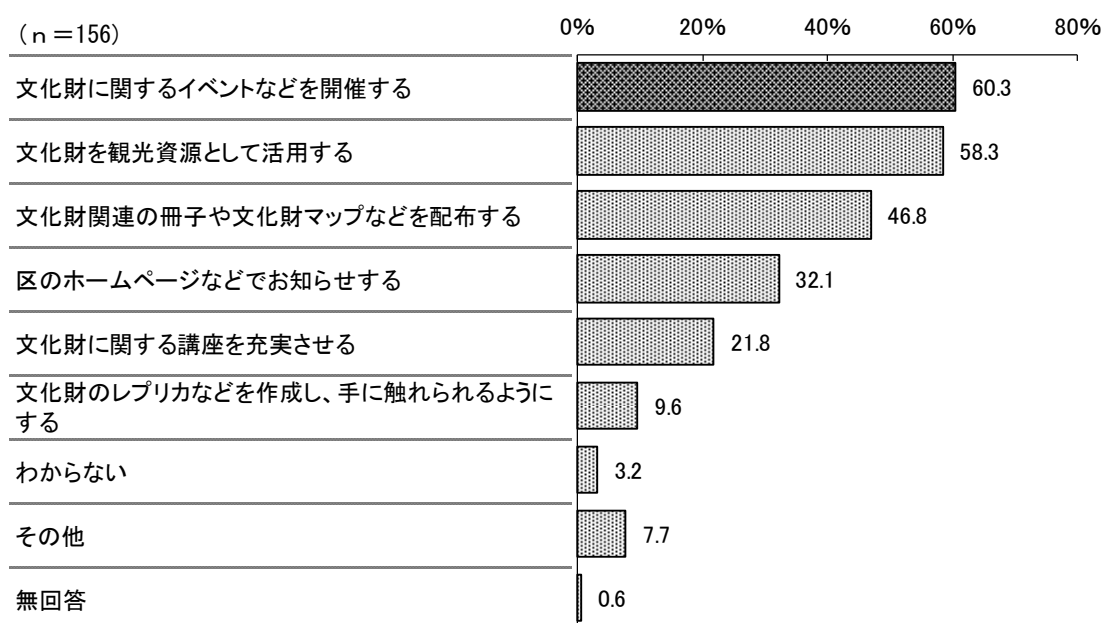
## (27) 文化財の認知度向上に必要なこと

問 27 葛飾区内にある文化財は葛飾区の歴史や文化を知るうえで貴重な資料です。あなたは区内の文化財を多くの方に知ってもらうためにどのようなことが必要だと思いますか。  
(あてはまるものすべて○)

文化財の認知度向上に必要なことは、「文化財に関するイベントなどを開催する」が60.3%で最も高く、次いで、「文化財を観光資源として活用する」が58.3%、「文化財関連の冊子や文化財マップなどを配布する」が46.8%となっている。

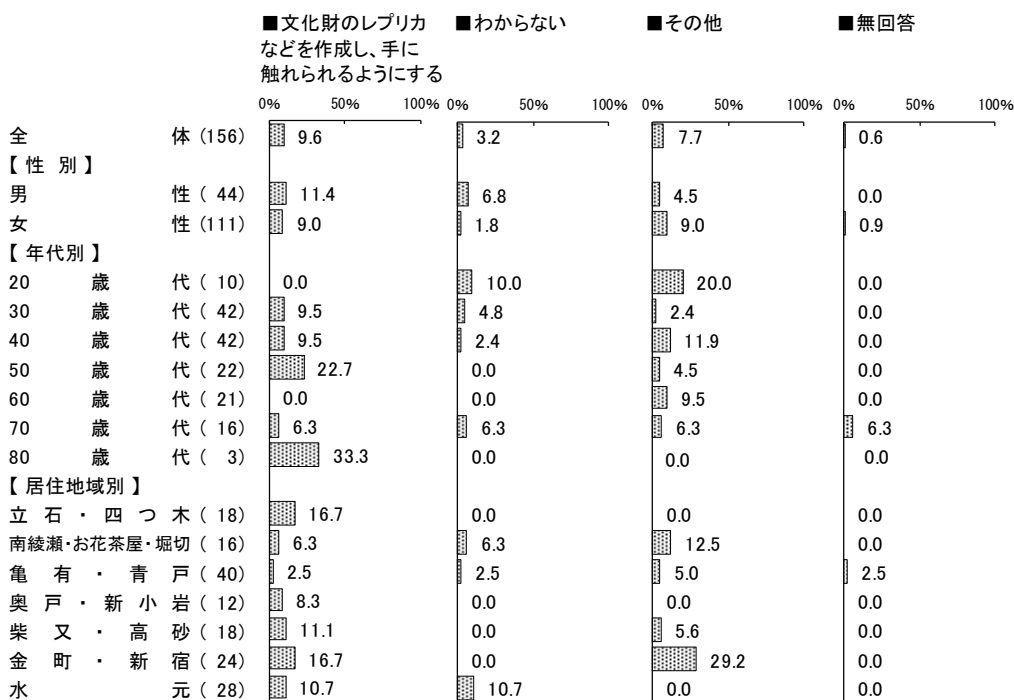
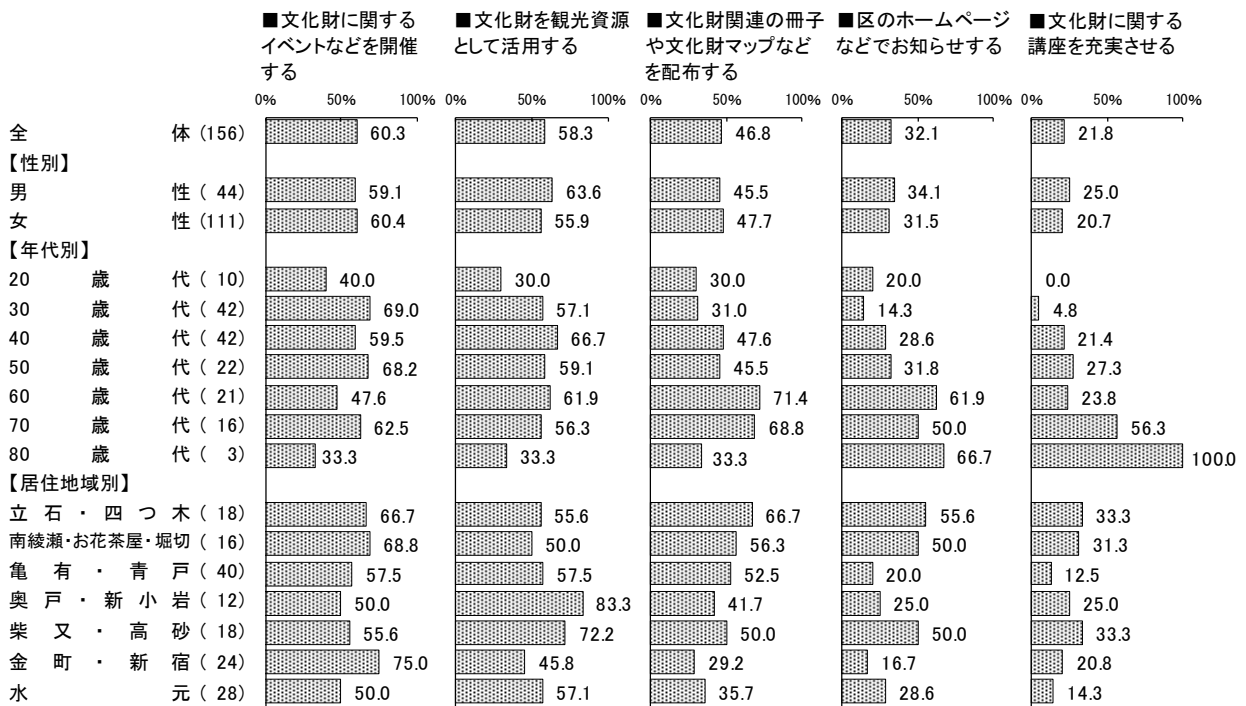
その他の意見としては、「文化財を巡るウォークラリーの開催」、「広報紙の活用」、「マンガやドラマ、映画、ゲームアプリ、単独HP、マップ等の作成」、「駅にPRポスターの掲示」、「学校の授業などに取り入れる」、「文化財の前に立て看板を設置する」などがある。

図表-42 文化財の認知度向上に必要なこと（全体）



年代別にみると、「文化財に関するイベントなどを開催する」は30歳代、50歳代、70歳代の順に高く、それぞれ6割以上となっている。「文化財を観光資源として活用する」は40歳代と60歳代で6割以上となっている。「文化財関連の冊子や文化財マップなどを配布する」は60歳代が71.4%で最も高くなっている。

図表-43 文化財の認知度向上に必要なこと  
(性別・年代別・居住地域別)





## (28) 埋もれたままの文化財の活用

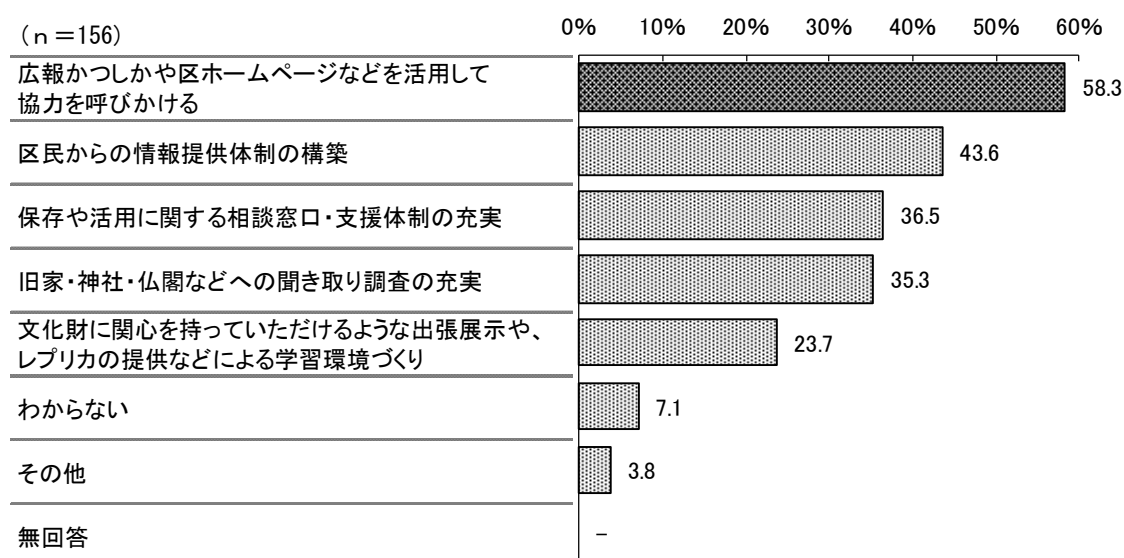
問 28 葛飾区内には知られていない、いわゆる埋もれたままの貴重な文化財が存在しています。このような文化財を見つけて活用するためには、地域の方の協力が必要です。埋もれている文化財を見つけ、活用を図るためにどのような方法が有効だと思いますか。

(あてはまるものすべて○)

埋もれたままの文化財の活用については、「広報かつしかや区ホームページなどを活用して協力を呼びかける」が58.3%で最も高く、次いで、「区民からの情報提供体制の構築」が、43.6%となっている。

その他の意見としては、「SNSの活用」、「学校の授業の一環として取り組む」、「文化財への動線となる歩道等の整備」、「電車、バスの吊り広告の活用」、「ネット広告の活用」、「文化財発見隊のような講座の開催」などがある。

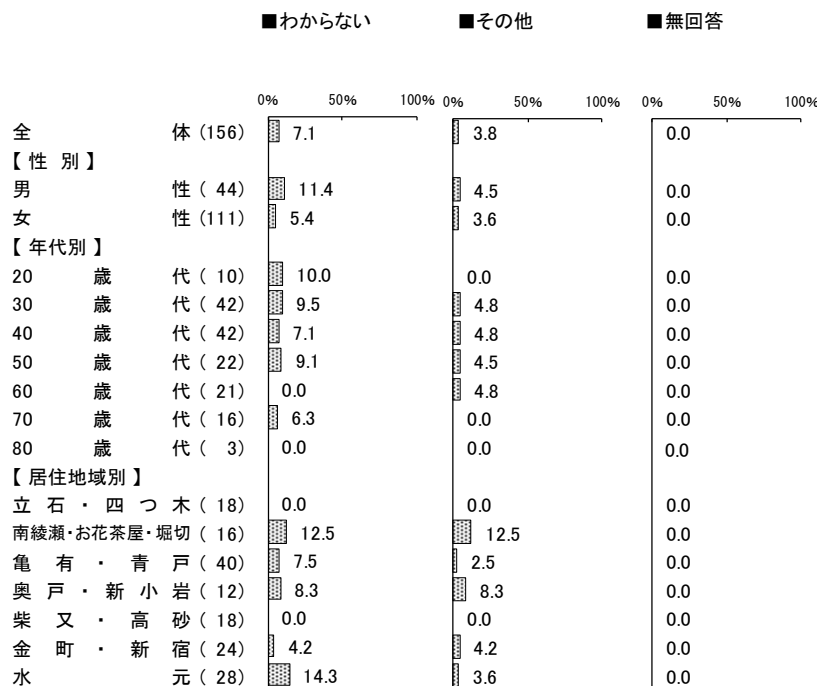
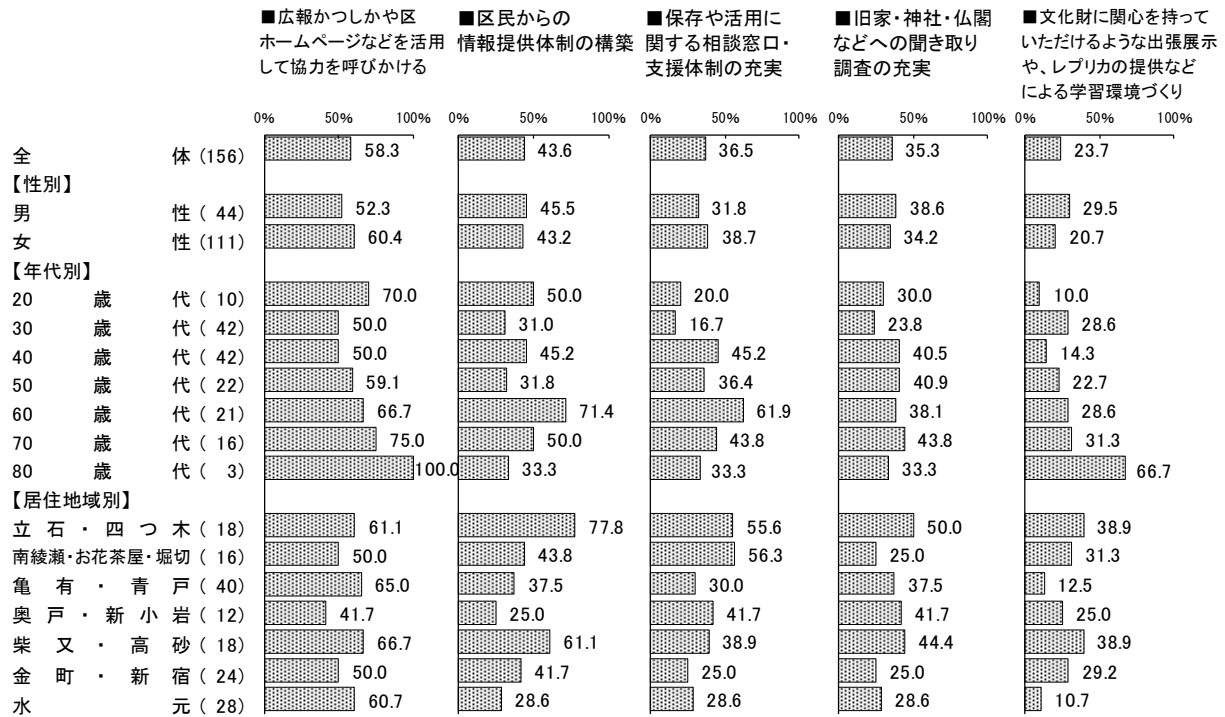
図表-44 埋もれたままの文化財の活用（全体）



年代別でみると、「広報かつしかや区ホームページなどを活用して協力を呼びかける」は、全ての年代で5割以上となっており、20歳代と70歳代以上の年代で7割以上となっている。

「区民からの情報提供体制の構築」は60歳代で71.4%と最も高く、次いで20歳代と70歳代で50.0%となっている。「保存や活用に関する相談窓口・支援体制の充実」は60歳代で61.9%と最も高くなっている。

図表-45 埋もれたままの文化財の活用  
(性別・年代別・居住地域別)



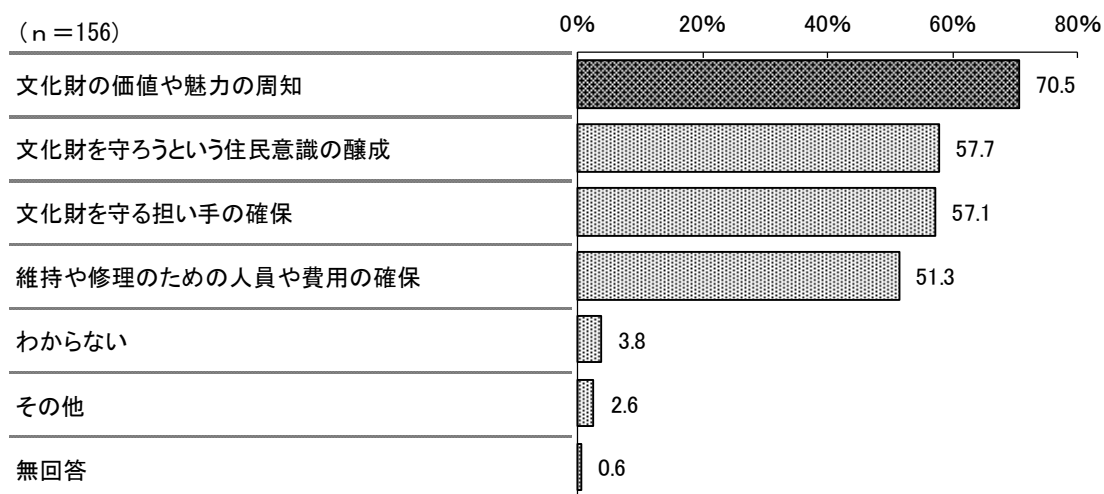
## (29) 文化財を次世代へと伝えていくための課題

問 29 区内の文化財を次世代へと伝えていくための課題は何だと思えますか。  
(あてはまるものすべて○)

文化財を次世代へと伝えていくための課題については、「文化財の価値や魅力の周知」が70.5%で最も高く、次いで「文化財を守ろうという住民意識の醸成」が57.7%、「文化財を守る担い手の確保」が57.1%、「維持や修理のための人員や費用の確保」が51.3%となっている。

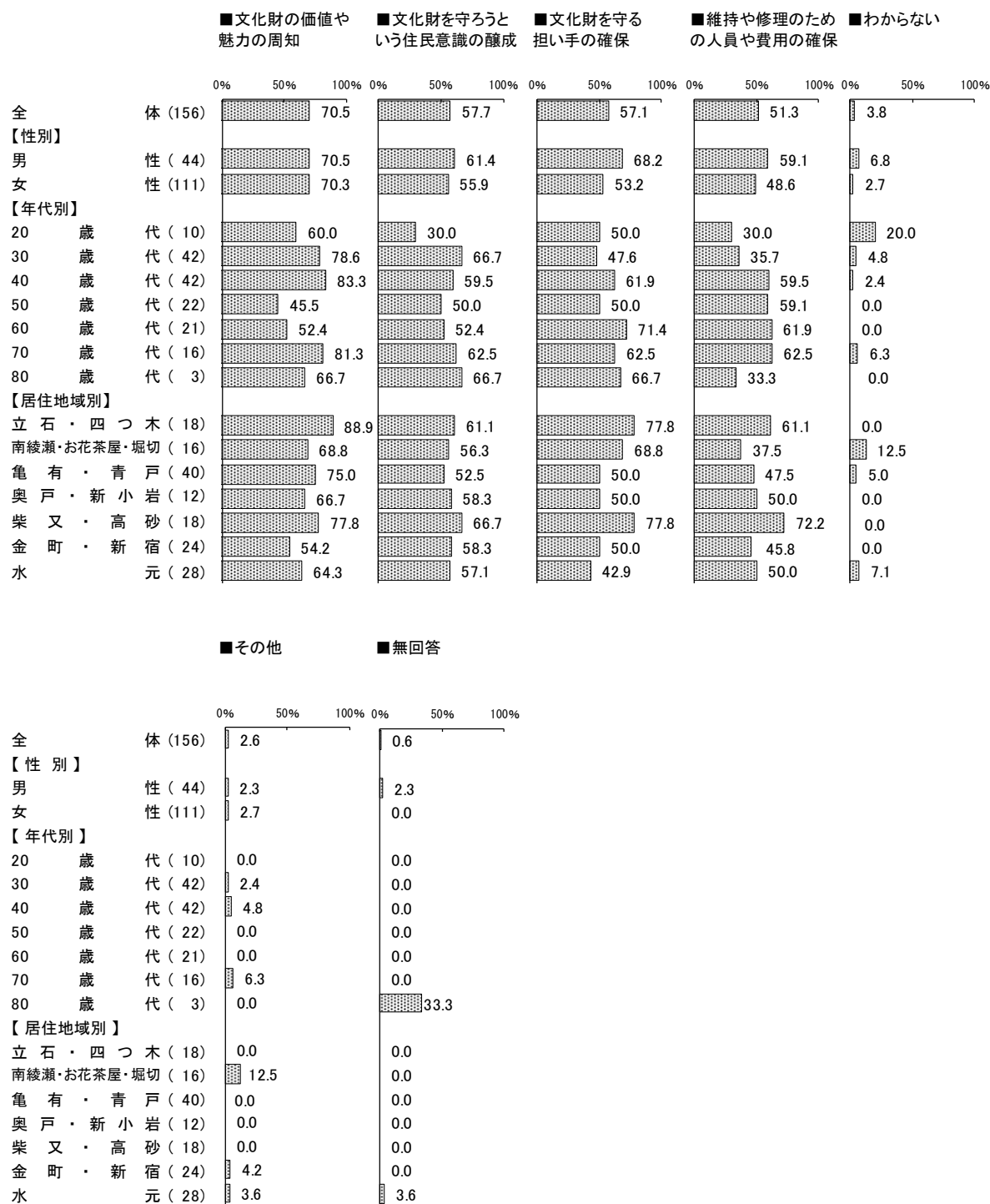
その他の意見としては、「学校の授業で扱われていない」などがある。

図表-46 文化財を次世代へと伝えていくための課題（全体）



年代別でみると、「文化財の価値や魅力の周知」は、50歳代を除く全ての年代で5割以上となっており、40歳代と70歳代では8割台となっている。「文化財を守ろうという住民意識の醸成」は、20歳代を除く全ての年代で5割以上となっており、30歳代と70歳代以上の年代で6割台となっている。「文化財を守る担い手の確保」は60歳代が71.4%で最も高くなっている。

図表-47 文化財を次世代へと伝えていくための課題  
(性別・年代別・居住地域別)



### (30)「葛飾区の文化財」全般に関するご意見・ご要望

問 30 葛飾区の文化財についてご意見・ご要望などがございましたらご記入ください。

(自由記述)

#### (具体的な記述内容)

##### <情報発信(広報・ホームページなど)>

- ・広報かつしかや区のホームページなどでもっと知る機会があればと思う。(同様の意見：他3件)
- ・HPなどで検索できるようにするなどすれば関心が高まると思う。
- ・文化財について、以前の「かつしか」区報に載っていたと記憶している。読むのが楽しみだった。

##### <情報発信(観光ツアーなど)>

- ・文化財めぐりツアーなどを行い、現地で説明する。郷土と天文の博物館で文化財に関する企画・展示・おみやげグッズ、資料の充実と更新を行う。(同様の意見：他1件)
- ・お宝鑑定団の様なイベントで、こういった物が文化財となり得るのか皆で楽しく勉強出来ると良い。

##### <情報発信(ツール)>

- ・文化財の一覧がインターネットで検索できると地域にどんなものがあるかがわかる。
- ・展示されている、所在場所など知ることができるツールを増やしてほしい。
- ・区内の文化財の位置をまとめたマップがあれば見に行きたい。
- ・TV、雑誌への掲載や、作家さんや映画監督、Youtuberなどに物語化や映像化を打診する。  
(同様の意見：他2件)
- ・多くの人々が利用する公共機関の駅やバス停・車両などに常時、文化財の広告を出したり、文化財のご案内板を設置してPRしてはどうか。(同様の意見：他1件)

##### <情報発信(その他)>

- ・葛飾区の文化財は何があるのか思いつかない。あらゆる機会をとらえて周知することが必要と思う。  
(同様の意見：他6件)
- ・専門家力も借りるなどの周知を行う。若い人達が興味を持てるよう、参加する人を育てる事が大事だと思う。
- ・埋もれている文化財の活動は楽しそうです。有名な文化財しか知らないのもったいない。情報をもっと出してほしい。家の近くにあれば手伝いをしたい。
- ・葛飾在住28年ですがまだ知らない文化財もあると思う。前から気になっていた工芸品が葛飾発祥だったりすると新たな発見がある。
- ・文化財として残せるかどうかの判断もできないので、こういったものが文化財としての価値があるかを知りたい。
- ・大人になって転入してきた人には、文化財を知る機会がない。(同様の意見：他1件)
- ・若い世代に知ってもらい取り組みが必要。(同様の意見：他3件)

##### <保存、保護、再発見の方策>

- ・学生のうちから文化財に触れることが、文化財を守る担い手の確保に繋がると感じる。(同様の意見：他2件)

- ・埋もれている文化財を見つけ出すために、ボランティアの養成などが必要ではないかと思う。
- ・なんでもかんでも取っておけばいいというものではない。税金がかかるなら、取捨選択を区民はどうしたらいいかわからないので、価値がわかる人に判断してもらう必要がある。なくなる前に映像に残すことは必要。
- ・本気で文化財を守るのであれば、相当な予算が必要になると思う。例えば限られた団体の活動予算を削減し、文化財のための予算にしてほしい。
- ・相続が発生したタイミングで幅広く寄附を募る。
- ・今ある文化財を後世に伝えることは重要な課題であり啓蒙と維持が必要と思う。
- ・工芸品を作る技術は伝承していかないとすたれてしまうので保護などが必要かなと思う。

### <その他>

- ・市民がその文化財を見るのに拝観料がいくらかお高いゆえ、目にしてない可能性があるので区民は拝観料を低額にするなどして周知することも大切かと思う。
- ・対外的な評価を高めるプロモーションは費用がかかっても重要だと思う。
- ・どんな物があるのかすら知らない。まったく知識を得る機会すらない。
- ・もっと広く地域の人に知らされてからが大切だと思う。

### 3. 区民モニター調査について

葛飾区では広く区民のニーズを把握するため、令和元年度より区民モニター調査を開始し、様々な区の施策について皆様のご意見をお聞きしています。

2年間の任期の終了にあたり、今後本調査をより有意義なものとするため、区民モニターの皆様のご意見をお聞きします。

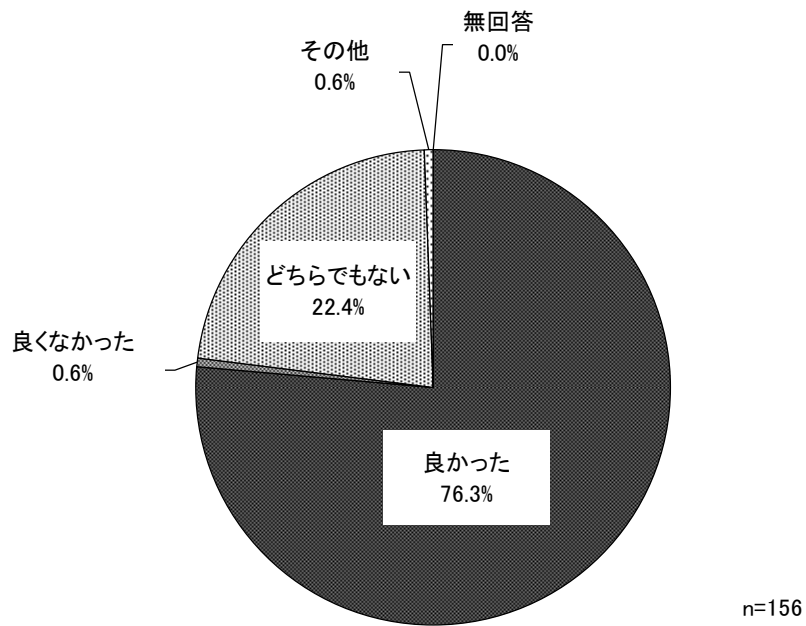
#### (31) 区民モニター調査の感想

問 31 区民モニター調査はいかがでしたか。(〇は1つ)

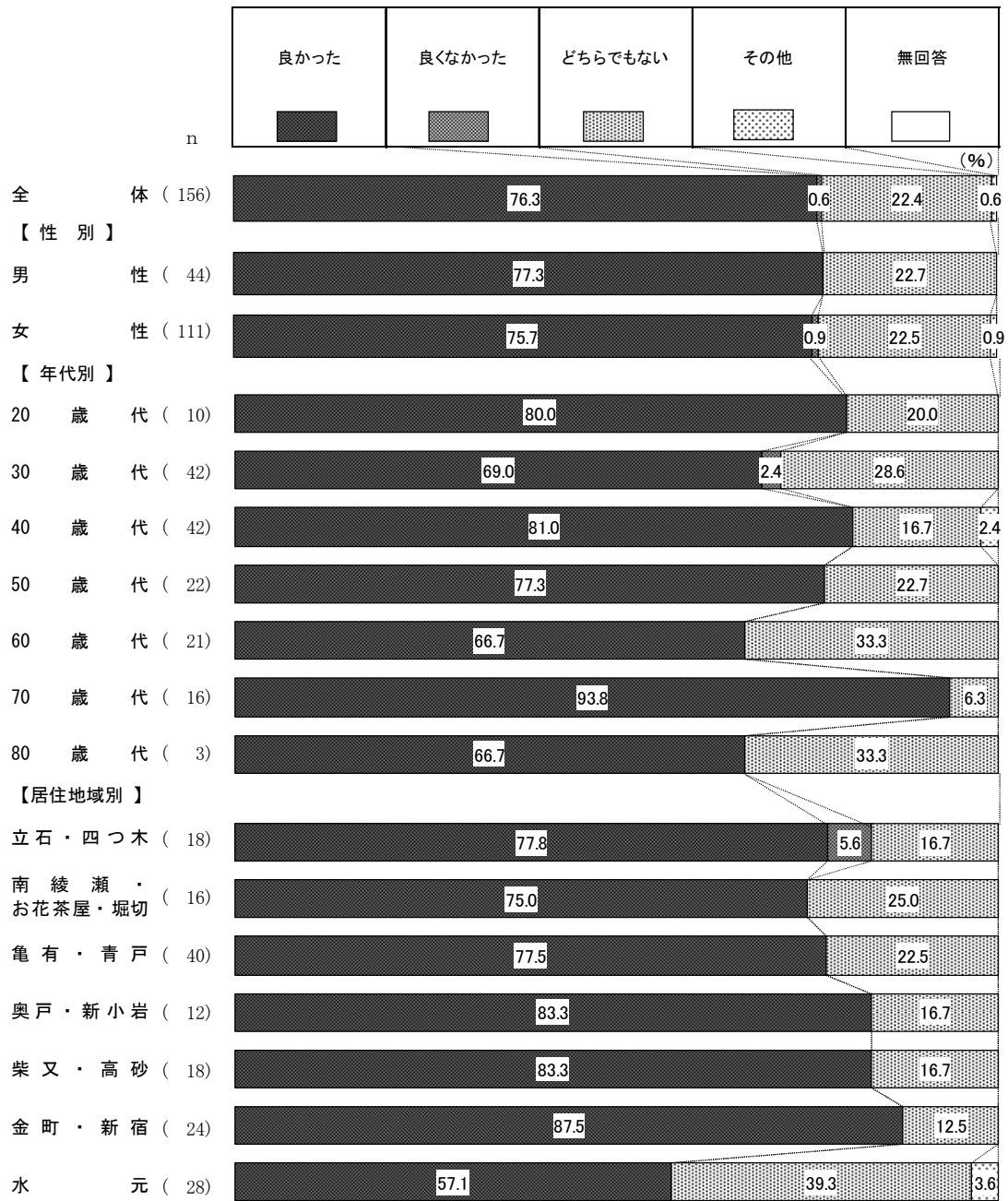
区民モニター調査の感想については、「良かった」が76.3%で7割以上を占めている。

年代別でみると、「良かった」は、70歳代で93.8%と最も高く、全ての年代で6割以上となっている。「どちらでもない」は、60歳代と80歳代で33.3%となっている。

図表-48 区民モニター調査の感想（全体）



図表-49 区民モニター調査の感想  
(全体・性別・年代別・居住地域別)





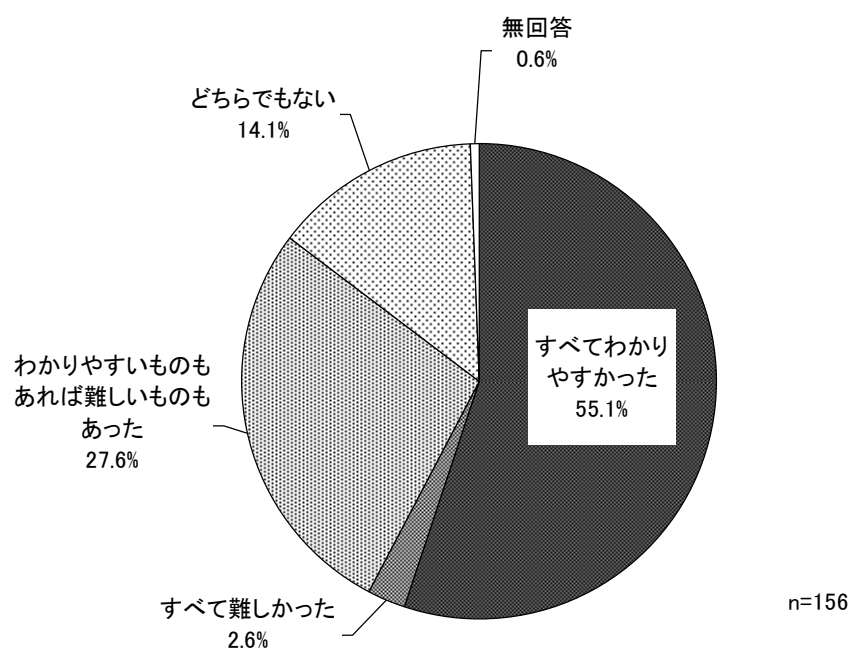
### (32) 各回の調査テーマ

問 32 各回の調査のテーマについていかがでしたか。(〇は1つ)

各回の調査テーマについては、「すべてわかりやすかった」が55.1%で半数以上を占めており、「わかりやすいものもあれば難しいものもあった」は27.6%となっている。

年代別でみると、「すべてわかりやすかった」は、20歳代で80.0%と最も高く、60歳代と80歳代を除く全ての年代で5割以上となっている。「わかりやすいものもあれば難しいものもあった」は60歳代で38.1%、「すべて難しかった」は70歳代で12.5%となっている。

図表-50 各回の調査テーマ（全体）



<回答の主な理由>

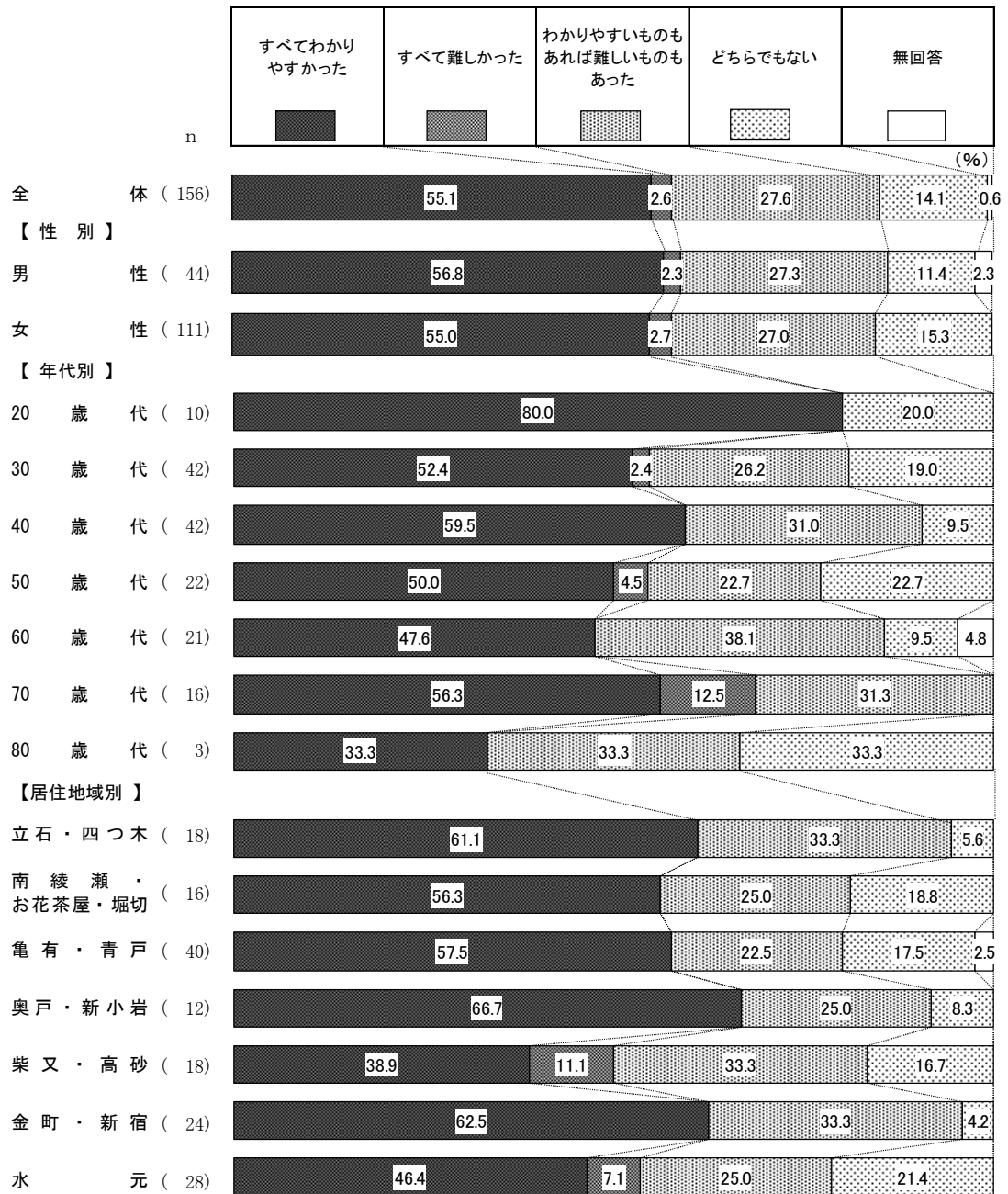
**わかりやすいものもあれば難しいものもあった**

- ・令和元年度第2回は難しかった（同様の意見：他8件）
- ・都市計画マスタープランはよくわからなかった（同様の意見：他3件）
- ・新基本構想は難しかった
- ・令和元年度第2回が難しく令和2年度第1回がとてもわかりやすく役立っている感があった
- ・今回は身近なテーマであったため回答しやすかった
- ・意識していなかった事については、意見がまとまらなかった（生涯学習など）
- ・防災、都市計画、身近なのに遠くに思えて難しかった
- ・自転車活用や図書館については身近なことで回答しやすかった
- ・出身地であればもう少しわかるかも

(参考)

調査回	テーマ
令和元年度 第1回	・葛飾区のまちのイメージについて
	・防災について
	・多文化共生社会の推進について
令和元年度 第2回	・新基本構想・新基本計画について
	・都市計画マスタープランについて
	・葛飾区自転車活用推進計画策定業務について
	・生涯学習について
令和2年度 第1回	・広報かつしかについて
	・区公式ホームページについて
	・区民相談室の利用促進について
令和2年度 第2回	・図書館での学習について
	・生涯学習について
	・区民モニター調査について

図表-51 各回の調査テーマ  
(全体・性別・年代別・居住地域別)



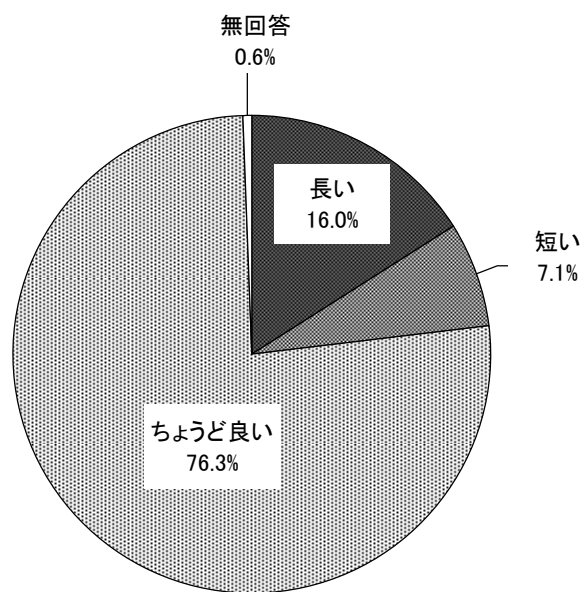
### (33) 2年間の任期

問 33 2年間の任期についていかがでしたか。(〇は1つ)

2年間の任期については、「ちょうど良い」が76.3%で最も高く、次いで「長い」が16.0%となっている。

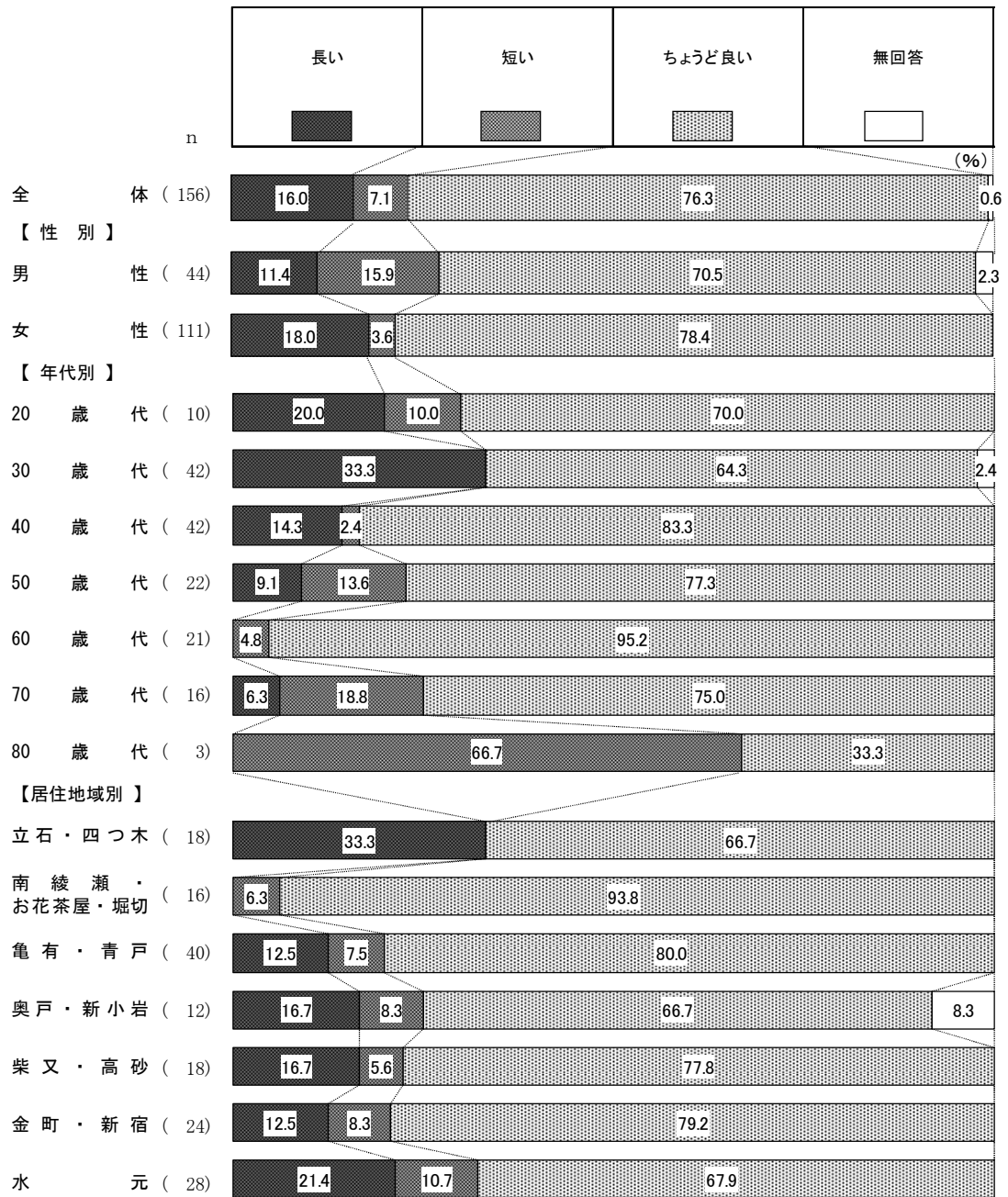
年代別でみると、「ちょうど良い」は、80歳代を除く全ての年代で6割以上となっている。「長い」は30歳代で33.3%と3割を超えている。

図表-52 2年間の任期（全体）



n=156

図表-53 2年間の任期  
(全体・性別・年代別・居住地域別)



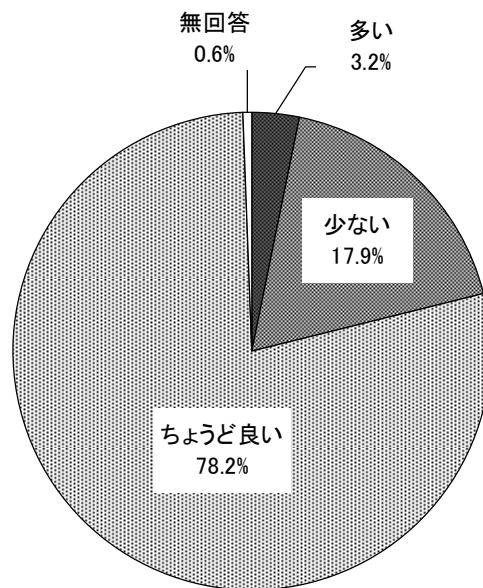
### (34) 調査頻度

問 34 1年間に2回の調査頻度についていかがでしたか。(〇は1つ)

1年間に2回の調査頻度については、「ちょうど良い」が78.2%で最も高く、次いで「少ない」が17.9%となっている。

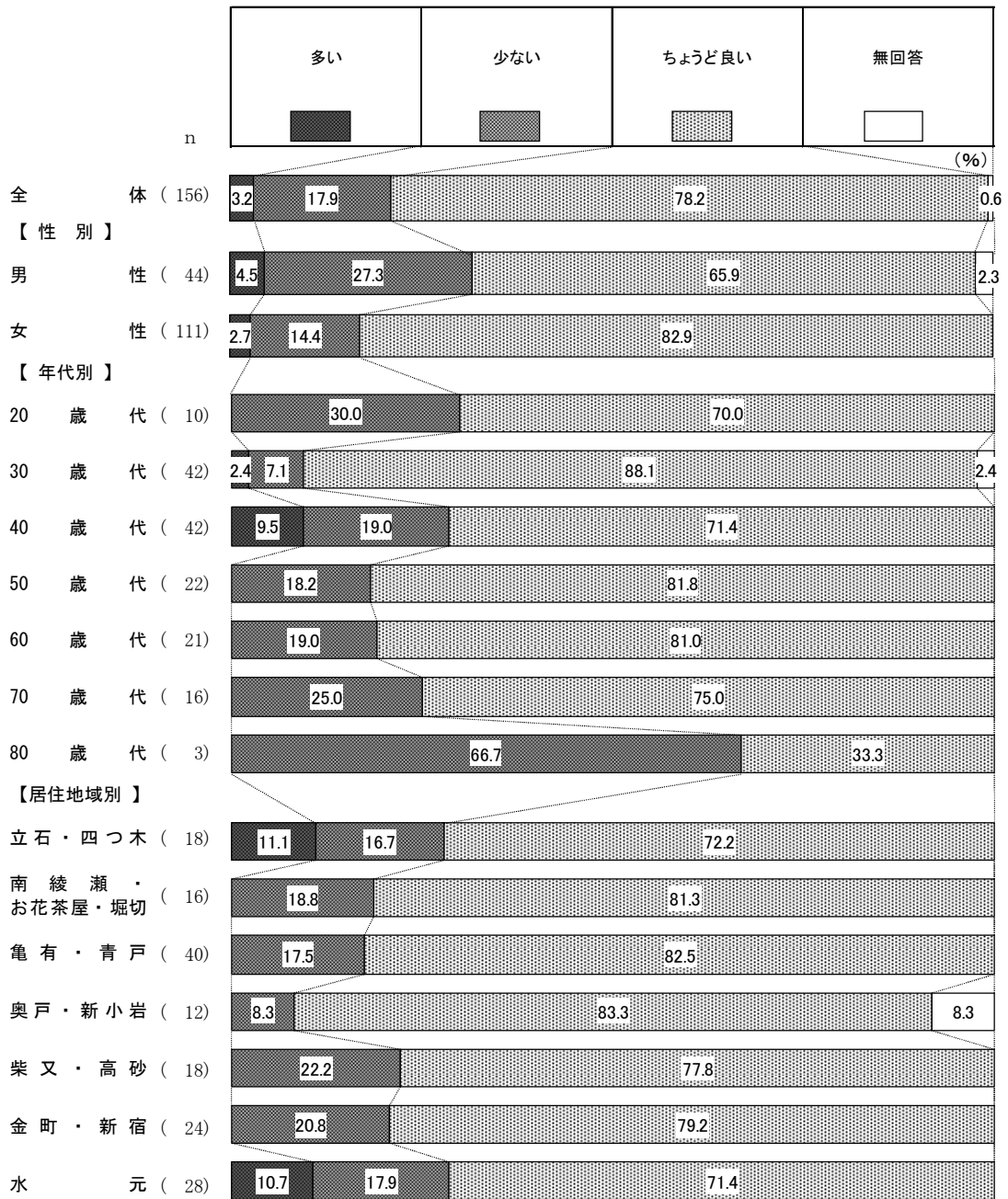
年代別でみると、「ちょうど良い」は、80歳代を除く全ての年代で7割を超えている。「少ない」は80歳代で66.7%と最も高く、次いで20歳代で30.0%となっている。

図表-54 調査頻度（全体）



n=156

図表－55 調査頻度  
 (全体・性別・年代別・居住地域別)



### (35) 記念品の必要性

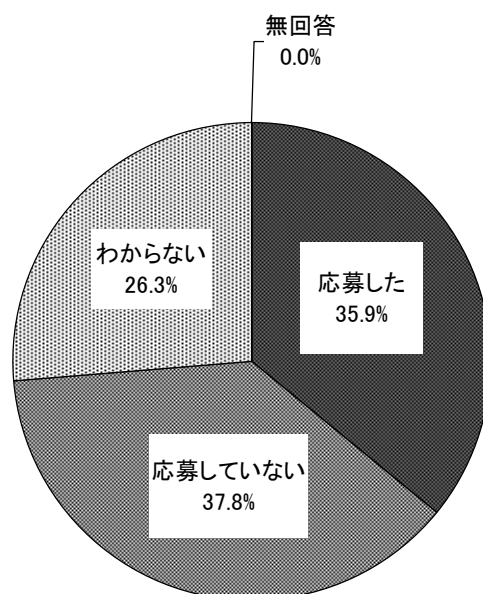
問 35 全4回中2回以上回答していただいた方に記念品(2,000円分の図書カード)をお渡しすることとしています。記念品がなかった場合にも区民モニターに応募しましたか。

(○は1つ)

記念品がなかった場合の区民モニターへの応募については、「応募していない」が37.8%、「応募した」が35.9%となっている。

年代別でみると、「応募した」は60歳以上の年代で6割台と高くなっている。「応募していない」は、30歳代が52.4%で最も高く、50歳代以下の年代で4割以上となっている。

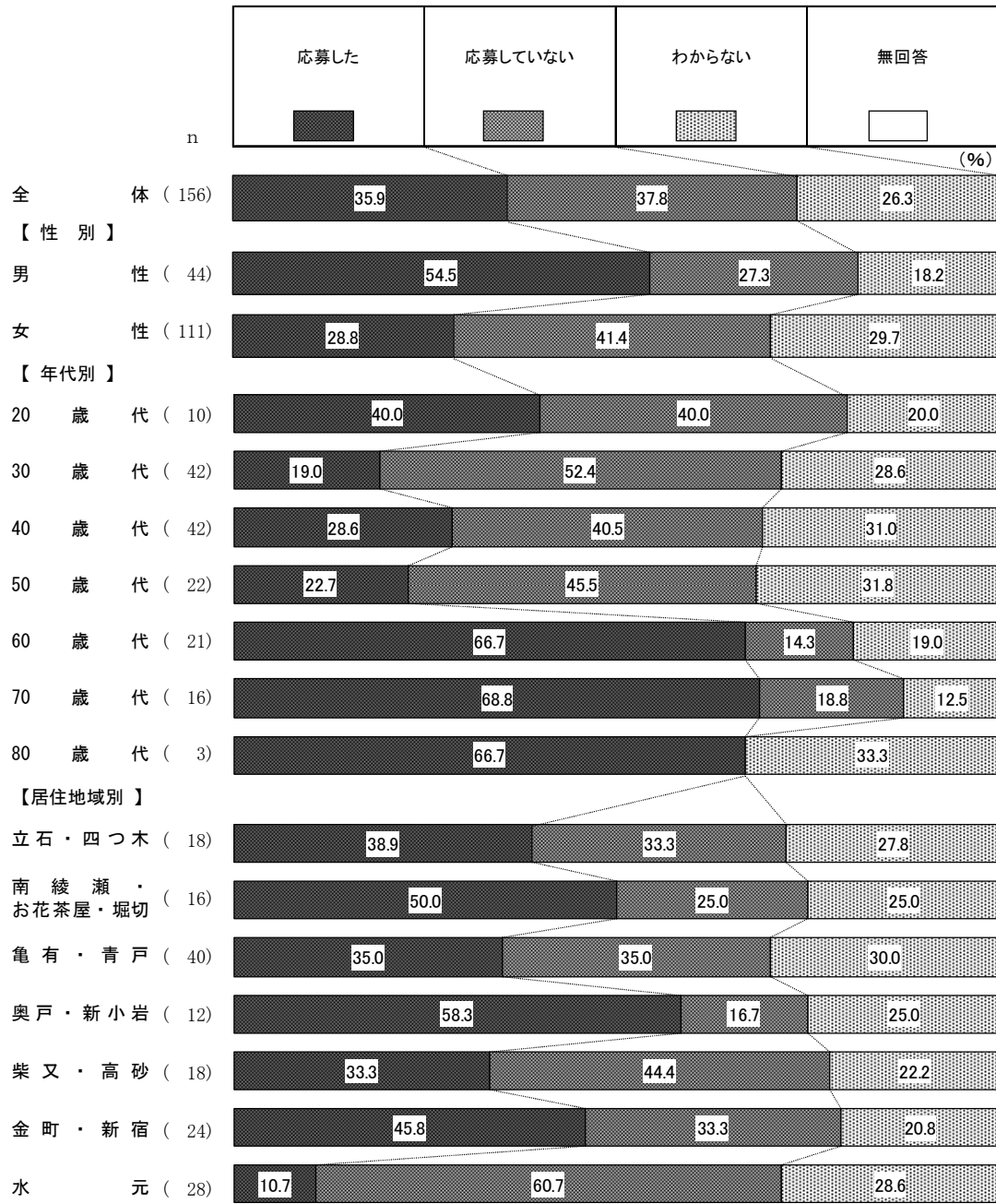
図表-56 記念品の必要性(全体)



n=156



図表-57 記念品の必要性  
(全体・性別・年代別・居住地域別)



### (36) 記念品に適していると思う品物

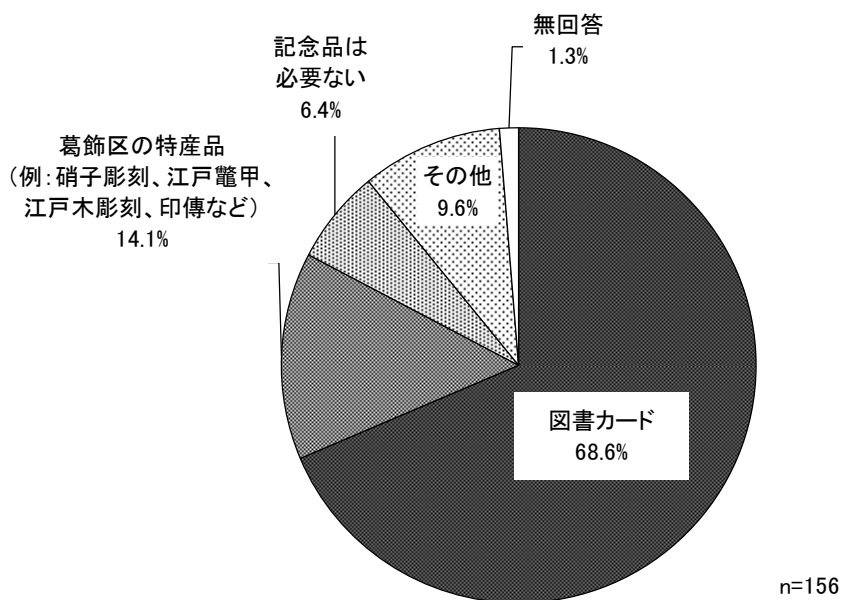
問 36 記念品はどのような品物が適していると思いますか。(〇は1つ)

記念品に適していると思う品物は、「図書カード」が 68.6%で最も高く、次いで「葛飾区の特産品」が 14.1%となっている。

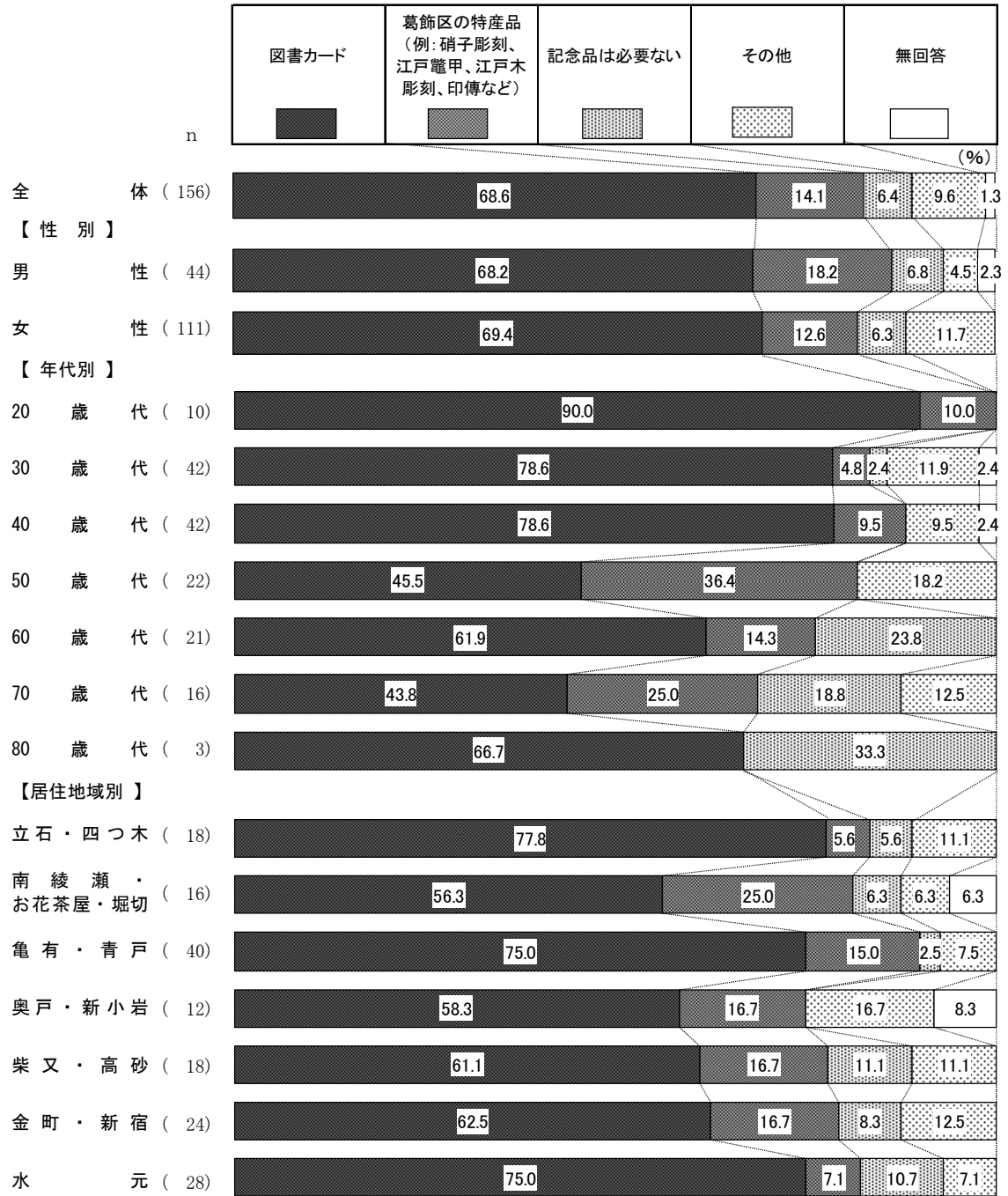
年代別でみると、「図書カード」は、20 歳代が 90.0%で最も高く、30 歳代、40 歳代でも約 8 割となっている。「葛飾区の特産品」は 50 歳代が 36.4%と最も高くなっている。

その他の意見としては、「商品券」、「プレミアム付商品券」、「ギフトカード」、「選択制」、「電子マネー」などがある。

図表-58 記念品に適していると思う品物（全体）



図表-59 記念品に適していると思う品物  
(全体・性別・年代別・居住地域別)



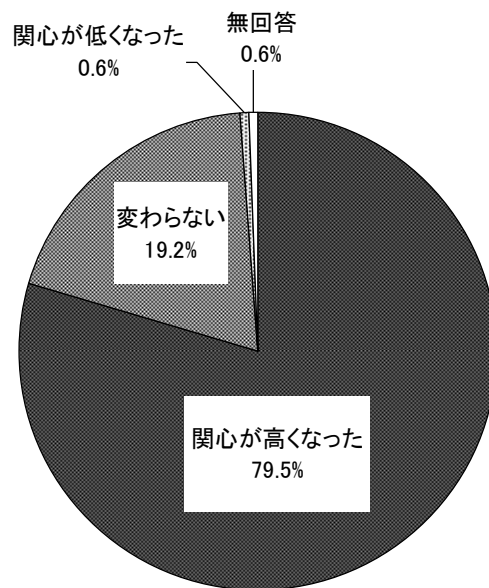
### (37) 区民モニター活動による区政への関心の変化

問 37 区民モニターの活動を通して区政への関心は高くなりましたか。(○は1つ)

区民モニター活動による区政への関心の変化については、「関心が高くなった」が79.5%で最も高く、「変わらない」は、19.2%となっている。

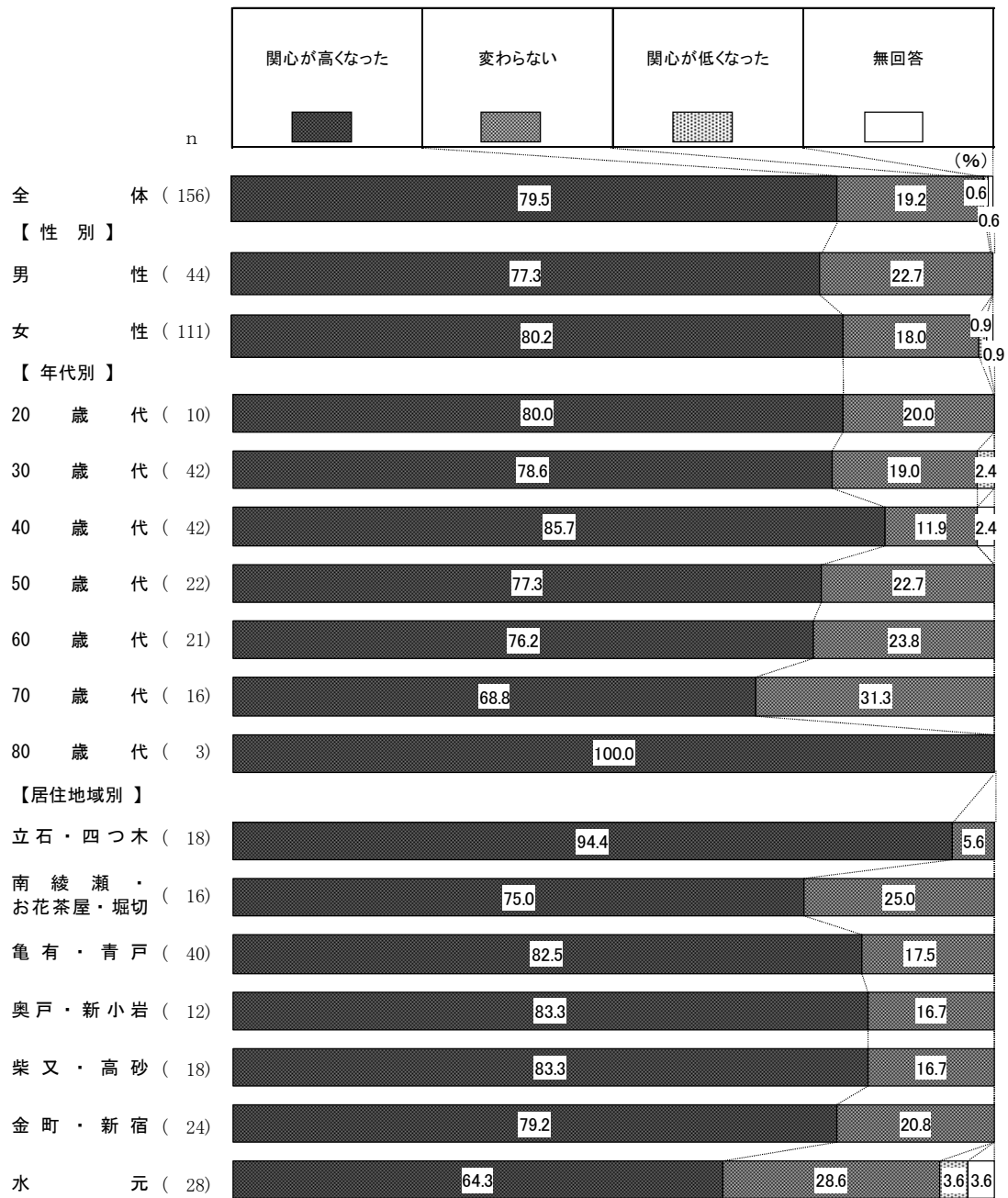
年代別でみると、「関心が高くなった」は70歳代を除く全ての年代で7割以上となっている。「変わらない」は70歳代が31.3%で最も高くなっている。

図表-60 区民モニター活動による区政への関心の変化（全体）



n=156

図表-61 区民モニター活動による区政への関心の変化  
 (全体・性別・年代別・居住地域別)



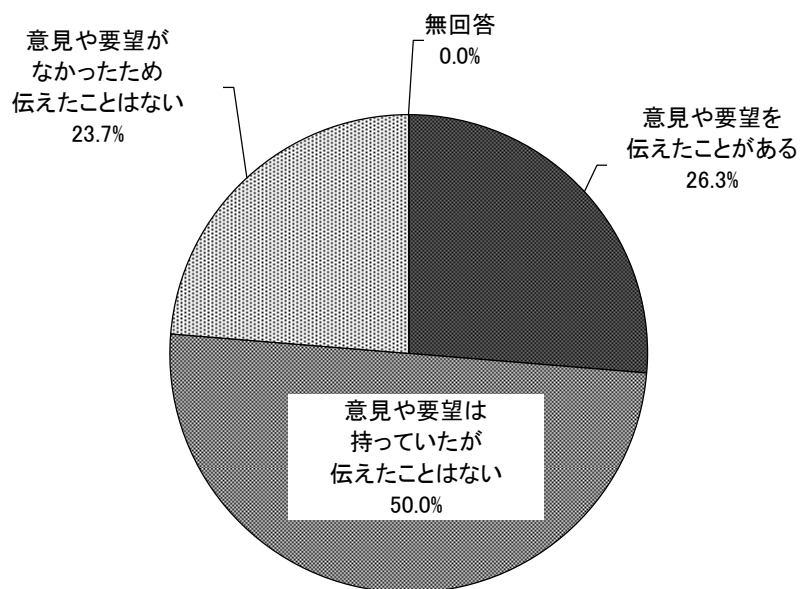
### (38) 過去の区政への参加

問 38 区民モニターの活動をする以前に区に対して意見や要望を伝えたことはありますか。  
(○は1つ)

過去の区政への参加については、「意見や要望は持っていたが伝えたことはない」が 50.0%で最も高く、次いで「意見や要望を伝えたことがある」が 26.3%となっている。

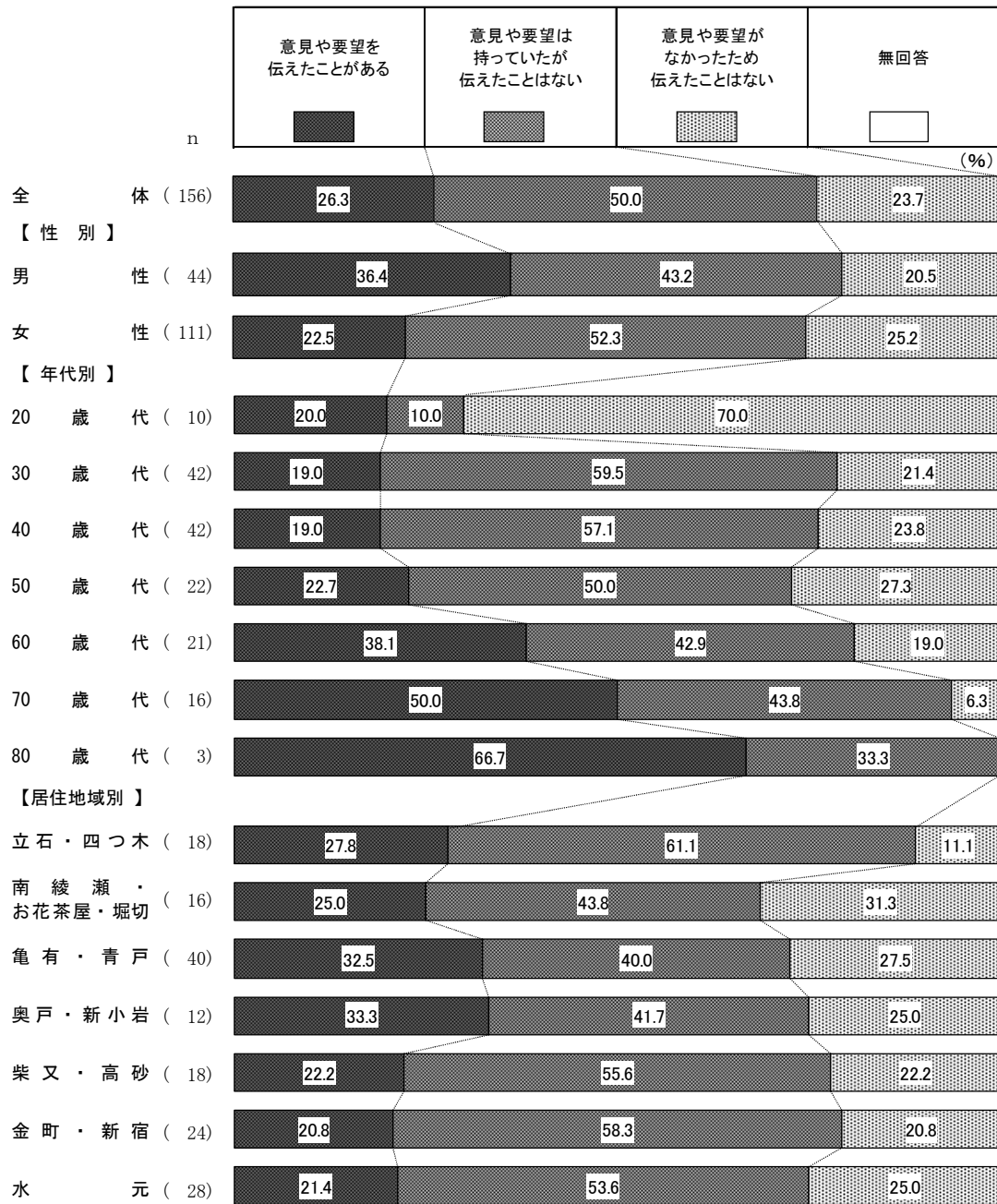
年代別でみると、「意見や要望を伝えたことがある」は 70 歳代以上の年代で 5 割以上と高くなっている。「意見や要望は持っていたが伝えたことはない」は 30 歳代から 50 歳代で 5 割台、「意見や要望がなかったため伝えたことはない」は 20 歳代で 70.0%と高くなっている。

図表-62 過去の区政への参加（全体）



n=156

図表-63 過去の区政への参加  
(全体・性別・年代別・居住地域別)



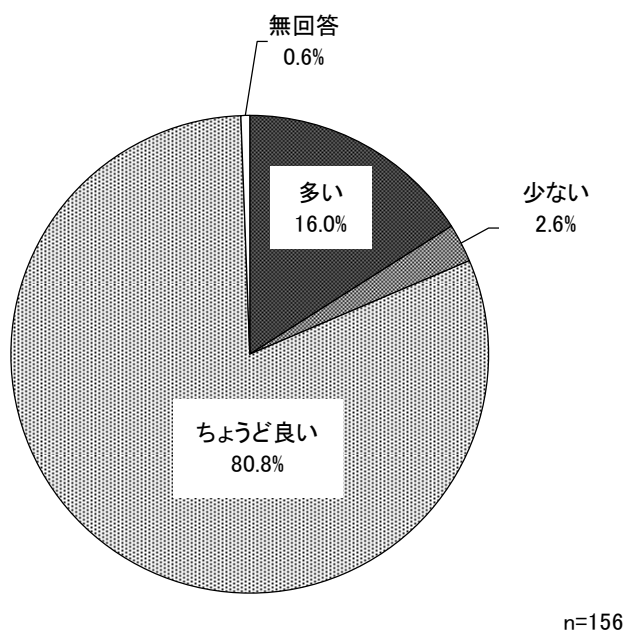
### (39) 各回の設問数

問 39 各回の設問数についていかがでしたか。(〇は1つ)

各回の設問数については、「ちょうど良い」が 80.8%で約 8 割を占めており、「多い」が 16.0%となっている。

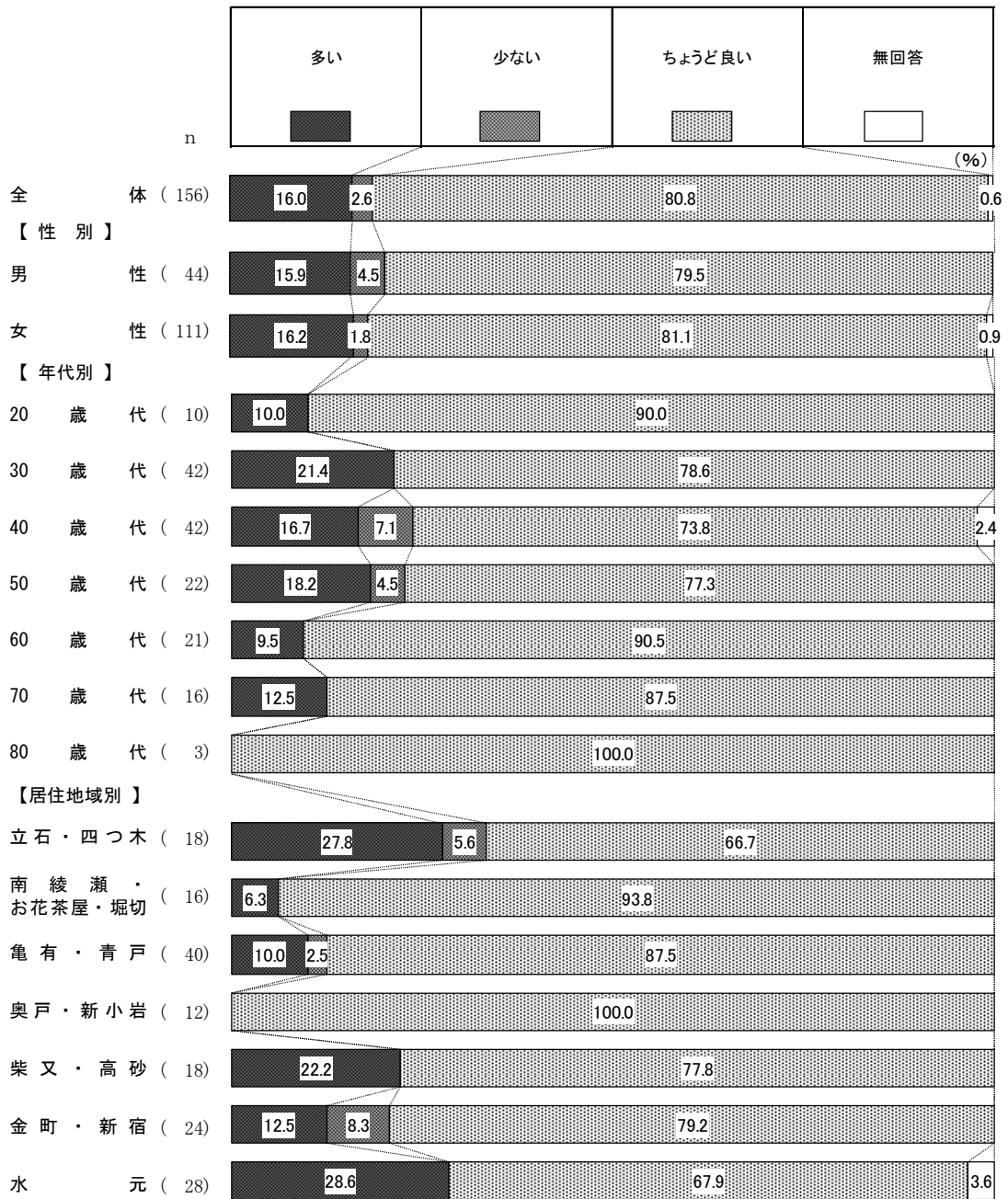
年代別でみると、「ちょうど良い」は全ての年代で 7 割以上となっている。「多い」は 30 歳代で 21.4%と最も高くなっている。

図表-64 各回の設問数（全体）





図表-65 各回の設問数  
(全体・性別・年代別・居住地域別)



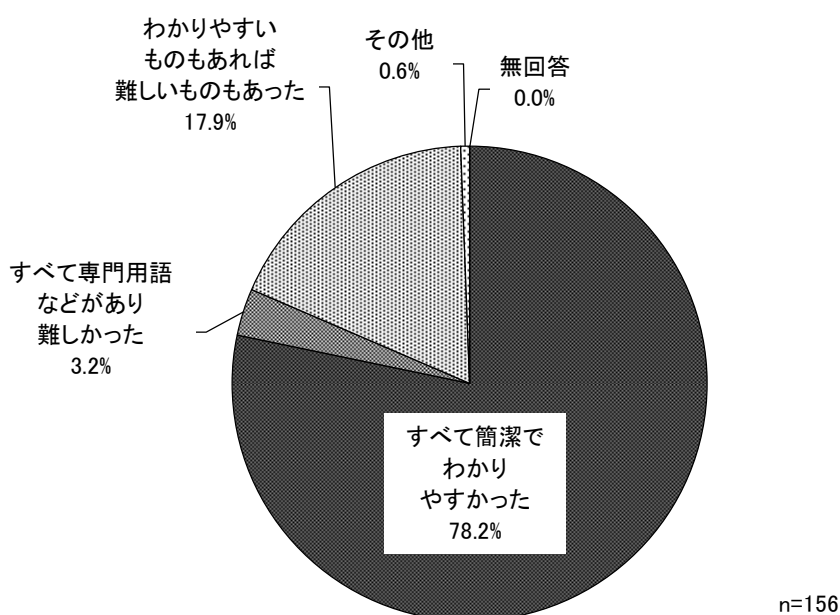
#### (40) 設問や選択肢の文章のわかりやすさ

問 40 各回の設問や選択肢の文章のわかりやすさについていかがでしたか。(○は1つ)

設問や選択肢の文章のわかりやすさについては、「すべて簡潔でわかりやすかった」が、78.2%で最も高く、次いで「わかりやすいものもあれば難しいものもあった」が17.9%となっている。

年代別でみると、「すべて簡潔でわかりやすかった」は全ての年代で6割以上となっており、20歳代で100.0%と最も高くなっている。「わかりやすいものもあれば難しいものもあった」は、40歳代以上の年代で2割以上となっている。

図表-66 設問や選択肢の文章のわかりやすさ (全体)

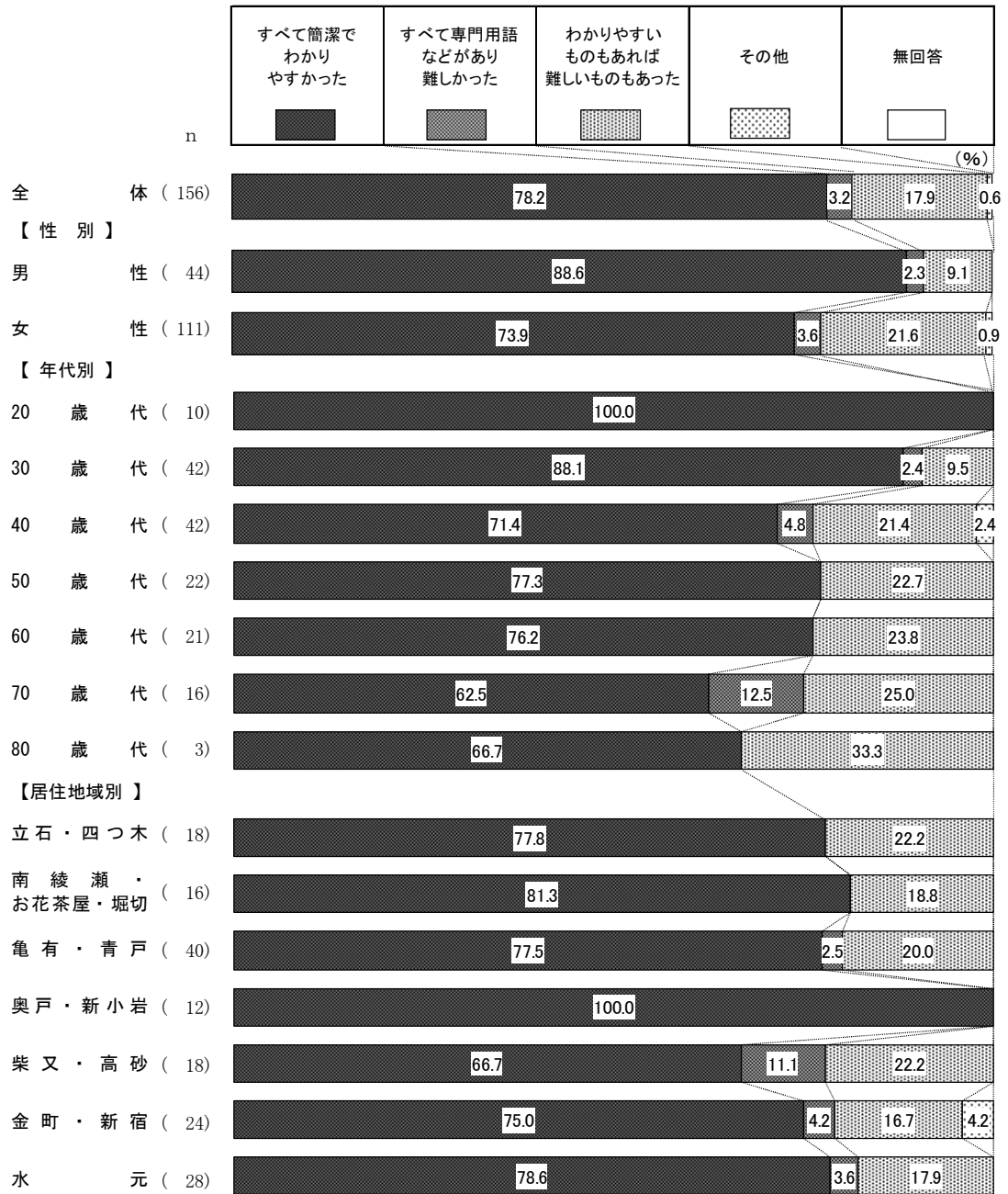


#### <回答の主な理由>

##### わかりやすいものもあれば難しいものもあった

- ・ 選択肢が極端で困る設問があった
- ・ 選択肢が多すぎるがあった
- ・ 区構想は分かりにくかった
- ・ 防災、都市計画、レファレンスは難しかった
- ・ 第2回は、選択肢が長くて細かいもの、具体的でないものが混ざっていた
- ・ 表現が抽象的で回答しにくい時があった
- ・ 答えられない時の項目がなかった

図表-67 設問や選択肢の文章のわかりやすさ  
(全体・性別・年代別・居住地域別)



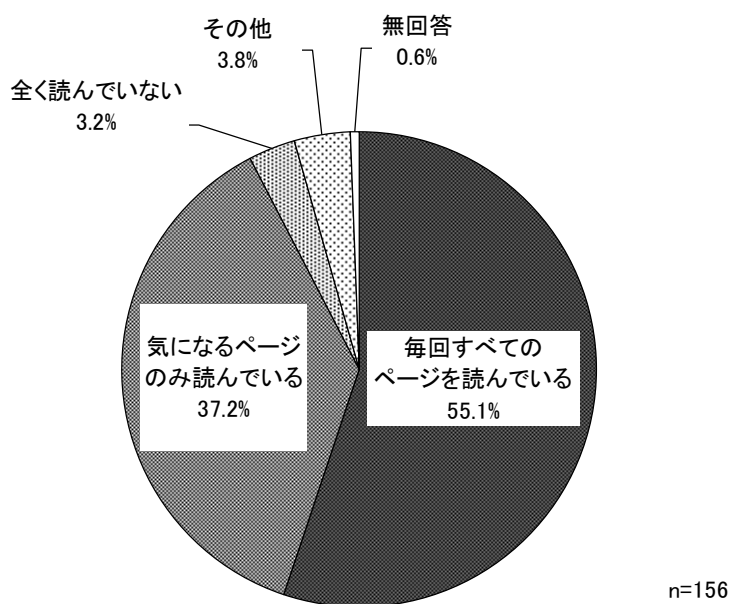
## (41) 報告書の取扱

問 41 各回の報告書の取扱についてお聞きします。(〇は1つ)

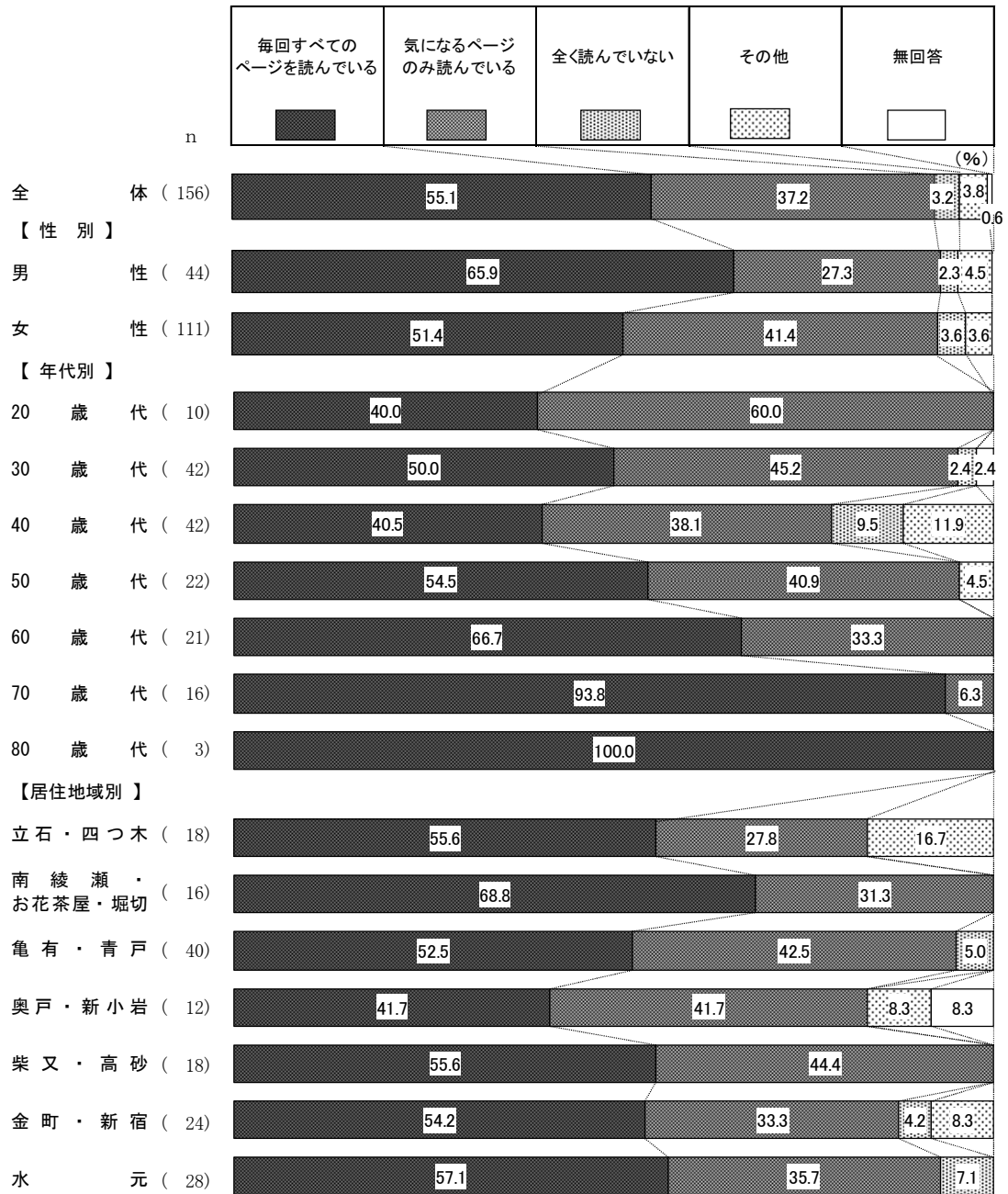
各回の報告書の取扱については、「毎回すべてのページを読んでいる」が 55.1%で最も高く、次いで、「気になるページのみ読んでいる」が 37.2%となっている。

年代別でみると、「毎回すべてのページを読んでいる」は、全ての年代で4割以上となっており、70歳以上の年代で9割以上となっている。「気になるページのみ読んでいる」は20歳代で60.0%と最も高くなっている。

図表-68 各回の報告書の取扱（全体）



図表-69 各回の報告書の取扱  
(全体・性別・年代別・居住地域別)



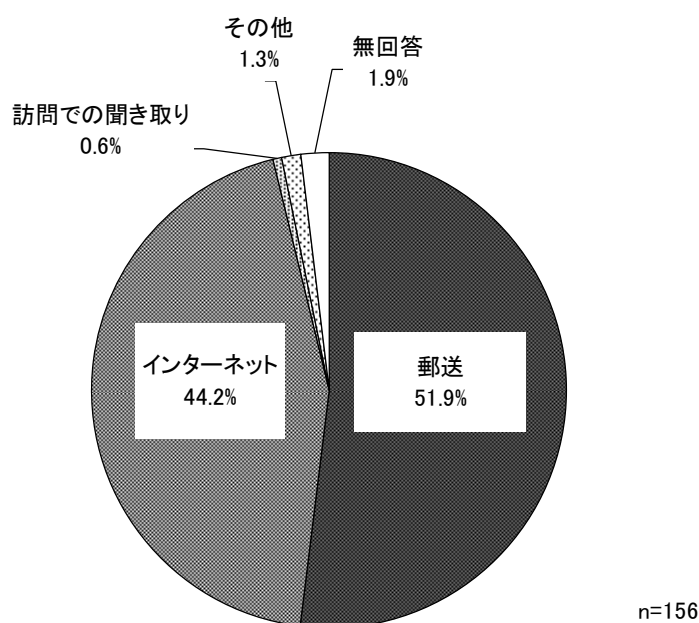
## (42) 区民モニター調査の回答方法

問 42 区民モニター調査についてどのような回答方法が答えやすいですか。(〇は1つ)

区民モニター調査の回答方法については、「郵送」が51.9%で最も高く、次いで「インターネット」が44.2%となっている。

年代別でみると、「郵送」は、年代とともに高くなる傾向があり、40歳代から60歳代で5割台、70歳代以上の年代では8割以上となっている。「インターネット」は、20歳代で90.0%と最も高く、次いで、30歳代で50.0%となっている。

図表-70 区民モニター調査の回答方法（全体）



### <回答の主な理由>

#### 1, 郵送

- ・自分の都合の良い時間に解答出来るから
- ・紙での回答に慣れている
- ・設問が多いので、インターネット（スマホ画面）だと見づらく、面倒に感じる
- ・インターネットの環境がない
- ・家族が訪問をいやがる
- ・回答用紙が送られてくるので、使わないのはもったいない
- ・インターネットにする場合は依頼もメール等にすべき

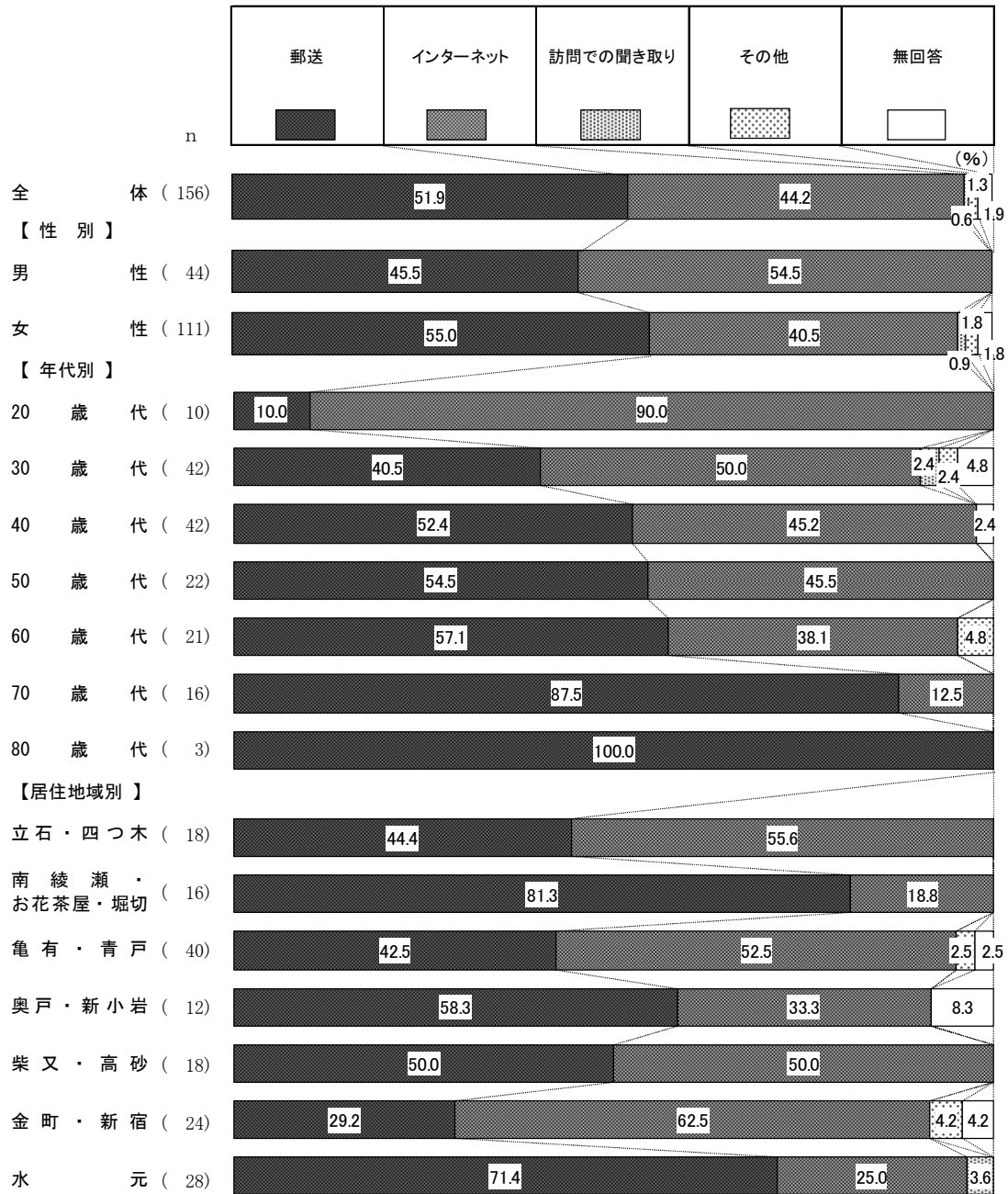
#### 2, インターネット

- ・インターネットの方がコストが少ないと思う
- ・空いている時間にできる
- ・紙の節約
- ・投函の必要がなく、郵送より手軽に回答できる
- ・紙に記入するより答えやすい
- ・余裕を持って回答できるので、素直な回答ができる
- ・今まで郵送でしたが、今回利用してみて使いやすかったから

#### 3, 訪問での聞き取り

- ・直接答えるほうが、しっかりと回答できる気がする

図表-71 区民モニター調査の回答方法  
 (全体・性別・年代別・居住地域別)



## (43) 今後の改善点や取りあげてほしいテーマと全体を通しての感想

問 43 区民モニターに関して今後の改善点や取りあげてほしいテーマ、全体を通しての感想などがありましたらご記入ください。(自由記述)

### (具体的な記述内容)

#### <モニターの改善点>

- ・紙資源の節約、郵送料金等の税金節約のため、メールでの送付や、希望者のみの配布、Web上で見れるようにするなど良いと思う。(同様の意見：他8件)
- ・インターネットだけの回答にはしないほしい。
- ・設問に対して、回答の欄に書かれている回答が必ずしも当てはまらないことがある。
- ・対象を絞って、障害者団体や子ども支援団体など、区民の要望を集めることも必要だと思う。
- ・若い方には難しいテーマや、関心がないものもあるので、年代別にテーマを設けたらどうか。
- ・図書館はよく利用するのでもっと色々設問があれば良かった。
- ・次回のテーマを教えていただくと準備ができる。
- ・Zoomなどの参加型アンケートもあればいいと思う。
- ・絵がほしい。
- ・アンケート回数は2回が良いのか、気にかけている。
- ・アンケートの実施回数を上げる。
- ・区民モニター調査というものがあることをもっと広めた方が良く思う。
- ・督促のハガキは不要ではないか。

#### <取りあげてほしいテーマ>

- ・昨年第一回調査で行った防災について、再度取りあげてほしい。
- ・小・中学校に関する事。
- ・子育て環境に関する事。(同様の意見：他6件)
- ・子どもの健康や虐待について。
- ・葛飾区の少子化対策、待機児童対策について。
- ・生活保護の実態について。(同様の意見：他1件)
- ・引きこもりの人達やうつ病、精神疾患のある方の調査などについて。
- ・高齢者の現状、老人の介護・見守り、生きがいづくりなど、シニア世代への取組みに関する事。  
(同様の意見：他4件)
- ・運動、スポーツに関する事。(同様の意見：他1件)
- ・健康について。(保健所の活用、とりあげてほしいテーマの講座など)(同様の意見：他1件)
- ・鉄道やバス、道路のキャパシティなど交通網の改善に関する事。(同様の意見：他3件)
- ・観光、商店街の活性化について。(同様の意見：他1件)
- ・都市の緑化・環境に関する事。(同様の意見：他2件)
- ・消費者動向、警察の動向について。
- ・区議会議員の仕事、区議会議員の定数削減について。



### ＜アンケート結果の活用＞

- ・区民モニターの結果報告が、区政にどのように反映されたのか知りたい。(同様の意見：3件)
- ・調査結果を葛飾区の発展のため、区政に活用してほしい。(同様の意見：3件)
- ・調査結果を活かして、改善すべきところは速やかに改善してほしい。
- ・様々な年齢、性別、国籍等の人に継続的に意見を出していただき、区政に活かしてほしい。

### ＜その他＞

- ・気軽に要望・意見を発信できるウェブサイトなど、住民の意見を聞ける場を作ってほしい。(同様の意見：2件)
- ・モニター調査に参加したことで、区政に目を向ける機会が増え、様々なことに対し興味関心を持つようになった。(同様の意見：5件)
- ・図書館、地区センターなどの施設が有効に利用されているのか、どのように利用されているのか知りたい。
- ・税金の使い道など区民にわかりやすく簡潔に伝えてほしい。また、他区との比較を通して葛飾区ではどうしたいか意見を調査してほしい。

令和2年度 第2回  
葛飾区区民モニターアンケート調査報告書

令和3年（2021年）3月発行

葛飾区総務部すぐやる課すぐやる係  
東京都葛飾区立石5-13-1  
電話 03-3695-1111（代表）